

勝浦市個別施設計画

(スポーツ施設)



カツウラのマスコット
勝浦カッピー

令和4年3月

勝浦市

目次

| | | |
|------------|--|----|
| 第1章 | 計画策定の背景・目的等 | 1 |
| 第1節 | 計画策定の背景・目的..... | 1 |
| 第2節 | 本計画の位置付け..... | 2 |
| 第3節 | 対象施設..... | 3 |
| 第4節 | 計画期間..... | 5 |
| 第2章 | 本計画の構成 | 6 |
| 第3章 | スポーツ施設を取り巻く状況や基本的な考え方 | 7 |
| 第1節 | スポーツ施設の特徴..... | 7 |
| 第2節 | 国内における体育・スポーツ施設の概況..... | 9 |
| 第3節 | 本市の人口及び財政の状況..... | 11 |
| 第4節 | 上位計画における公共施設のあり方に関する方針..... | 13 |
| 第5節 | 対象施設のあり方に関する基本的な考え方..... | 15 |
| 第4章 | 対象施設の方向性及び整備手法の検討<1次評価> | 16 |
| 第1節 | 1次評価の流れ..... | 16 |
| 第2節 | 安全性・機能性の評価..... | 17 |
| 第3節 | 経済性の評価..... | 48 |
| 第4節 | 耐震性の評価..... | 52 |
| 第5節 | 1次評価の結果（施設の方向性及び整備手法）..... | 54 |
| 第5章 | 対象施設の政策優先度及び基本方針の検討<2次評価> | 55 |
| 第1節 | 2次評価（環境評価）の意義..... | 55 |
| 第2節 | スポーツ施設の総量・機能・配置に関する政策方針..... | 56 |
| 第3節 | 対象施設の環境に関する情報の収集・整理..... | 57 |
| 第4節 | 対象施設に関する政策優先度の評価（環境評価）..... | 72 |
| 第5節 | 対象施設に関する基本方針..... | 74 |
| 第6章 | 個別施設計画としての取りまとめ（適用可能な手法及び行動計画表） | 75 |
| 第1節 | 適用可能な手法の検討..... | 75 |
| 第2節 | 施設の改修等に関する行動計画表の検討..... | 87 |
| 第3節 | 本市のスポーツ施設全体のストック適正化の方向性..... | 92 |
| 第7章 | 計画の実施方法 | 94 |
| 第1節 | 情報基盤の整備と活用..... | 94 |
| 第2節 | 推進体制等の整備..... | 94 |
| 第3節 | 計画のフォローアップ..... | 94 |
| 資料編 | | 95 |

第1章 計画策定の背景・目的等

第1節 計画策定の背景・目的

本計画は、勝浦市公共施設等総合管理計画を上位計画とし、本市が保有するスポーツ機能を有する施設（以下、「スポーツ施設」という。）を対象とした個別施設計画です。

本市では、平成29年3月に勝浦市公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という）を策定しています。総合管理計画においては、人口減少等により本市の財政状況が厳しさを増す中で、施設総量の縮減に向けた考え方や、施設の老朽化による事故や損害の発生を防止するための施設保全のあり方などについて、各種の全体方針を整理しました。

今回策定の本計画は、総合管理計画における各種の全体方針を具体化するための個別施設計画です。本計画では、対象施設ごとに、施設の現況や政策的な位置付け等を総合的に検証したうえで、計画期間内における維持管理や改修の方向性を定めることとしています。

今後は、本計画で明らかにした維持管理や改修の方向性を踏まえて、市の財政事情や対象施設が担う機能との整合を図りつつ、施設ごとに具体的な改修・改築の計画（公共施設等の整備に関する実施計画）を定めていくことを予定しています。

本計画を基に、対象施設に対して適切な維持管理や改修を行うことで、対象施設が本市のスポーツ振興に貢献するのみならず、市民生活における健康づくりや交流の場としての機能も果たし、豊かな市民生活を支える役割を持続的に担っていくことを目的として本計画を策定しました。

第2節 本計画の位置付け

本計画は、勝浦市総合計画を最上位の計画とし、勝浦市公共施設等総合管理計画を直接的な上位計画とする、本市が保有するスポーツ施設を対象とした個別施設計画として位置付けられます。

本計画は、国の策定指針¹及び本市の上位計画に即しつつ、関連する既存計画類とも整合を図りながら策定しています。

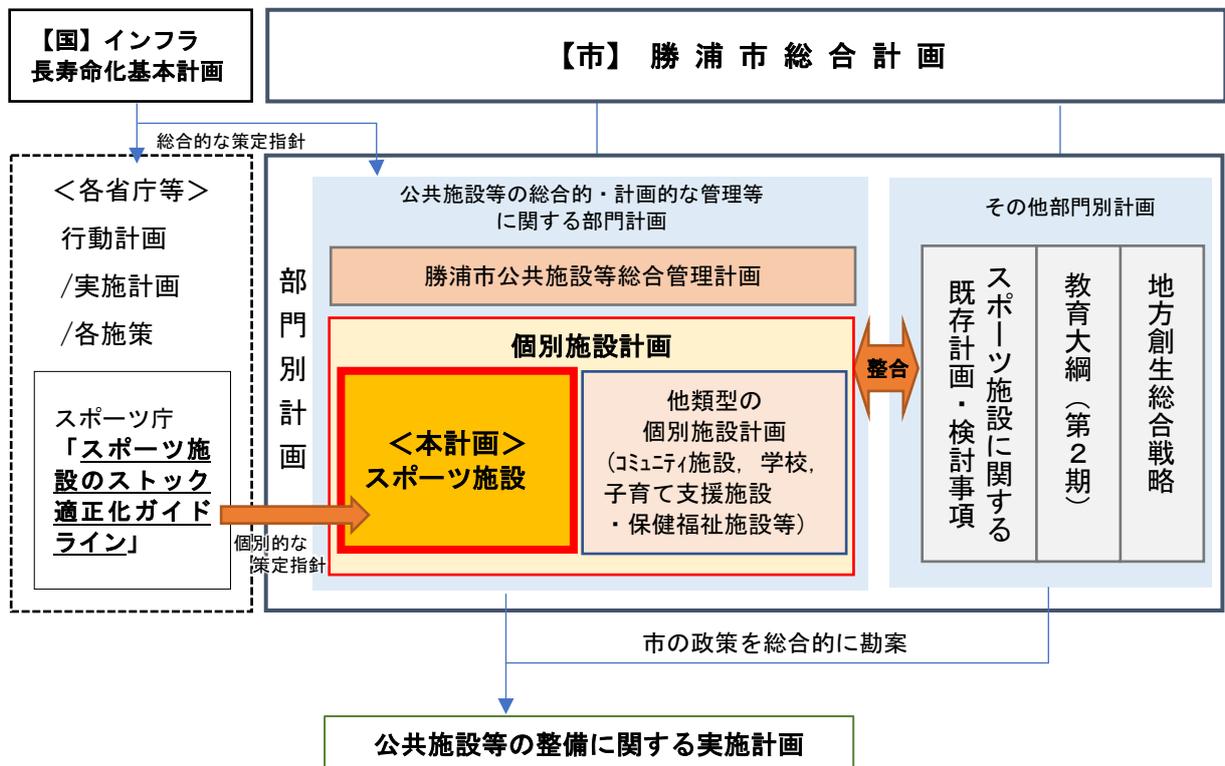


図 1 本計画の位置付け

¹ 本計画に関係する国の策定指針としては、「インフラ長寿命化基本計画」(平成25年11月・国土交通省)及び「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」(平成30年3月、平成31年4月一部改訂・スポーツ庁)があります。前者は、公共施設全般について(建築物や道路等)、国、自治体レベルで行動計画の策定を進めることで、全国のあらゆるインフラの安全性の向上と効率的な維持管理を実現することを目的としたものです。後者は、「スポーツ基本法(平成23年法律第78号)」の趣旨を踏まえ、スポーツ施設の質や量に関する時代の変化を前提として、国民がスポーツ活動をする機会を適正に確保することを主な目的としたものです。

第3節 対象施設

(1) 対象施設の定義

本計画の対象施設は、令和3年4月1日時点において本市が保有するスポーツ施設及び社会体育施設等を中心とする以下の7施設（うち建物は4棟）です。

本計画ではこれらの7施設を総称し「スポーツ施設」と定義し、対象施設ごとに今後の維持管理及び修繕・更新方法を中心とする行動計画表を整理します。

対象施設の最大の特徴としては、荒川テニスコート（同研修室）を除き、閉校した学校の体育施設を活用していることが挙げられます。

表 1 対象施設の基本情報

| 基本情報 | | | | 建物・工作物情報 | | | | |
|---------------|----------|-------|-------------|----------|----------|----------|-------------|-----------|
| 施設名称 | 所在地 | 種類 | 敷地面積 (㎡) | 建築年次 | 主要 構造 | 階数 | 延床面積 (㎡) | 耐震化 状況 |
| 荒川テニスコート研修室 | 荒川189-1 | 建築物 | 3,981.26 | 平成22年12月 | W | 地上 1階 | 149.06 | 新耐震 |
| 荒川テニスコート | 荒川189-1 | 工作物 | | | — | — | — | — |
| (旧)北中学校体育館 | 小羽戸58-2 | 建築物 | 40,163.00 | 昭和47年3月 | RC | 地上 2階 | 1,001.00 | 工事済 |
| (旧)北中学校グラウンド | 小羽戸58-2 | グラウンド | | — | — | — | — | — |
| (旧)興津中学校体育館 | 興津1222-1 | 建築物 | 11,371.40 | 平成6年2月 | S | 地上 1階 | 1,024.00 | 新耐震 |
| (旧)興津中学校柔剣道場 | 興津1222-1 | 建築物 | | 昭和51年2月 | RC | 地上 2階 | 383.00 | 診断 未実施 |
| (旧)興津中学校グラウンド | 興津1222-1 | グラウンド | | — | — | — | — | — |

補足) 主要構造の略称について、本計画においては、以下のとおりに略称を用います。

鉄筋コンクリート(造)：RC(造)、鉄骨(造)：S(造)、木(造)：W(造)

表 2 対象施設における主な競技内容

| 施設名称 | 種類 | 主な用途・競技種目 | 主な付帯施設・補足 |
|---------------|-------|--------------------------------------|-----------------------|
| 荒川テニスコート研修室 | 建築物 | 管理人室、トイレ、倉庫、研修室等 | |
| 荒川テニスコート | 工作物 | 硬式テニス、ソフトテニス | 照明設備(2面) 砂入り人工芝：4面 |
| (旧)北中学校体育館 | 建築物 | バレーボール、バスケットボール、 バドミントン、卓球 | |
| (旧)北中学校グラウンド | グラウンド | 野球、ソフトボール、サッカー | |
| (旧)興津中学校体育館 | 建築物 | バレーボール、バスケットボール、 バドミントン、フットサル、太極拳 | |
| (旧)興津中学校柔剣道場 | 建築物 | 剣道 | 柔道場も併設 |
| (旧)興津中学校グラウンド | グラウンド | 少年野球、サッカー | |



図 2 対象施設の位置図

| | | |
|--|--|---|
| <p>荒川テニスコート研修室</p>  | <p>荒川テニスコート</p>  | <p>(旧)北中学校体育館</p>  |
| <p>(旧)北中学校グラウンド</p>  | <p>(旧)興津中学校体育館</p>  | <p>(旧)興津中学校柔剣道場</p>  |
| <p>(旧)興津中学校グラウンド</p>  | <p>撮影日：令和3年8月4日</p> | |

(2) 本計画において検証対象とする施設の範囲

対象施設について本計画をとりまとめる際には、対象施設以外においても市民がスポーツ活動を行う場である、小中学校の体育施設、民間の施設、近隣自治体のスポーツ施設などについてもそれぞれの機能や位置付けを整理し、対象施設が担うべき役割を検証します。

したがって、本計画において検証対象とする施設の範囲は下表のとおりです。

表 3 本計画において検証対象とする施設の範囲

| 本計画において検証対象とする施設 | | | |
|------------------|----------------------|---------------------------|----------------------------|
| 区 分 | 公共施設 | | 公共施設以外 |
| | スポーツ施設 | その他の施設 | |
| 勝浦市内 | 本計画における 対象施設（7施設） | 学校の体育館 ・グラウンド ・プール等 | 日本武道館研修センター、 民間のテニスコート等 |
| 市外（近隣市町等） | 野球場、体育館など | 学校の体育館等 | 民間のテニスコート等 |

第4節 計画期間

本計画における計画期間は令和4（2022）年度から令和13（2031）年度までの10年間とします。

なお、上記の計画期間内であっても、総合管理計画や関連する計画の改定に合わせて、適宜、必要な見直しを行います。

第2章 本計画の構成

本計画は、「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」（平成30年3月、平成31年4月一部改訂・スポーツ庁）に準拠して構成を定めています。

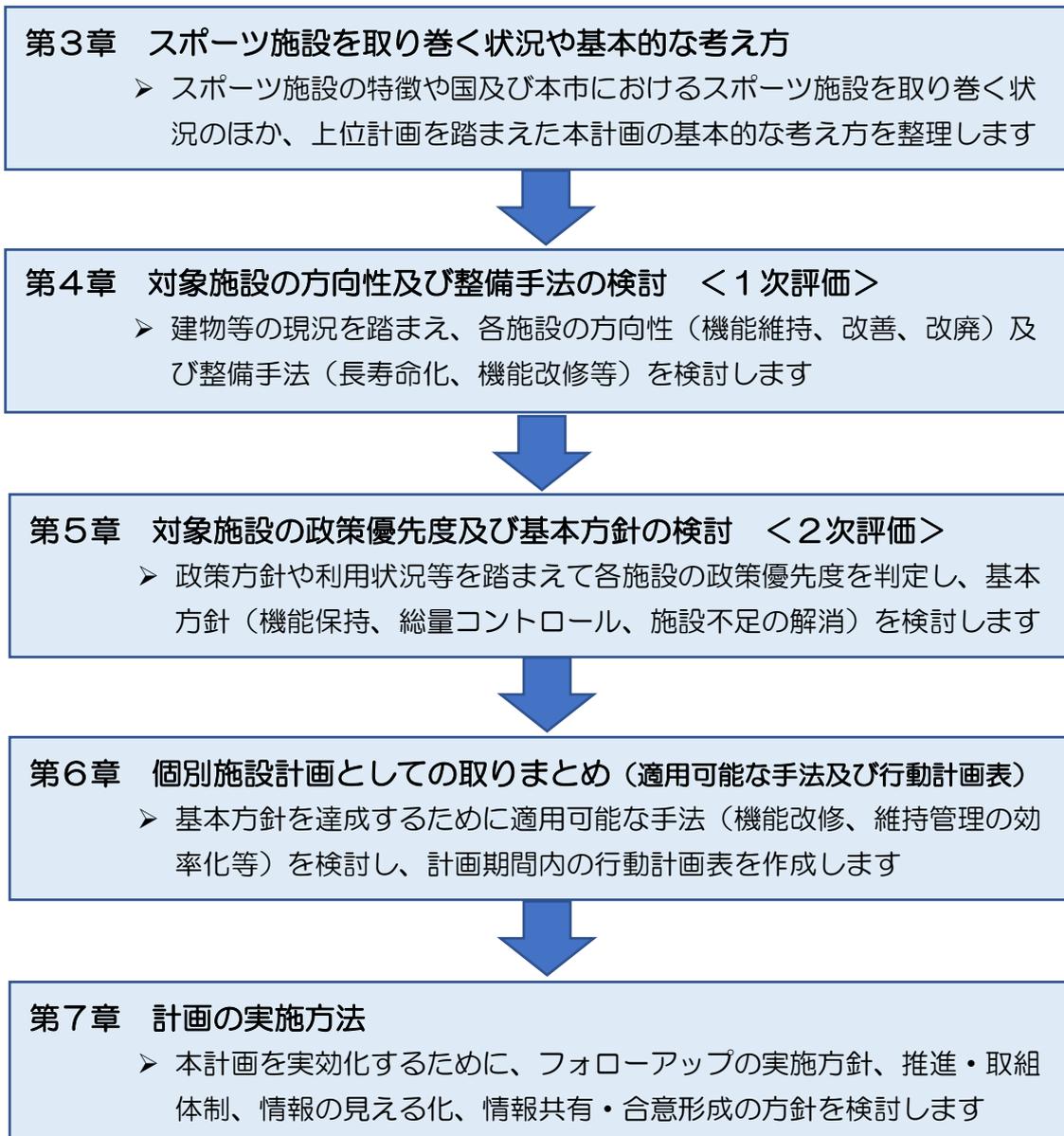


図3 本計画の構成

第3章 スポーツ施設を取り巻く状況や基本的な考え方

第1節 スポーツ施設の特徴

「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」（平成31年4月一部改訂・スポーツ庁）によると、スポーツ施設には、一般的に次のような特徴があるとされています。

① 様々な施設種別がある

スポーツは多種多様であり、地域によって盛んなスポーツが異なることも踏まえると、必要なスポーツ施設は地域に応じて異なる傾向にあります。

そのため、必要なスポーツ施設を画一的に定めることは難しく、地域の実情に応じて決定していく必要があると考えられます。

② 目的に応じて最適な施設の規模や仕様が異なる

一定規模以上の競技大会等を開催できる規模の施設は、整備費用、維持管理費用ともに高くなる傾向にあり、近隣地方公共団体との共有化を図るなど、整備・保有することについては慎重に検討すべきと考えられます。

スポーツ実施率向上や生涯スポーツの観点からは、地区ごとに小規模なスポーツ施設があることが望ましい場合も考えられます。

スポーツ施設の設置目的を慎重に検証し、地域住民全体にとって最適な運営及び整備が行われることが望ましいです。

③ 使用料の見直しも含めて検討することができる

現在、スポーツ施設の多くは使用料が設定されていますが、スポーツ施設をより長期間、安全に利用できる状況を維持するためであれば、使用料について柔軟な検討、運用を行う必要があります。

施設の使用料の見直しに当たっては、施設の運営維持管理・更新コストについて十分な情報公開を行いながら、利用者に対する合意形成を図っていく必要があります。

④ 防災施設として位置付けられている

体育館の多くは地域防災計画等において災害時の避難施設に位置付けられています。

防災施設としての性格も有するスポーツ施設は、スポーツの観点とは別に、防災部局と連携し、耐震化を進めることはもとより、更衣室やトイレ等の機能面でも、災害時の対応が可能となるような強化を進めることが望ましいです。

⑤ 周辺地方公共団体や民間との連携が想定しやすい

スポーツ施設は、広域連携により周辺地方公共団体や都道府県とそれぞれが保有するスポーツ施設の役割分担を行ったり、既存の民間施設の利用を促進したりすることにより、地方公共団体が自ら多様なスポーツ施設を保有する必要がない可能性があります。

特に、大会等を開催するための施設については、大会の広域開催等を図りつつ、施設保有の役割分担を図ることが必要です。

⑥ 学校内に多くのストックが存在している

スポーツ施設の大半は小中高等学校等に潜在的に存在しており、既存ストックである学校体育施設の活用は重要な検討事項です。

特に、地域住民が日頃の運動のために利用する施設については、学校の開放による対応を積極的に図っていくことが望ましいです。

⑦ スポーツ施設の運営及び整備には民間のノウハウの活用が見込まれる

スポーツ施設については、既に民間事業者によるビジネスが成立していることも踏まえ、民間のノウハウを更に活用できるよう、指定管理者制度の導入を図るなどして、利用者に対するサービスの向上と財政負担の軽減を図ることが可能です。

新規整備や改築の際には、施設の設計段階において、民間事業者へのヒアリング等により、どういったサービスを提供するのか、そのために使いやすい施設とはどのような設計とすべきなのか、十分に検討しておく必要があります。

第2節 国内における体育・スポーツ施設の概況

(1) 国内における体育・スポーツ施設の構成

国が平成30年に実施した体育・スポーツ施設現況調査によると、全国の体育・スポーツ施設は約19万施設で、このうち6割が学校体育・スポーツ施設、3割が公共スポーツ施設となっています。学校が占める割合が高いことが特徴として挙げられます。

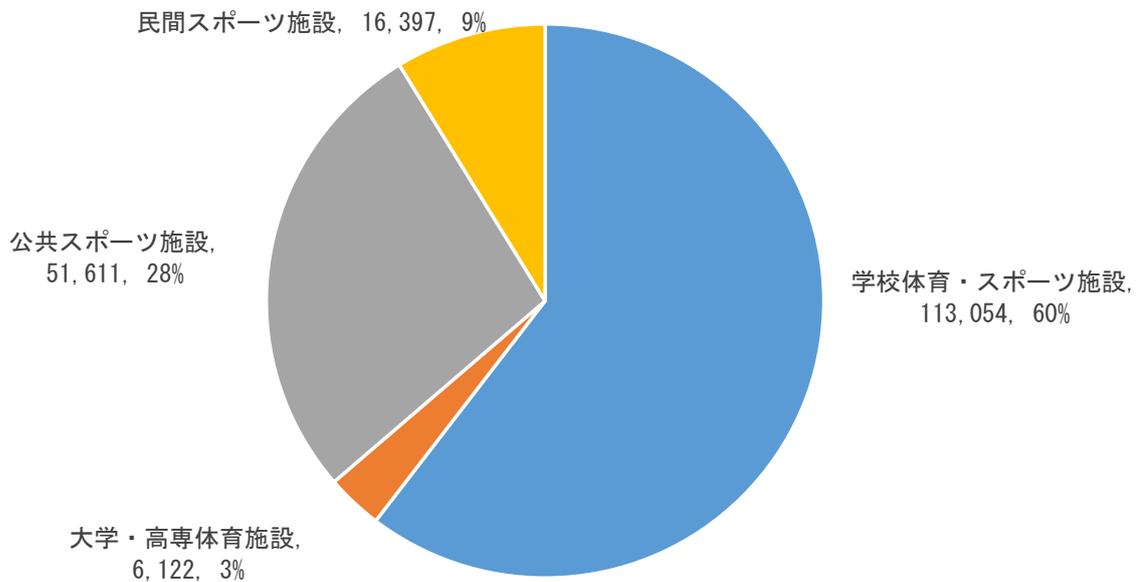


図 4 国内における体育・スポーツ施設の構成

注：凡例は、分類名、施設数、施設数構成比

出典：平成30年度体育・スポーツ施設現況調査

(2) 国内における体育・スポーツ施設数の推移

国が平成30年に実施した体育・スポーツ施設現況調査によると、平成8年度以降の施設数の推移は継続して減少傾向にあります。平成8年の調査から平成30年の調査までの間に減少した施設のうち、小中高等学校等における学校体育・スポーツ施設の減少が約64%と最も高く、次いで公共スポーツ施設の減少が23%となっており、体育・スポーツ施設の減少は主に小中高等学校等において発生しているものと考えられています。

表4 国内における体育・スポーツ施設数の推移

| 分類名 | 平成8年 | 平成30年 | 減少数 | 減少数の 構成割合 |
|-------------|---------|---------|---------|--------------|
| | ① | ② | ③=②-① | |
| 学校体育・スポーツ施設 | 152,083 | 113,054 | -39,029 | 67% |
| 大学・高専体育施設 | 8,531 | 6,122 | -2,409 | 4% |
| 公共スポーツ施設 | 65,528 | 51,611 | -13,917 | 24% |
| 民間スポーツ施設 | 19,147 | 16,397 | -2,750 | 5% |
| 合計 | 245,289 | 187,184 | -58,105 | 100% |

(箇所数)

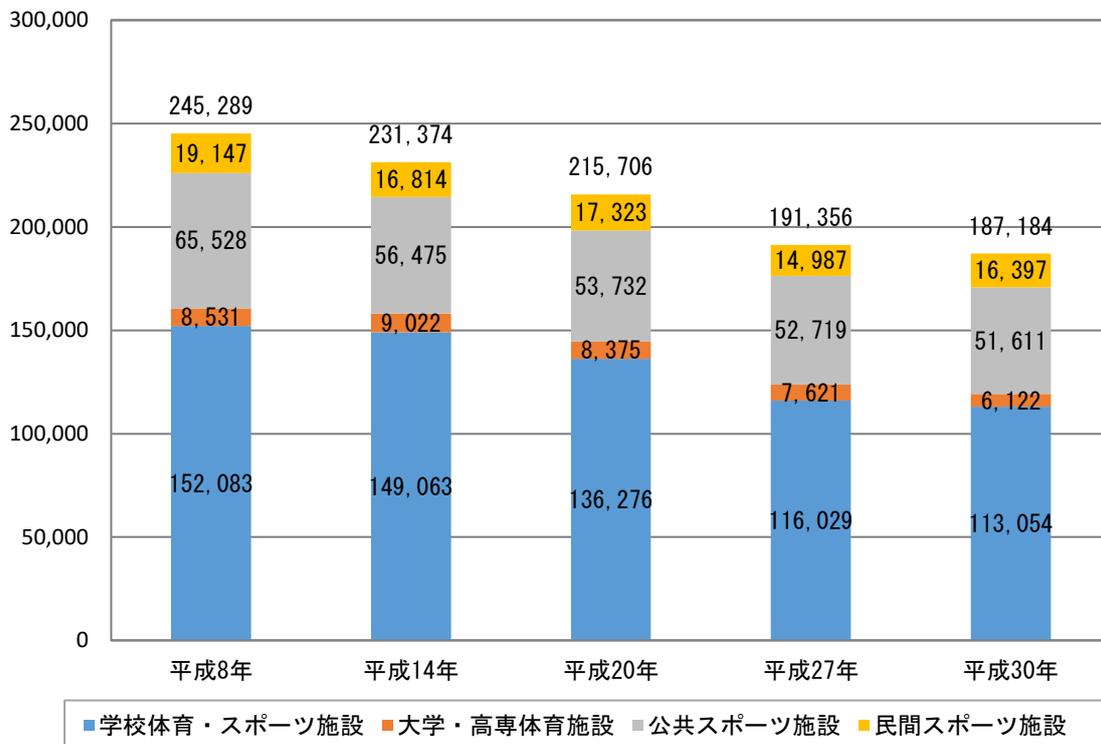


図5 国内における体育・スポーツ施設数の推移

出典：平成30年度体育・スポーツ施設現況調査

第3節 本市の人口及び財政の状況

(1) 市の人口推移と長期的な見通し

本市の人口ビジョンにおいて、社人研推計によると、2060年の本市人口は5,320人まで減少すると推計されています。

しかしながら、直近の合計特殊出生率の改善傾向や、移動人口の推移状況を踏まえると、市の施策による効果が着実に反映されれば、2060年の人口は11,765人となり、社人研推計と比較し、6,445人の施策効果が見込まれます。

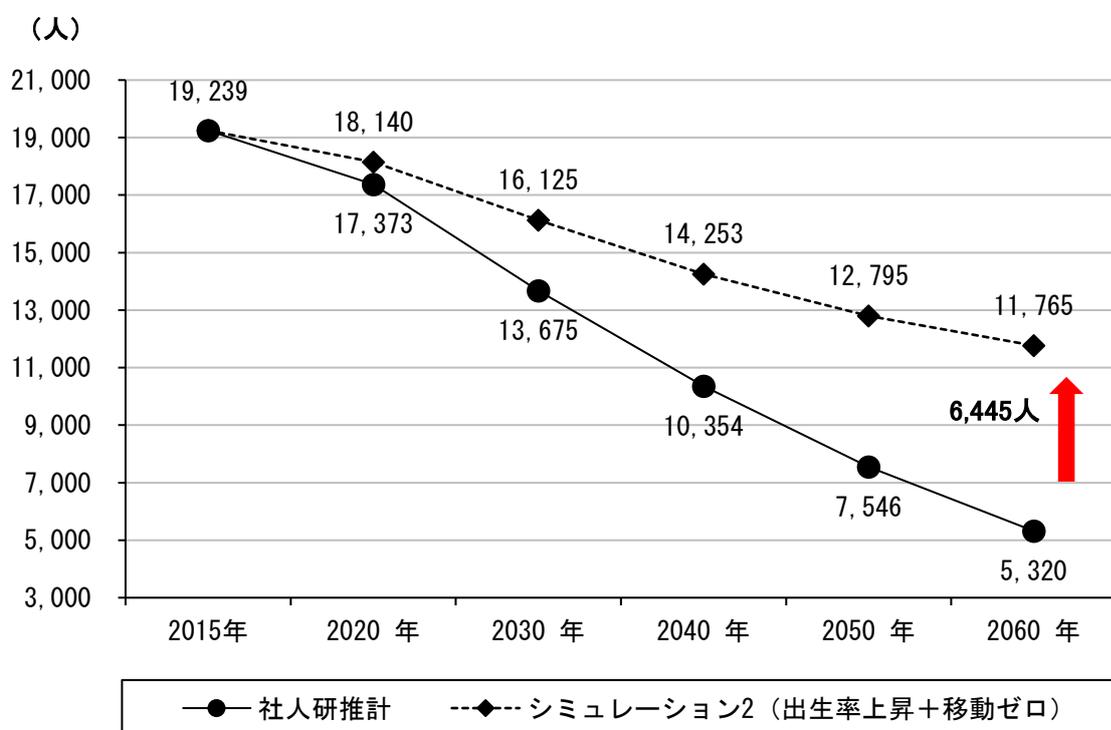


図6 人口ビジョンにおける市の人口推移と長期的な見通し

出典：勝浦市人口ビジョン（令和元年8月・勝浦市）

(2) 一般会計

本市の直近5年間に於ける一般会計の歳入及び歳出の実績をみると、平成28年度以降は約100億円前後から120億円程度の水準で推移しています。なお、令和2年度は新型コロナウイルスに関連する各種事業の影響により、歳入・歳出ともに前年度をやや上回りました。

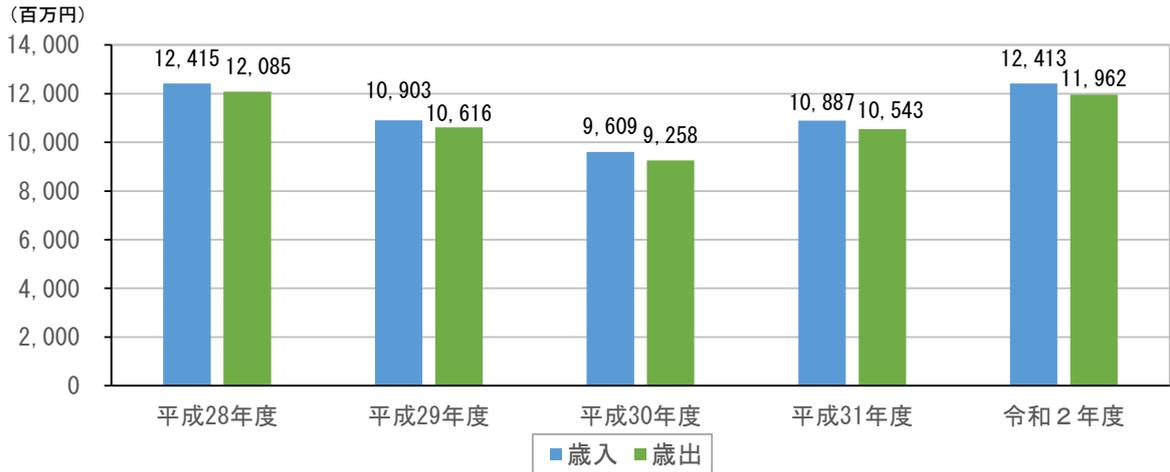


図7 本市の歳入及び歳出（一般会計）

出典：勝浦市決算書

(3) 建築系公共施設全体の保有量（令和3年4月1日時点）

本市の建築系公共施設は総延床面積の72.6%が建築後30年以上を経過しています。

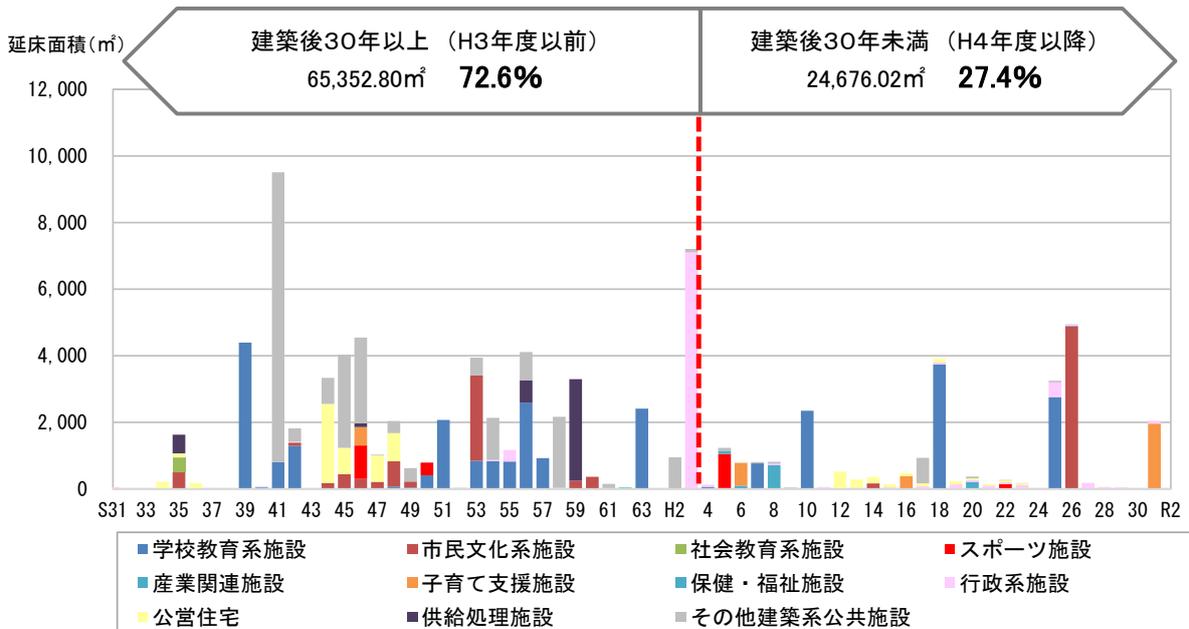


図8 建築年度別延床面積

出典：勝浦市公有財産台帳（建物）

注：用途分類名は総合管理計画の区分による。

第4節 上位計画における公共施設のあり方に関する方針

(1) 勝浦市総合計画・第4次実施計画（令和2年度～令和4年度）【要約】

本計画の最上位計画である勝浦市総合計画においては、生涯スポーツの推進に関する事業の施策の方向性を次のように示しています。

<施策の体系と展開：生涯スポーツの推進>

① 地域資源を活用したスポーツの振興

勝浦市スポーツ協会、スポーツ推進委員、国際武道大学との連携により、市民向けの各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催するとともに、各種スポーツ団体やスポーツ振興を支える人材の育成強化を図ります。

② 社会体育施設の整備

学校体育施設を市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放するとともに、市営野球場をはじめとするスポーツ施設の計画的な整備を推進します。

(補足)「③2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向けた合宿地等の誘致活動」については、事業が終了したことに伴い、上記への掲載を省略しました。

(2) 勝浦市公共施設等総合管理計画（平成29年3月策定、令和4年3月改訂）【要約】

勝浦市公共施設等総合管理計画においては、『公共施設等の適正管理に関する三大原則』、『公共建築物の総量縮減目標（数値目標）』及び『各種実施方針（施設類型別の方針含む）』を示しています（計画期間：平成29年度～令和8年度までの10年間）。

公共施設等の適正管理に関する【三大原則】

原則1：施設総量の縮減によって財政負担を低減します

- ①施設の集約化・複合化等
- ②施設の転用
- ③施設の廃止・除却等

原則2：生活基盤や地域コミュニティの場を担う機能の維持を図ります

- ①生活基盤となる公共施設等の機能維持
- ②地域コミュニティ施設の有効活用
- ③防災（避難場所等）への配慮

原則3：予防保全を中心とした計画的な維持管理を推進します

- ①施設の長寿命化
- ②民間活力の活用
- ③施設の安全性の確保

| 総量縮減に向けた数値目標 |
|---|
| <p>本市では、「原則1」として掲げた施設総量の縮減について実効性を高めるために、総量縮減に向けた以下の数値目標を設定します。</p> <p>本市では、計画期間である平成29年度から10年後（令和8年度）までに、</p> <p style="text-align: center;">【目標】公共建築物の延床面積をおおむね2割縮減します。</p> <p>【計画達成後における10年後の本市の姿】 延床面積：約6万6千㎡（H27年度末 約8万2千㎡よりおおむね2割相当を縮減）</p> |
| 8つの実施方針 |
| <p>(1) 点検・診断等の実施方針・・・<u>不具合等の早期発見</u></p> <p>(2) 維持管理・修繕・更新等の実施方針・・・<u>点検診断結果を踏まえた修繕等</u></p> <p>(3) 安全・安心の確保の実施方針・・・<u>耐震化の推進等</u></p> <p>(4) 長寿命化の実施方針・・・<u>中長期的活用を図る施設は原則として長寿命化</u></p> <p>(5) <u>ユニバーサルデザイン化の推進方針</u>・・・<u>バリアフリー化の推進等</u></p> <p>(6) 統合や廃止の推進方針・・・<u>公共施設の将来のあり方検討</u></p> <p>(7) 地域コミュニティの維持を目的とした 再編成の推進方針・・・<u>規模・配置の適正化</u></p> <p>(8) 総合的かつ計画的な管理を実現するための 体制の構築方針・・・<u>庁内横断的管理</u></p> |
| 施設類型別の管理に関する基本的な方針 【スポーツ施設】 |
| <p>◇ 利用率の向上策及び効率的な運営方法について検討します。</p> <p>◇ (旧)北中学校グラウンドは、現在の施設の機能向上を図ることや、現在の施設に替えて新たに施設整備を図ることなどについて検討し、今後、施設整備を推進します。</p> <p>◇ また、学校体育施設を市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として提供します。</p> |

●補足（計画策定以降の異動事項等）

平成29年3月に閉校した興津中学校について、閉校に伴って現在では学校教育課から芸術文化交流センターに所管替されています。

(旧)興津中学校は興津集会所として利用されており、体育館、柔剣道場及びグラウンドは、興津集会所に併設した社会体育施設となりました。

第5節 対象施設のあり方に関する基本的な考え方

本章で整理したスポーツ施設全般の傾向及び特徴、本市の人口、財政及び公共施設の保有状況、上位計画における公共施設のあり方に関する各種方針等を踏まえ、次章以降で検討する対象施設の方向性等の前提となる「基本的な考え方」を次のとおりに整理します。

■対象施設を取り巻く状況（まとめ）

- ① 国内の全般的な傾向としてスポーツ施設の数減少傾向にあります。
- ② 本市の人口は将来的に減少が見込まれています。
- ③ 近年の本市の財政は安定していますが、将来的には人口減少の影響が想定されます。
- ④ 今後、建築系公共施設の老朽化は顕著となる見通しです。

■上位計画における基本方針（まとめ）

- ① 施設総量の縮減、地域コミュニティ機能の維持及び予防保全を推進します。
- ② 安全管理面の維持管理方針や長寿化の推進など、適切な老朽化対策を重視します。
- ③ スポーツ施設については、用途転用や効率的な維持管理の考えを重視します。

■対象施設の維持管理及び更新に関する基本的な考え方

その1 安全管理の徹底

対象施設の中には老朽化が顕著な施設もある中、対象施設が多世代に活用され、防災上の機能を有する場合があることも踏まえると、安全管理の徹底を重視します。

その2 計画的かつ効率的な維持管理の推進

財政負担の軽減を図りながら対象施設を長く大切に使用し続けるために、計画的な改修を推進するほか、運営方法の改善などの効率的な維持管理体制を構築します。

その3 用途や機能の柔軟な見直しの実施

市民のスポーツ活動に対する意識の変化や、本市の公共施設全般の再編の動向も踏まえ、対象施設の用途や機能を固定的に捉えることなく、絶えず柔軟な見直しを行うことによって、利用者のニーズに見合った適切な公共サービスの提供に努めます。

第4章 対象施設の方向性及び整備手法の検討〈1次評価〉

第1節 1次評価の流れ

1次評価では、施設ごとに最適な方向性及び整備手法を検討するために、「施設の安全性・機能性」、「経済性（コスト、収入）」、「耐震性」の3つの観点から現況の評価を行います。

表 5 施設の方向性及び施設の整備手法の概要

| 施設の方向性 | 施設の整備手法 | 概要 |
|--------|---------|----------------------------------|
| 維持 | 長寿命化 | 計画的に改修等の保全を行い、現在の施設をより長く使用する。 |
| 改善 | 機能改修 | 経年劣化への対応を目的に改修する。 |
| | 耐震改修 | 地震に対する安全性向上を目的に改修する。 |
| 改廃 | 再整備（改築） | 現状の施設を解体し、現地若しくは別の敷地に新たに施設を整備する。 |
| | 廃止 | 施設を解体・撤去する。 |

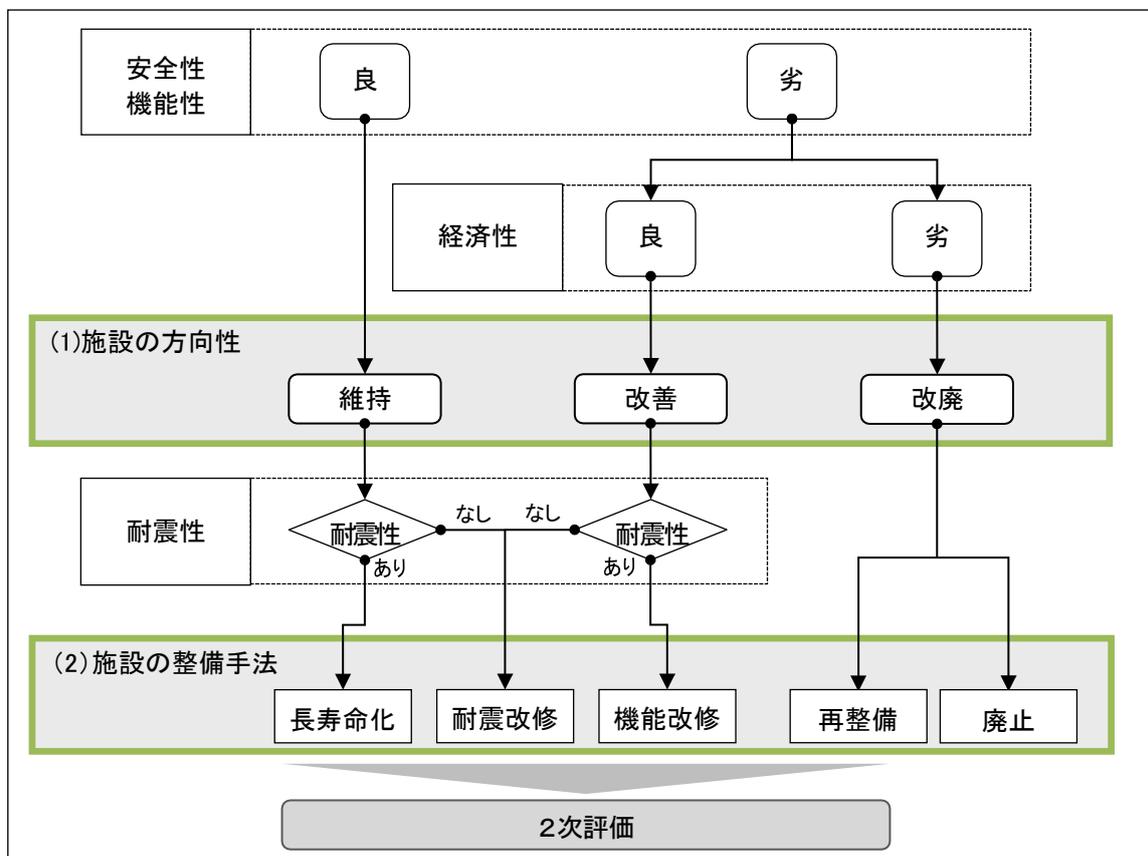


図 9 対象施設の方向性及び整備手法の検討（1次評価）のフロー

第2節 安全性・機能性の評価

(1) 安全性・機能性の評価の意義

施設の安全性は、劣化状況が施設の利用者や第三者の安全に与える可能性を中心に、安全管理マニュアル等の安全対策の実施状況について検証するものです。

施設の機能性は、施設の空間や諸設備が、当該施設で行われているスポーツ活動に相應しい性能を有しているかどうかについて検証するものです。

このほかにも、建築基準法等の法令に適合していることや、屋外照明や排水設備などの付帯設備が健全な状態にあることなども、安全性や機能性に関連する検証事項です。

本計画では、対象施設の安全性・機能性について以下の調査を実施しました。

表 6 安全性・機能性の調査項目

| 項目 | | 細目 |
|-------------|---------------|--|
| 安全性 | 経過年数 | ・ 竣工年からの経過年数 |
| | 躯体の安全性 | ・ 躯体の劣化状況（剝離、ひび割れ等の損傷） |
| | 外被性能 | ・ 屋根及び外壁等からの漏水の有無 ・ 屋根の劣化状況（勾配屋根材、防水材の劣化） ・ 外壁材の劣化状況（剝離、落下の危険性の有無） |
| 機能性 | 空間性能（建築） | ・ 室空間に関する問題（広さ、高さ等） ・ 内装の劣化状況（天井、壁、床、建具等） |
| | 室内環境性能（電気・機械） | ・ 室内環境（空調、衛生、音、光）の状況 ・ 付帯設備（トイレ、シャワー、更衣室等）の整備状況 ・ 設備機器、配管等の劣化状況 ・ 運用に関する問題（設備の管理、運転等） |
| 法令への適合状況 | | ・ 建築基準法：※定期調査報告は該当無し ・ 消防法：消防用設備等点検の結果 |
| 屋外スポーツ施設の状況 | | ・ 舗装の健全度（テニスコート） ・ 付帯施設（フェンス等）、付帯設備（照明等）の健全度 ・ 熱中症対策の状況（屋根、ひさし、木陰等の設置） |

| 項目 | | 細目 |
|---------------------|----------------|---|
| スポーツ 施設の 安全対策 | 施設の 安全対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内スポーツフロアの状況（すべり転倒、床板割れ、床金物の緩み等） ・ 屋外スポーツコートの状況（平坦性の維持） ・ 特定天井対策の状況 ・ A E D等の救急救命機具の設置状況 |
| | 用具・器具の 安全対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 落下防止対策の状況（吊り下げ・壁面固定のバスケットゴール等） ・ 移動防止対策の状況（サッカーゴール等） ・ 強化、防振対策の状況 |
| | 安全管理の 体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理マニュアルの整備及び周知徹底状況 ・ 教育及び訓練の実施状況 |

(2) 安全性・機能性の評価基準

本計画では、次の評価基準を設定し、安全性・機能性の項目ごとにA・B・C・Dの4段階の評価を行い（評価基準その1）、それらの評価を踏まえて総合判定として「良」又は「劣」の評価をしました（評価基準その2）。

表 7 安全性・機能性の評価基準その1

| 指標 | 評価基準 |
|----|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> 全体的に健全である。 緊急の修繕の必要がないため、日常の維持保全で管理するもの。 |
| B | <ul style="list-style-type: none"> 全体的に健全だが、部分的な劣化が進行している。 緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。 |
| C | <ul style="list-style-type: none"> 全体的に劣化が進行している。 現時点では重大な事故にはつながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、若しくは更新が必要なもの。 |
| D | <ul style="list-style-type: none"> 全体的に顕著な劣化がある。 重大な事故につながる恐れがあり、施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、若しくは更新が必要とされる。 |

表 8 安全性・機能性の評価基準その2

| 評価基準 | 評価 |
|--|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> 全体的に劣化・不具合等の事象が確認されない。 部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応）。 法定点検での是正報告がない、又は是正事項が既に改善されている（改善予定も含む）。 スポーツ施設の安全対策がなされている。 | ➡ 良 |
| <ul style="list-style-type: none"> 全体的な劣化・不具合等、若しくは著しい劣化・不具合等の事象が確認され、全面的な補修若しくは改修が必要である。 劣化・不具合等の事象により、重大な事故、施設の利用制限、又は緊急に補修若しくは改修が必要である。 法定点検での是正報告があり、是正が長期間放置されている、若しくは重大な事故、施設の利用制限が想定される。 重大な事故の恐れがあり、安全に関する対策が実施されていない。 | ➡ 劣 |

(3) 安全性・機能性の現況及び評価

① 安全性・機能性の現況調査及び評価の手順

次の手順にて安全性・機能性に関する対象施設の現況を整理し、その上で評価基準を適用して、安全性・機能性の評価をしました。

■ 安全性・機能性の現況調査及び評価の手順

① 対象施設の基本情報の整理

竣工図等の図書・資料類を収集整理し、各種調査項目のうち、机上調査が可能な事項を確認しました。

② 過去の修繕履歴の整理

現状に影響を及ぼしている大規模修繕の実施履歴や直近 10 年程度の中規模程度の改修工事の履歴を確認しました。

③ 不具合箇所等の施設管理者へのヒアリング

現地調査に先立って、施設管理者にヒアリングシートを配布し、雨漏りや重大な劣化・損傷箇所の有無や内容を確認しました。

④ 現地調査（目視確認）

対象施設の状況を目視確認し、安全性・機能性に関する支障の有無や内容を確認しました（写真撮影含む）。

⑤ 現況調査シートの取りまとめ

前記①から④の調査結果を「現況調査シート」に網羅的に整理し、調査項目ごとに現況（状況）の「良」又は「劣」並びに補足事項（備考欄）の記入を行いました。

⑥ 施設全体の評価（考察）

調査項目ごとに整理した「良」又は「劣」並びに補足事項を踏まえ、評価基準に照らして施設単位での「良」又は「劣」を検討しました。

② 安全性・機能性の現況及び評価結果

施設ごとに安全性・機能性の現況を調査・評価した結果は次のとおりとなりました。

●荒川テニスコート研修室

① 現況調査シート

| 項目 | 細目 | 状況 | 備考 |
|-------------|---|-----------|----------------|
| 安全性 | 竣工年からの経過年数 | 11 年 | |
| | 躯体の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 屋根及び外壁等からの漏水の有無 | □ 有 / ■ 無 | |
| | 屋根の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | 遠方からの目視による |
| | 外装材の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| 機能性 | 室空間に関する問題(広さ、高さ等) | □ 有 / ■ 無 | |
| | 内装の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 室内環境の状況 | ■ 良 / □ 劣 | 研修室等にエアコン設置 |
| | 附帯設備の整備状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 設備機器、配管等の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 設備の管理や運転等、運用上の問題 | ■ 有 / □ 無 | |
| | バリアフリー対応の状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 省エネ対策の状況 | □ 良 / ■ 劣 | |
| 法令への適合状況 | 特定建築物、建築設備等定期調査・検査の是正有無 | □ 有 / □ 無 | 定期調査・検査対象外 |
| | 消防用設備等点検の是正有無 | □ 有 / □ 無 | 消防用設備設置なし |
| | 自家用電気工作物点検の是正有無 | □ 有 / □ 無 | 自家用電気工作物の設置なし |
| 屋外スポーツ施設の状況 | 舗装(地面)の健全度 | □ 良 / □ 劣 | |
| | 附帯施設の健全度(フェンス等) | □ 良 / □ 劣 | |
| | 附帯設備の健全度(照明、散水、排水等) | □ 良 / □ 劣 | |
| | 熱中症対策の(施設等の)有無(屋根、ひさし、木陰等) | □ 有 / □ 無 | |
| スポーツ施設の安全対策 | 屋内スポーツフロアの状況(床板割れ、床金物緩み等) | □ 良 / □ 劣 | スポーツフロアはない |
| | 特定天井対策の実施 | □ 有 / □ 無 | 特定天井はない |
| | AED等の設置の有無 | □ 有 / □ 無 | テニスコート用にAEDを設置 |
| | 【参考】用具器具の安全対策の実施 (ゴール等の落下・移動防止対策、強化・防振対策等) | □ 有 / □ 無 | |
| | 【参考】安全管理の体制の状況 (マニュアルの整備・周知、教育・訓練の実施等) | □ 良 / □ 劣 | |
| コメント | | | |

●荒川テニスコート研修室

<現況写真(1/2)>

| | | | |
|---|-------------|--|----------|
| 1 | 屋根、外壁：南側、東側 | 2 | 外壁：北側、西側 |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 3 | 屋根、外壁：東側 | 4 | 外壁、軒裏：西側 |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 5 | 研修室出入口：スロープ | 6 | 内部：研修室 |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |

●荒川テニスコート研修室

<現況写真(2/2)>

| | | | |
|---|--------------|--|--------|
| 7 | 内部：廊下 | 8 | 内部：出入口 |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 9 | 内部：給湯室 | 10 | 内部：便所 |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 11 | 設備：エアコン（研修室） | 12 | 備品：AED |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |

●荒川テニスコート研修室

② 総評

| 現況及び留意点 | |
|--|--|
| (現状) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 2010年(平成22年)度築の木造建物であり、研修室のほかテニスコートの附帯機能(用具庫、休憩スペース、便所等)を有しています。 | |
| (安全性・機能性等の状況) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 屋根・外壁について、破損・漏水等の不具合は発生しておらず、良好な状態です。 室内環境については、研修室等にエアコンを設置しており、内装・設備機器についても不具合等は見られません。バリアフリー対応の状況として、誰でもトイレ、スロープ、手すりを設置しています。 建築基準法及び消防法における点検・検査については対象規模・用途の範囲外です。 上記を踏まえ安全性・機能性等の現況評価として、「安全性」、「機能性」は「A」としました。「安全対策」、「法令適合性」は評価対象外としています。 | |
| (維持管理・改修上の留意点) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 予防保全の観点から躯体(構造体)の劣化・損傷を防ぐよう屋根(防水)、外壁等の修繕を計画的に実施し、長期にわたり維持、運営することが望ましいです。 | |

③ 評価結果

| 項目 | 現況評価 | 状況 | 判定 |
|------------|----------|----|----|
| 安全性 機能性 | 安全性 | A | 良 |
| | 機能性 | A | |
| | 法令適合性 | — | |
| | 屋外スポーツ施設 | — | |
| | 安全対策 | — | |
| | その他 | — | |

●荒川テニスコート

① 現況調査シート

| 項目 | 細目 | 状況 | 備考 |
|-------------|---|--|-------------------------------|
| 安全性 | 竣工年からの経過年数 | 年 | |
| | 躯体の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 屋根及び外壁等からの漏水の有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 屋根の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 外装材の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| 機能性 | 室空間に関する問題(広さ、高さ等) | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 内装の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 室内環境の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 附帯設備の整備状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 設備機器、配管等の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 設備の管理や運転等、運用上の問題 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | バリアフリー対応の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 省エネ対策の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| 法令への適合状況 | 特定建築物、建築設備等定期調査・検査の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 消防用設備等点検の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 自家用電気工作物点検の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| 屋外スポーツ施設の状況 | 舗装(地面)の健全度 | <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | 部分的に荒れが見られるが、使用上は影響がない |
| | 附帯施設の健全度(フェンス等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input checked="" type="checkbox"/> 劣 | Dコート付近フェンス支柱が傾いているが、使用上は影響がない |
| | 附帯設備の健全度(照明、散水、排水等) | <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 熱中症対策の(施設等の)有無(屋根、ひさし、木陰等) | <input checked="" type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | 隣接する研修室建物の軒下を休憩スペースとして活用 |
| スポーツ施設の安全対策 | 屋内スポーツフロアの状況(床板割れ、床金物緩み等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 特定天井対策の実施 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | AED等の設置の有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 【参考】用具器具の安全対策の実施(ゴール等の落下・移動防止対策、強化・防振対策等) | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 【参考】安全管理の体制の状況(マニュアルの整備・周知、教育・訓練の実施等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| コメント | | | |

●荒川テニスコート

<現況写真>

| | | | |
|---|-----------------|--|-----------------|
| 1 | テニスコート | 2 | テニスコート : Dコート付近 |
| 現況写真 | | コート面荒れ (遠景) | |
|  | |  | |
| 3 | テニスコート : Dコート付近 | 4 | 照明 |
| コート面荒れ (近景) | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 5 | フェンス : Dコート付近 | 6 | ベンチ |
| 支柱傾き | | 現況写真 | |
|  | |  | |

●荒川テニスコート

② 総評

| 現況及び留意点 | |
|---|--|
| (現状) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 2010年(平成22年)度完成の屋外スポーツ施設でテニスコート4面を有し、表面(地面)は砂入り人工芝、夜間照明(近隣住居への配慮で2面に設置)・フェンス等の附帯施設・設備を有しています。 | |
| (屋外運動施設の状況) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 2019年(令和元年)度の大規模台風の際の倒木によりDコート付近のフェンス支柱の歪み、支柱支持ワイヤー保護材の脱落、テニスコート内の表面(地面)に部分的には荒れが生じていますが、プレーに特段影響は生じていない状況です。 テニスコートに隣接した研修室にAEDを設置し、研修室建物の軒下に休憩スペースを設けています。 上記を踏まえ「屋外スポーツ施設の状況」の現況評価は「B」としました。 | |
| (維持管理・改修上の留意点) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 予防保全の観点から計画的に修繕を実施し、長期にわたり維持、運営することが望ましい状況です。砂入り人工芝については、通常の管理においてブラッシングで目砂の偏りを解消するとともに、(人工芝パイルの摩耗による)余剰砂の除去や落ち葉の清掃に留意を要します。また、人工芝パイルの摩耗や浮き、接合部の開き等が見られる場合は全面又は部分貼り替えが必要となります。ベースライン付近は人工芝の摩耗が進行しやすく、定期的に芝丈を測定してコート全体の摩耗状況を確認することが望ましいです。 | |

③ 評価結果

| 項目 | | 現況評価 | 状況 | 判定 |
|------------|----------|------|----------------------|----|
| 安全性 機能性 | 安全性 | — | | 良 |
| | 機能性 | — | | |
| | 法令適合性 | — | | |
| | 屋外スポーツ施設 | B | フェンス支柱の傾き、コートに部分的な荒れ | |
| | 安全対策 | — | | |
| | その他 | — | | |

●(旧)北中学校体育館

① 現況調査シート

| 項目 | 細目 | 状況 | 備考 |
|-------------|---|-----------|------------------------------|
| 安全性 | 竣工年からの経過年数 | 50年 | |
| | 躯体の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 屋根及び外壁等からの漏水の有無 | ■ 有 / □ 無 | 大雨の際に漏水した箇所あり(現在は様子見) |
| | 屋根の劣化状況 | □ 良 / □ 劣 | 目視不可 |
| | 外装材の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | 部分的に破損箇所あり(地震等によると推定) |
| 機能性 | 室空間に関する問題(広さ、高さ等) | □ 有 / ■ 無 | |
| | 内装の劣化状況 | □ 良 / ■ 劣 | 壁仕上げの剥離(使用上の問題はない)、鉄骨塗装の剥離 |
| | 室内環境の状況 | □ 良 / ■ 劣 | エアコン設置なし |
| | 附帯設備の整備状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 設備機器、配管等の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 設備の管理や運転等、運用上の問題 | ■ 有 / □ 無 | |
| | バリアフリー対応の状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 省エネ対策の状況 | □ 良 / ■ 劣 | |
| 法令への適合状況 | 特定建築物、建築設備等定期調査・検査の是正有無 | □ 有 / □ 無 | 定期調査・検査対象外 |
| | 消防用設備等点検の是正有無 | □ 有 / □ 無 | 消防用設備設置なし |
| | 自家用電気工作物点検の是正有無 | □ 有 / □ 無 | 自家用電気工作物の設置なし |
| 屋外スポーツ施設の状況 | 舗装(地面)の健全度 | □ 良 / □ 劣 | |
| | 附帯施設の健全度(フェンス等) | □ 良 / □ 劣 | |
| | 附帯設備の健全度(照明、散水、排水等) | □ 良 / □ 劣 | |
| | 熱中症対策の(施設等の)有無(屋根、ひさし、木陰等) | □ 有 / □ 無 | |
| スポーツ施設の安全対策 | 屋内スポーツフロアの状況(床板割れ、床金物緩み等) | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 特定天井対策の実施 | □ 有 / □ 無 | 特定天井はない |
| | AED等の設置の有無 | ■ 有 / □ 無 | |
| | 【参考】用具器具の安全対策の実施(ゴール等の落下・移動防止対策、強化・防振対策等) | □ 有 / ■ 無 | 特に対策はしていないが、目視の範囲で不具合等は見られない |
| | 【参考】安全管理の体制の状況(マニュアルの整備・周知、教育・訓練の実施等) | □ 良 / ■ 劣 | マニュアルの整備等は行っていない |
| コメント | 北東側の山(崖)に崩落跡、及び体育館外壁に修繕跡あり | | |

●(旧)北中学校体育館

<現況写真(1/2)>

| | | | |
|---|-----------|--|------------|
| 1 | 外壁：南西側 | 現況写真 | 現況写真 |
|  | |  | |
| 3 | 外壁：北西側 | 現況写真 | 修繕跡 |
|  | |  | |
| 5 | 外壁、土台：南西側 | 部分破損、ひび割れ | 鉄骨発錆、被覆材剥離 |
|  | |  | |

●(旧)北中学校体育館

<現況写真(2/2)>

| | | | |
|---|----------|--|----------|
| 7 | 内部 | 8 | 内部：天井梁等 |
| 現況写真 | | 鉄骨塗装剥離 | |
|  | |  | |
| 9 | 内部：ステージ袖 | 10 | 内部：ステージ袖 |
| 壁漏水跡 | | 壁仕上剥離 | |
|  | |  | |
| 11 | 内部：便所 | 12 | 備品：AED |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |

●(旧)北中学校体育館

② 総評

| 現況及び留意点 | |
|--|--|
| (現状) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 1971年(昭和46年)度築(2021年(令和3年)度現在で築50年)の鉄骨造建物であり、当初は中学校体育館として使用していましたが、2017年(平成29年)の学校統廃合により転用しスポーツ施設(社会体育施設)として使用しています。 2012年(平成24年)度以降に耐震補強工事及び大規模改修工事(多目的便所設置に伴う便所等のレイアウト変更(仕上等の更新含む)、屋根防水、スポーツフロア(床材等)、窓ガラス等の更新)を実施しています。 | |
| (安全性・機能性等の状況) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 大雨の際、内壁に雨漏れが発生した箇所があるほか、外壁等の部分的な破損(南西側土台付近、地震等によるものと推定)が見られるものの、おおむね経年相応の劣化状況です。北東側の外壁については、近隣からの土砂流入による補修跡が見られます。 内装については、壁紙や柱梁の鉄骨塗装に剥離が見られるものの、おおむね経年相応の劣化状況であり、設備機器等についても特に難は見られません。バリアフリー対応の状況として、誰でもトイレ、スロープ、手すりを設置しています。 消防設備(屋内消火栓)の廃止に伴い、2021年(令和3年)度に入出口の増設及び既存出入口の改修を実施しています。 建築基準法及び消防法における点検・検査については対象規模・用途の範囲外です。 安全対策としてAEDを設置しており、屋内スポーツフロアに不具合はありません。 上記を踏まえ安全性・機能性等の現況評価として、「安全性」、「機能性」、「安全対策」は「B」としました。「法令適合性」は評価対象外としています。 | |
| (維持管理・改修上の留意点) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 外壁等の破損部分の補修、塗装剥離部分の再塗装等の実施を検討するとともに、屋根・外壁・窓まわり等の防水性の確保等、機能維持に必要な範囲で修繕を実施することが望ましい状況です。 | |

③ 評価結果

| 項目 | 現況評価 | 状況 | 判定 |
|------------|----------|----|----|
| 安全性 機能性 | 安全性 | B | 良 |
| | 機能性 | B | |
| | 法令適合性 | — | |
| | 屋外スポーツ施設 | — | |
| | 安全対策 | B | |
| | その他 | — | |

●(旧)北中学校グラウンド

① 現況調査シート

| 項目 | 細目 | 状況 | 備考 |
|-------------|---|--|---------------------------|
| 安全性 | 竣工年からの経過年数 | 年 | |
| | 躯体の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 屋根及び外壁等からの漏水の有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 屋根の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 外装材の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| 機能性 | 室空間に関する問題(広さ、高さ等) | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 内装の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 室内環境の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 附帯設備の整備状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 設備機器、配管等の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 設備の管理や運転等、運用上の問題 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | バリアフリー対応の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 省エネ対策の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 災害対策の状況(備蓄、防災設備等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| 法令への適合状況 | 特定建築物、建築設備等定期調査・検査の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 消防用設備等点検の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 自家用電気工作物点検の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| 屋外スポーツ施設の状況 | 舗装(地面)の健全度 | <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | 土の入れ替えを実施(2021年) |
| | 附帯施設の健全度(フェンス等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input checked="" type="checkbox"/> 劣 | バックネットの劣化(支柱に発錆等)、ネットは修繕済 |
| | 附帯設備の健全度(照明、散水、排水等) | <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | グラウンド脇に可動式便所設置 |
| | 熱中症対策の(施設等の)有無(屋根、ひさし、木陰等) | <input checked="" type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | グラウンド脇に屋根設置 |
| スポーツ施設の安全対策 | 屋内スポーツフロアの状況(床板割れ、床金物緩み等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 特定天井対策の実施 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | AED等の設置の有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 【参考】用具器具の安全対策の実施(ゴール等の落下・移動防止対策、強化・防振対策等) | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 【参考】安全管理の体制の状況(マニュアルの整備・周知、教育・訓練の実施等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| コメント | | | |

●(旧)北中学校グラウンド

<現況写真>

| | | | |
|---|--------|--|--------|
| 1 | グラウンド | 2 | バックネット |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 3 | バックネット | 4 | フェンス |
| 鉄骨発錆 | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 5 | 屋根、ベンチ | 6 | 便所 |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |

●(旧)北中学校グラウンド

② 総評

| 現況及び留意点 | |
|--|--|
| (現状) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 北中学校閉校以降、北中学校体育館と同様に転用しスポーツ施設（社会教育施設）として使用しています。 ・ 表面（地面）は土及び芝であり、バックネット等の附帯施設を有しています。 | |
| (屋外スポーツ施設の状況) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度に外野及び内野ファウルゾーン等へ岩瀬砂を敷き、転圧整備を実施しました。 ・ バックネットの支柱に発錆がみられるものの、ネットは補修（上掛け）しており、使用に際して支障は無い状況です。 ・ グラウンド脇に日よけ用の屋根を設置しています。 ・ 上記を踏まえ「屋外スポーツ施設の状況」の現況評価は「B」としました。 | |
| (維持管理・改修上の留意点) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ バックネットの支柱については錆の除去及び再塗装を検討する等、機能維持に必要な範囲で整備・修繕を実施することが望ましい状況です。グラウンドの整備にあたっては、守備位置や塁間の走路部分、バッターボックスなどは特に低くなり水たまりになりやすいため、入念な整備を実施することが望ましいです。 | |

③ 評価結果

| 項目 | | 現況評価 | 状況 | 判定 |
|------------|----------|------|------------------------|----|
| 安全性 機能性 | 安全性 | — | | 良 |
| | 機能性 | — | | |
| | 法令適合性 | — | | |
| | 屋外スポーツ施設 | B | バックネットの劣化(支柱に発錆等) | |
| | 安全対策 | — | | |
| | その他 | — | 一部、岩瀬砂を敷き転圧整備を実施(令和3年) | |

●(旧)興津中学校体育館

① 現況調査シート

| 項目 | 細目 | 状況 | 備考 |
|-------------|---|-----------|------------------------------|
| 安全性 | 竣工年からの経過年数 | 28年 | |
| | 躯体の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 屋根及び外壁等からの漏水の有無 | □ 有 / ■ 無 | |
| | 屋根の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | 遠方からの目視による |
| | 外装材の劣化状況 | □ 良 / ■ 劣 | 外壁シールの劣化、部分破損 |
| 機能性 | 室空間に関する問題(広さ、高さ等) | □ 有 / ■ 無 | |
| | 内装の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | 部分的な破損あり (使用上の問題はない) |
| | 室内環境の状況 | □ 良 / ■ 劣 | エアコン設置なし |
| | 附帯設備の整備状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 設備機器、配管等の劣化状況 | ■ 良 / □ 劣 | |
| | 設備の管理や運転等、運用上の問題 | □ 有 / ■ 無 | |
| | バリアフリー対応の状況 | ■ 良 / □ 劣 | バリアフリー一部対応済 |
| | 省エネ対策の状況 | □ 良 / ■ 劣 | |
| | 災害対策の状況(備蓄、防災設備等) | ■ 良 / □ 劣 | 別棟(集会所)に災害備蓄あり |
| 法令への適合状況 | 特定建築物、建築設備等定期調査・検査の是正有無 | □ 有 / □ 無 | 定期調査・検査対象外 |
| | 消防用設備等点検の是正有無 | □ 有 / ■ 無 | |
| | 自家用電気工作物点検の是正有無 | □ 有 / □ 無 | 自家用電気工作物の設置なし |
| 屋外スポーツ施設の状況 | 舗装(地面)の健全度 | □ 良 / □ 劣 | |
| | 附帯施設の健全度(フェンス等) | □ 良 / □ 劣 | |
| | 附帯設備の健全度(照明、散水、排水等) | □ 良 / □ 劣 | |
| | 熱中症対策の(施設等の)有無(屋根、ひさし、木陰等) | □ 有 / □ 無 | |
| スポーツ施設の安全対策 | 屋内スポーツフロアの状況(床板割れ、床金物緩み等) | ■ 良 / □ 劣 | 部分的な傷あり (使用上の問題はない) |
| | 特定天井対策の実施 | □ 有 / □ 無 | 特定天井はない |
| | AED等の設置の有無 | ■ 有 / □ 無 | |
| | 【参考】用具器具の安全対策の実施 (ゴール等の落下・移動防止対策、強化・防振対策等) | □ 有 / ■ 無 | 特に対策はしていないが、目視の範囲で不具合等は見られない |
| | 【参考】安全管理の体制の状況 (マニュアルの整備・周知、教育・訓練の実施等) | □ 良 / ■ 劣 | マニュアルの整備等は行っていない |
| コメント | 吊り下げ式バスケットゴールが故障 | | |

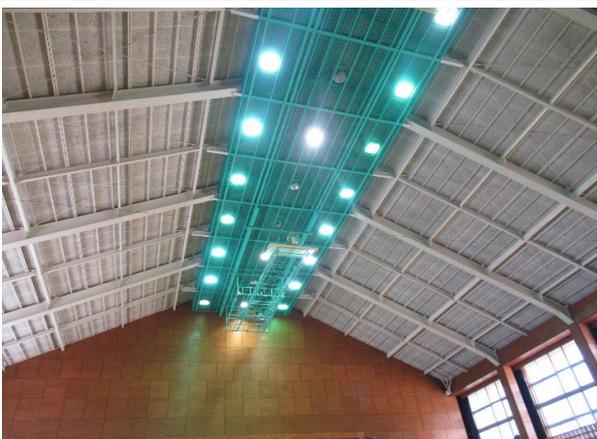
●(旧)興津中学校体育館

<現況写真(1/3)>

| | | | |
|---|----------|--|----------|
| 1 | 外壁、屋根：東側 | 2 | 外壁、屋根：西側 |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 3 | 屋根：北側 | 4 | 外壁：西側 |
| 現況写真 | | シール劣化、部分破損（遠景） | |
|  | |  | |
| 5 | 外壁：西側 | 6 | 出入口 |
| シール劣化、部分破損（近景） | | 現況写真 | |
|  | |  | |

●(旧)興津中学校体育館

<現況写真(2/3)>

| | | | |
|---|-------|--|------|
| 7 | 軒裏 | 8 | 軒裏 |
| 発錆 | | 汚れ | |
|  | |  | |
| 9 | 軒裏 | 10 | 内部 |
| 発錆、たわみ | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 11 | 内部：天井 | 12 | 内部：床 |
| 現況写真 | | 軽微な傷 | |
|  | |  | |

●(旧)興津中学校体育館

<現況写真(3/3)>

| | | | |
|---|----------|--|---------------|
| 13 | 内部：壁 | 14 | 内部：壁 |
| 軽微な傷 | | 軽微な傷 | |
|  | |  | |
| 15 | 内部：便所 | 16 | 用具器具：バスケットゴール |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 17 | 設備：屋内消火栓 | 18 | 備品：AED |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |

●(旧)興津中学校体育館

② 総評

| 現況及び留意点 | |
|---|--|
| (現状) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 1993年(平成5年)度築の鉄骨造建物であり、建築から28年が経過しています。当初は中学校体育館として使用していましたが、学校統合により転用しスポーツ施設(社会体育施設)として使用しています。 | |
| (安全性・機能性等の状況) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 外壁シールの劣化・部分破損、外装鉄部の発錆等が見られるものの、漏水等の不具合の発生報告はなく、おおむね経年相応の劣化状況です。 内装についてもおおむね経年相応の劣化状況であり、設備機器等についても特に難は見られません。バリアフリー対応の状況として、一部の対応となっています。 消防法における点検では指摘事項はありません。 施設の安全対策としてAEDを設置しており、屋内スポーツフロアについて、使用跡は目立つものの、不具合はありません。 上記を踏まえ安全性・機能性等の現況評価として、「安全性」、「機能性」、「安全対策」は「B」、「法令適合性」は「A」としました。 | |
| (維持管理・改修上の留意点) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 予防保全の観点から計画的に修繕を実施し、長期にわたり維持、運営することが望ましい状況です。スポーツフロアについては、日常の点検・清掃に加え、表面保護塗装(ウレタン等)が施工されている場合、定期的な再塗装等により、健全な状態の維持が期待できます。 機械で操作できずに故障している吊り下げ式のバスケットゴールについて、修繕予定が無い場合には、撤去することも検討することが望ましいです。 | |

③ 評価結果

| 項目 | 現況評価 | 状況 | 判定 |
|------------|----------|----|----|
| 安全性 機能性 | 安全性 | B | 良 |
| | 機能性 | B | |
| | 法令適合性 | A | |
| | 屋外スポーツ施設 | — | |
| | 安全対策 | B | |
| | その他 | — | |

●(旧)興津中学校柔剣道場

① 現況調査シート

| 項目 | 細目 | 状況 | 備考 |
|-------------|---|--|------------------------------|
| 安全性 | 竣工年からの経過年数 | 50年 | |
| | 躯体の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input checked="" type="checkbox"/> 劣 | 軒裏の露筋、外壁のひび割れ、 |
| | 屋根及び外壁等からの漏水の有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| | 屋根の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | 目視不可 |
| | 外装材の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input checked="" type="checkbox"/> 劣 | 塗装の剥離、窓シールの劣化・破損 |
| 機能性 | 室空間に関する問題(広さ、高さ等) | <input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| | 内装の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input checked="" type="checkbox"/> 劣 | 剥がれ等あり |
| | 室内環境の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input checked="" type="checkbox"/> 劣 | エアコン設置なし |
| | 附帯設備の整備状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 設備機器、配管等の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input checked="" type="checkbox"/> 劣 | 屋上雨水の排水縦樋傾き、火災報知器発錆(機能上問題なし) |
| | 設備の管理や運転等、運用上の問題 | <input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| | バリアフリー対応の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input checked="" type="checkbox"/> 劣 | |
| | 省エネ対策の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input checked="" type="checkbox"/> 劣 | |
| | 災害対策の状況(備蓄、防災設備等) | <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | 別棟(集会所)に災害備蓄あり |
| 法令への適合状況 | 特定建築物、建築設備等定期調査・検査の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | 定期調査・検査対象外 |
| | 消防用設備等点検の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| | 自家用電気工作物点検の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | 自家用電気工作物の設置なし |
| 屋外スポーツ施設の状況 | 舗装(地面)の健全度 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 附帯施設の健全度(フェンス等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 附帯設備の健全度(照明、散水、排水等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 熱中症対策の(施設等の)有無(屋根、ひさし、木陰等) | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| スポーツ施設の安全対策 | 屋内スポーツフロアの状況(床板割れ、床金物緩み等) | <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 特定天井対策の実施 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | 特定天井はない |
| | AED等の設置の有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 体育館にAED設置 |
| | 【参考】用具器具の安全対策の実施(ゴール等の落下・移動防止対策、強化・防振対策等) | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | 用具器具なし |
| | 【参考】安全管理の体制の状況(マニュアルの整備・周知、教育・訓練の実施等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input checked="" type="checkbox"/> 劣 | マニュアルの整備等は行っていない |
| コメント | | | |

●(旧)興津中学校柔剣道場

<現況写真(1/3)>

| | | | |
|---|----------|--|-------|
| 1 | 外壁：西側 | 2 | 外壁：南側 |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 3 | 外壁：北側、西側 | 4 | 外壁：北側 |
| 現況写真 | | 塗装剥離、汚れ | |
|  | |  | |
| 5 | 外壁：西側 | 6 | 軒裏 |
| ひび割れ | | 露筋 | |
|  | |  | |

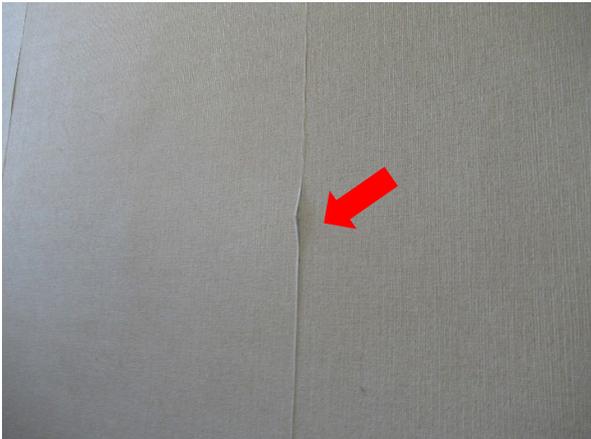
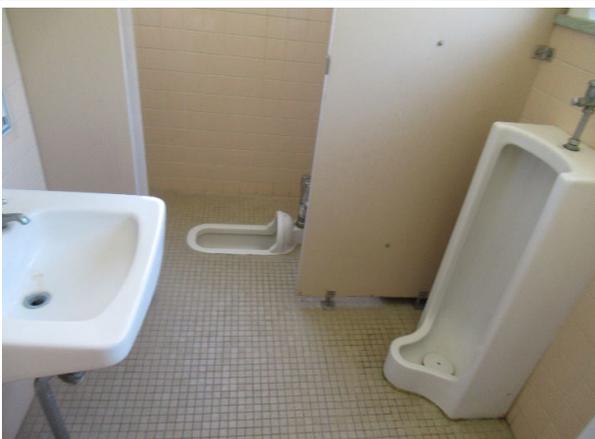
●(旧)興津中学校柔剣道場

<現況写真(2/3)>

| | | | |
|---|--------|--|--------|
| 7 | 窓：階段踊場 | 8 | 縦樋 |
| シール劣化・破損 | | 支持金物脱落、傾き(遠景) | |
|  | |  | |
| 9 | 縦樋 | 10 | 内部：出入口 |
| 支持金物脱落、傾き(近景) | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 11 | 内部：柔道場 | 12 | 内部：剣道場 |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |

●(旧)興津中学校柔剣道場

<現況写真(3/3)>

| | | | |
|---|---------|--|----------|
| 13 | 内部：階段 | 14 | 内部：階段床 |
| 現況写真 | | 浮き | |
|  | |  | |
| 15 | 内部：階段天井 | 16 | 内部：階段壁 |
| 剥がれ | | 剥がれ | |
|  | |  | |
| 17 | 内部：便所 | 18 | 設備：火災報知器 |
| 現況写真 | | 発錆 | |
|  | |  | |

●(旧)興津中学校柔剣道場

② 総評

| 現況及び留意点 | |
|---|--|
| (現状) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 1973年(昭和48年)度築の鉄筋コンクリート造建物であり、築48年が経過しています。当初は中学校柔剣道場として使用していましたが、学校統廃合により転用してスポーツ施設(社会体育施設)として使用しています。 | |
| (安全性・機能性等の状況) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 軒裏の露筋、外壁のひび割れ、外壁塗装の剥離、窓シールの劣化・破損が見られますが、漏水等の不具合の発生報告はありません。 内装についてはおおむね経年相応の劣化状況であります。屋上雨水の排水縦樋に傾きが見られます。バリアフリーについては非対応となっております。 消防法における点検では指摘事項はありません。 施設の安全対策としてAEDは設置していませんが(隣接する体育館内に設置)、屋内スポーツフロアに不具合はありません。 上記を踏まえ安全性・機能性等の現況評価として、「安全性」、「機能性」は「C」、「安全対策」は「B」、「法令適合性」は「A」としました。 | |
| (維持管理・改修上の留意点) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 機能維持に必要な範囲で修繕を実施することが望ましい状況です。 耐震基準への適合状況は不明であり、建物の中長期的な継続使用に際しては、耐震性・躯体の健全性等の詳細調査を行う必要があります。 | |

③ 評価結果

| 項目 | 現況評価 | 状況 | 判定 | |
|------------|----------|----|----|------------------------|
| 安全性 機能性 | 安全性 | C | 良 | |
| | 機能性 | C | | |
| | 法令適合性 | A | | |
| | 屋外スポーツ施設 | — | | |
| | 安全対策 | B | | 体育館にAED設置、スポーツフロアは概ね良好 |
| | その他 | — | | |

●(旧)興津中学校グラウンド

① 現況調査シート

| 項目 | 細目 | 状況 | 備考 |
|-------------|---|--|--------------------|
| 安全性 | 竣工年からの経過年数 | 年 | |
| | 躯体の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 屋根及び外壁等からの漏水の有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 屋根の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 外装材の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| 機能性 | 室空間に関する問題(広さ、高さ等) | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 内装の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 室内環境の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 附帯設備の整備状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 設備機器、配管等の劣化状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 設備の管理や運転等、運用上の問題 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | バリアフリー対応の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 省エネ対策の状況 | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| 法令への適合状況 | 特定建築物、建築設備等定期調査・検査の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 消防用設備等点検の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 自家用電気工作物点検の是正有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| 屋外スポーツ施設の状況 | 舗装(地面)の健全度 | <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 附帯施設の健全度(フェンス等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input checked="" type="checkbox"/> 劣 | フェンスの劣化(フェンス網の破損等) |
| | 附帯設備の健全度(照明、散水、排水等) | <input checked="" type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | 散水栓あり |
| | 熱中症対策の(施設等の)有無(屋根、ひさし、木陰等) | <input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| スポーツ施設の安全対策 | 屋内スポーツフロアの状況(床板割れ、床金物緩み等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| | 特定天井対策の実施 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | AED等の設置の有無 | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 【参考】用具器具の安全対策の実施 (ゴール等の落下・移動防止対策、強化・防振対策等) | <input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無 | |
| | 【参考】安全管理の体制の状況 (マニュアルの整備・周知、教育・訓練の実施等) | <input type="checkbox"/> 良 / <input type="checkbox"/> 劣 | |
| コメント | | | |

●(旧)興津中学校グラウンド

<現況写真>

| | | | |
|---|-------|--|--------|
| 1 | グラウンド | 2 | バックネット |
| 現況写真 | | 現況写真 | |
|  | |  | |
| 3 | フェンス | 4 | フェンス：網 |
| 現況写真 | | 破損 | |
|  | |  | |
| 5 | 散水栓 | 6 | ベンチ：座面 |
| 現況写真 | | 一部欠損 | |
|  | |  | |

●(旧)興津中学校グラウンド

② 総評

| 現況及び留意点 | |
|---|--|
| (現状) | |
| <ul style="list-style-type: none"> 興津中学校の閉校以降、興津中学校体育館・柔剣道場と同様に転用しスポーツ施設(社会教育施設)として使用しています。 表面(地面)は土であり、バックネット、散水栓等の附帯施設を有しています。 | |
| (屋外スポーツ施設の状況) | |
| <ul style="list-style-type: none"> グラウンドについては、適宜整備を実施しておりおおむね良好な状態です。 一塁側フェンスに一部破損があるほか、全般的に経年劣化が見られます。 上記を踏まえ屋外スポーツ施設の状況の評価は「B」としました。 | |
| (維持管理・改修上の留意点) | |
| <ul style="list-style-type: none"> フェンスについては網の張替え(または破損部分の重ね張り)、または支柱を含めた全面的な更新を検討する等、機能維持に必要な範囲で整備・修繕を実施することが望ましい状況です。 | |

③ 評価結果

| 項目 | | 現況評価 | 状況 | 判定 |
|------------|----------|------|------------------|----|
| 安全性 機能性 | 安全性 | — | | 良 |
| | 機能性 | — | | |
| | 法令適合性 | — | | |
| | 屋外スポーツ施設 | B | フェンスの経年劣化(網の破損等) | |
| | 安全対策 | — | | |
| | その他 | — | | |

第3節 経済性の評価

(1) 経済性の評価の意義

施設の経済性は、施設が存続する限りにおいて見込まれるコスト（維持管理費用のほか、大規模修繕費用等の更新費用）を中心に、収入の状況も勘案しつつ、財政的な観点から効率的な維持更新が期待できるかどうかについて検証するものです。

経済性の評価は、1次評価の流れ（P16・図9）においては「施設の安全性・機能性」が「劣」の施設のみが評価対象となります。ただし、2次評価において施設の基本方針を検討する際にも経済性の評価結果を勘案します。

本計画では、対象施設の経済性について、以下の調査を実施しました。

表9 経済性の調査項目

| 項目 | 細目 |
|---------------------|---|
| 改善コスト (更新費用) | <ul style="list-style-type: none"> 更新費用の推計条件の下で、令和13年(2031年)までの10年間に想定される更新内容(中規模改修、大規模改修、長寿命化改修、建替え) 上記の更新条件(更新単価等) <p>以上をもとに、現況調査の結果も踏まえて、今後10年間の更新費用の金額や支出の節約の可能性を施設ごとに比較</p> |
| 維持管理コスト (維持管理費用) | <ul style="list-style-type: none"> 過去3年度分(平成30年度、令和元年度、令和2年度)の維持管理費用(修繕費、光熱水費、建物管理委託費、その他経費等)の支出状況 上記年度内の利用者数(利用者1人あたり費用) <p>以上をもとに、3カ年平均の維持管理コスト及び利用者数を算出し、利用者1人あたりコストを施設ごとに比較</p> |
| 収入(使用料) | <ul style="list-style-type: none"> 過去3年度分(平成30年度、令和元年度、令和2年度)の使用料収入 <p>以上をもとに、3カ年平均の収入を算出し、維持管理コストに対する収入の比率(コストを収入で賄えている程度)を施設ごとに比較</p> |

(2) 経済性の評価基準

本計画では、次の評価基準を設定し、経済性の項目ごとにA・B・C・Dの4段階の評価・採点を行い（評価基準その1）、それらの評価・採点を集計して総合判定として「良」又は「劣」の評価をしました（評価基準その2）。

表 10 経済性の評価基準その1

| 指標 | 評価基準 | | |
|----------|-----------------------|-------------------------|----------------------|
| | 改善コスト ※今後10年間の更新費用 | 維持管理コスト ※利用者1人あたりコスト | 収入 ※収入÷維持管理コスト |
| A | コストが非常に低い | コストが非常に低い | 維持管理コストに占める収入額が非常に高い |
| B | コストがやや低い | コストがやや低い | 維持管理コストに占める収入額がやや高い |
| C | コストがやや高い | コストがやや高い | 維持管理コストに占める収入額がやや低い |
| D | コストが非常に高い | コストが非常に高い | 維持管理コストに占める収入額が非常に低い |

注：Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点として採点し、次の表 11 の計算式にあてはめました。

表 11 経済性の評価基準その2

| 評価基準（計算式） | 評価 |
|---|------------|
| 加重平均計算にて、改善コスト（点）×0.5+維持管理コスト（点）×0.4+収入（点）×0.1の点数（四捨五入）が3点～4点 | ➡ 良 |
| 加重平均計算にて、改善コスト（点）×0.5+維持管理コスト（点）×0.4+収入（点）×0.1の点数（四捨五入）が1点～2点 | ➡ 劣 |

注：改善コスト、維持管理コスト及び収入の各得点に乗じる比率は、それぞれの重要性（金額など）を踏まえて査定しています。

(3) 経済性の現況及び評価

① 改善コストの試算

試算条件をもとに、計画期間内及びその5年後以内程度において想定される大規模改修等の更新費用を施設ごとに推計しました（注1）。

なお、改善コストの評価については、金額の相対比較のみではなく、施設の現況調査を踏まえた老朽化の進行状況も勘案し、改善コストの推計額を節約できる可能性が高い（老朽化の進行が顕著ではない）と考えられる場合には、評価結果を補正しています（注2）。

注1：試算条件の詳細な説明は P91 参照

注2：例えば、推計額の単純比較では評価が「C（コストがやや高い）」となる場合でも、現況調査に基づく老朽化の程度が顕著ではなく、推計額を節約できる可能性が高いと判断される場合には、評価を「B（コストがやや低い）」に補正しています。

② 維持管理コスト及び収入（公共施設調査票の結果※）の状況

維持管理コスト及び収入を計上している施設グループごとに整理しました。

※本計画の策定にあたり、生涯学習課が実施した対象施設の現況調査の結果です。

表 12 維持管理コスト及び収入等（H30～R2）

| 施設グループ （コスト・収入の計上単位） | 維持管理コスト ＜3カ年平均＞ | 収入 ＜3カ年平均＞ |
|--|--------------------|---------------|
| 荒川テニスコート関連 研修室・テニスコート （年間平均利用者数 約 7,600 人） | 約 5,079 千円 | 約 1,843 千円 |
| (旧)北中学校関連 体育館・グラウンド （年間平均利用者数 約 7,800 人） | 約 3,000 千円 | 約 278 千円 |
| (旧)興津中学校関連 体育館・柔剣道場・グラウンド （年間平均利用者数 約 7,900 人） | 約 3,499 千円 | 約 128 千円 |

③ 経済性の現況及び評価結果

施設ごとに経済性を評価した結果は以下のとおりとなりました。

表 13 経済性の現況と評価結果

| 施設名 | 改善コスト（推計） | | | | | 維持管理コスト | | 収入 | | 総合 | |
|---------------|-----------|------|--------|-------|------|---------|------|-------|------|------|----|
| | 対策内容 | 対策年度 | 千円 | 節約可能性 | 指標得点 | 円/人 | 指標得点 | % | 指標得点 | 得点集計 | 評価 |
| 荒川テニスコート研修室 | 中規模改修 | 2025 | 3,000 | 高い | A(4) | 666 | B(3) | 36.3% | B(3) | 4 | 良 |
| 荒川テニスコート | 中規模改修 | 未定 | — | 低い | B(3) | | B(3) | | B(3) | 3 | 良 |
| (旧)北中学校体育館 | 長寿命化改修 | 2031 | 79,300 | 低い | C(2) | 382 | B(3) | 9.3% | C(2) | 2 | 劣 |
| (旧)北中学校グラウンド | 通常の維持管理 | — | — | 高い | A(4) | | B(3) | | C(2) | 3 | 良 |
| (旧)興津中学校体育館 | 大規模改修 | 2023 | 81,100 | 高い | B(3) | 444 | B(3) | 3.7% | D(1) | 3 | 良 |
| (旧)興津中学校柔剣道場 | 長寿命化改修 | 2035 | 30,300 | 低い | C(2) | | B(3) | | D(1) | 2 | 劣 |
| (旧)興津中学校グラウンド | 通常の維持管理 | — | — | 高い | A(4) | | B(3) | | D(1) | 3 | 良 |

注：表 13 における「改善コスト（推計）」の内容（対策内容、対策年度、金額など）は、施設評価を行う上での前提として推計したもので（試算条件 P91 参照）、施設評価結果を総合的に検討した結果としての対策内容（P84～P88）とは必ずしも一致するものではありません。

【評価結果の補足】

| 施設名 | 補足 |
|---------------|--|
| 荒川テニスコート研修室 | 維持管理状態の良い小規模な建物であり、改善コストが低いために経済性に優れています。 |
| 荒川テニスコート | 維持管理状態の良いテニスコートですが、コートや照明設備等の工作物も多く、多額の改善コストが生じる可能性に注意が必要です。維持管理コストはやや高めですが、使用料収入で一定程度の維持管理コストを負担できています。 |
| (旧)北中学校体育館 | 維持管理状態はおおむね良好ですが、躯体の経過年数を勘案すると、長期的な使用のためには大規模な改善コスト（長寿命化改修費用）が見込まれます。 |
| (旧)北中学校グラウンド | 令和3年度にグラウンドの補修工事を実施したことにより、通常の維持管理にて当面の使用が可能な見込みです。 |
| (旧)興津中学校体育館 | 大規模改修が必要な時期に差し掛かっていますが、維持管理状態は比較的良好で、改善コストの節約が見込まれます。 |
| (旧)興津中学校柔剣道場 | 躯体の経過年数を勘案すると、長期的な使用のためには大規模な改善コスト（長寿命化改修費用）が見込まれます。 |
| (旧)興津中学校グラウンド | 維持管理状態の良いグラウンドであり、通常の維持管理にて当面の使用が可能な見込みです。 |

第4節 耐震性の評価

(1) 耐震性の評価の意義

施設の耐震性は、建築物の施設について、耐震基準、耐震診断及び耐震改修の有無等を踏まえて、耐震性を検証するものです。

耐震性の評価については、1次評価における施設の方向性が「維持」又は「改善」の施設に対し、耐震改修の要否を検討することとしています（P16・図9参照）。

本計画では、対象施設について以下の調査を実施しました。

表 14 耐震性の調査項目

| 項目 | 細目 |
|----------|---|
| 適合する耐震基準 | <ul style="list-style-type: none"> 1981年（昭和56年）以前の耐震基準（旧耐震基準）であるか 同年より後の耐震基準（新耐震基準）であるか |
| 耐震診断 | <ul style="list-style-type: none"> 旧耐震基準の建物である場合、耐震診断の実施の有無 耐震診断の結果から耐震改修（補強）の必要性の有無 |
| 耐震改修 | <ul style="list-style-type: none"> 耐震改修工事の実施の有無 |

(2) 耐震性の評価基準

本計画では、次の評価フローにて耐震性の評価をしました。

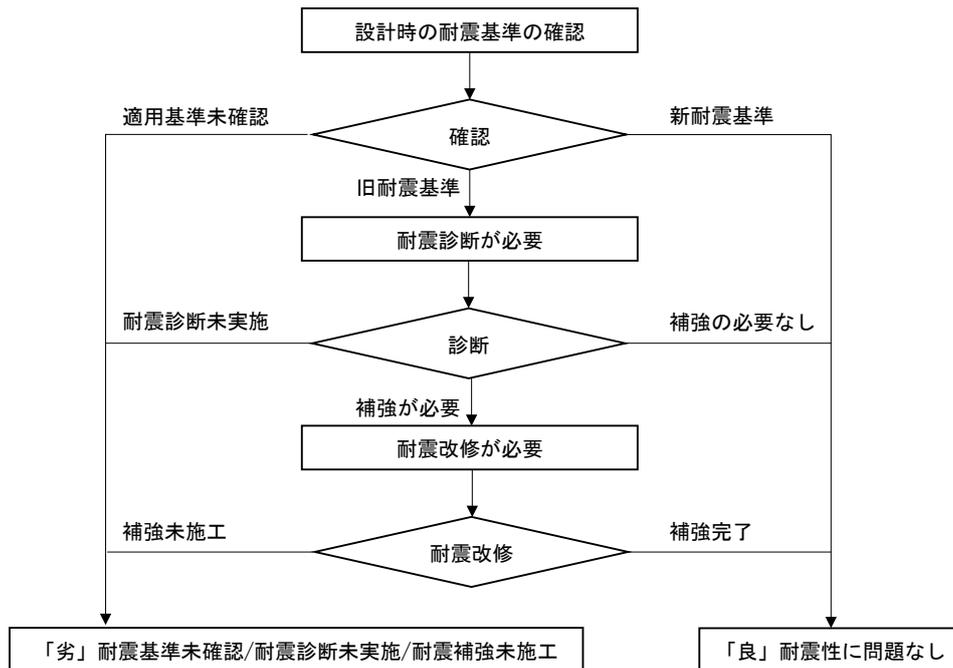


図 10 耐震性の評価のフローチャート

(3) 耐震性の現況及び評価結果

施設ごとに耐震性を評価した結果は以下のとおりとなりました。

表 15 耐震性の現況及び評価結果

| 施設名 | 耐震基準 | 耐震診断 | 耐震改修 | 評価 |
|--------------|------|------|------|------------------------------|
| 荒川テニスコート研修室 | 新耐震 | — | — | 良 耐震性に問題なし |
| (旧)北中学校体育館 | 旧耐震 | 診断済 | 補強完了 | 良 耐震性に問題なし |
| (旧)興津中学校体育館 | 新耐震 | — | — | 良 耐震性に問題なし |
| (旧)興津中学校柔剣道場 | 旧耐震 | 未診断 | — | 劣 耐震診断未実施 (未診断) |

第5節 1次評価の結果（施設の方向性及び整備手法）

（1） 1次評価の結果

安全性・機能性、経済性（※）及び耐震性の各評価結果と施設の方向性及び整備手法の検討結果は以下のとおりです。

（※）経済性の評価結果は、安全性・機能性の評価が「劣」となった施設を対象として評価します。

表 16 1次評価の結果

| 施設名 | 安全性 機能性 | 経済性 | 耐震性 | 施設の方向性 | 施設の整備手法 |
|-------------------|------------|-----|-----|--------|-----------------------------|
| 荒川テニスコート 研修室 | 良 | 良 | 良 | 維持 | 長寿命化 |
| 荒川テニスコート | 良 | 良 | — | 維持 | 長寿命化 |
| (旧)北中学校 体育館 | 良 | 劣 | 良 | 維持 | 長寿命化 |
| (旧)北中学校 グラウンド | 良 | 良 | — | 維持 | 長寿命化 |
| (旧)興津中学校 体育館 | 良 | 良 | 良 | 維持 | 長寿命化 |
| (旧)興津中学校 柔剣道場 | 良 | 劣 | 劣 | 維持 | 耐震診断の上、 長寿命化（耐震 改修含む） |
| (旧)興津中学校 グラウンド | 良 | 良 | — | 維持 | 長寿命化 |

第5章 対象施設の政策優先度及び基本方針の検討〈2次評価〉

第1節 2次評価（環境評価）の意義

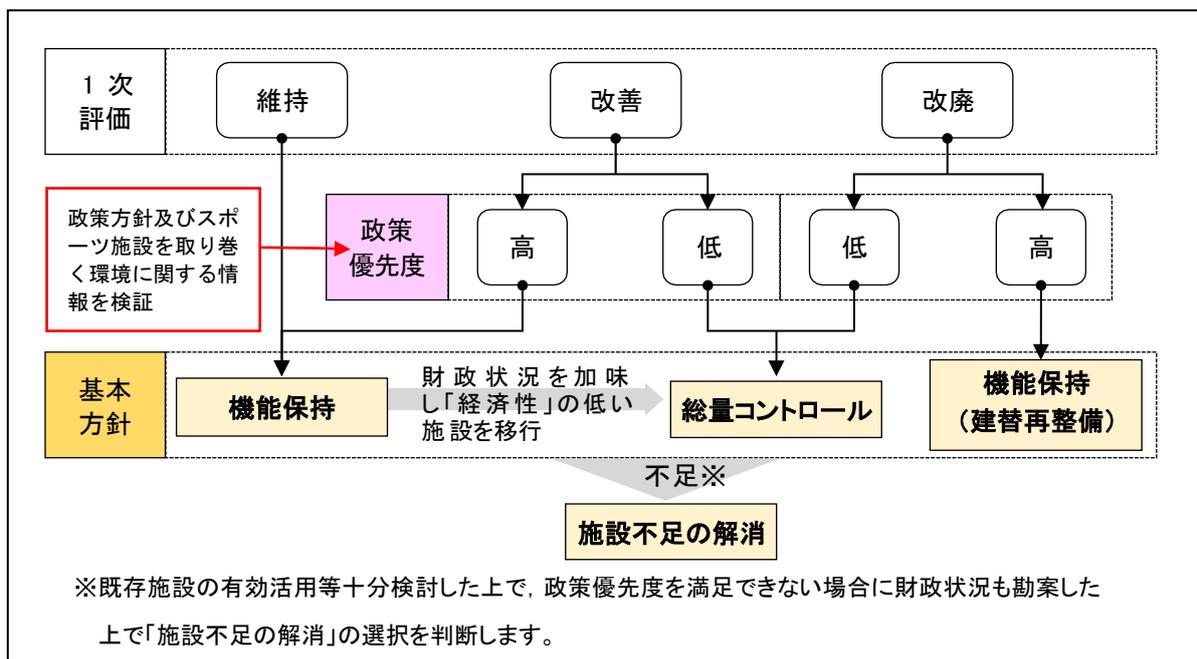
2次評価においては、スポーツ施設の総量・機能・配置に関する政策方針を検討するとともに、スポーツ施設を取り巻く環境（利用状況、ニーズ、利用圏域等）に関する情報を収集・整理し、対象施設の政策優先度を評価し、基本方針を整理します。

2次評価では、下記図 11 のとおり、1次評価において「改善」、「改廃」となった施設に対し、政策優先度に応じた「基本方針」を整理します。

表 17 基本方針の概要

| 基本方針 | 概要 |
|----------------------|--|
| (スポーツ施設としての) 機能保持 | 現在の施設の機能を保持する。老朽化やそれに伴う維持管理費用の増加に対応できるよう、計画的な対応方針を施設ごとに検討する。老朽化が激しいものについては建替再整備の時期や方法について検討する。 |
| 総量コントロール | 将来的に維持管理し続けることができない施設について、廃止や転用の時期、方法について検討する。 |
| 施設不足の解消 | スポーツ施設が不足している状態である場合、利用可能なスポーツ施設を増やすことを目指す。 |

図 11 スポーツ施設の政策優先度及び基本方針の検討（2次評価）のフロー



第2節 スポーツ施設の総量・機能・配置に関する政策方針

第3章において整理した総合計画や総合管理計画の方針を踏まえ、本市においてスポーツ施設の総量・機能・配置に関する政策方針を以下のとおりとします。

■スポーツ施設の総量・機能・配置に関する政策方針

総量の方針 本市のスポーツ施設は既存施設の有効活用の視点を重視します

総合管理計画において検討したとおり、本市では公共施設全体の更新費用の縮減や施設総量の縮減が最優先の課題となっています。

そこで、本市のスポーツ施設は、閉校となった学校の体育館等のうち、多額の更新費用を要せずに再利用が可能な施設を中心にスポーツ施設として有効活用を図ります。

機能の方針 本市のスポーツ施設は地域コミュニティとの連携を重視します

スポーツ施設には、スポーツ振興、大規模大会の開催を通じた交流人口の増加、市の知名度アップ、健康づくり、市民交流、防災など、様々な機能があります。

本市では、近隣自治体や民間団体における大規模スポーツ施設との機能の重複による過剰投資を抑制する観点や、閉校した学校等の既存施設の活用を促進する観点から、市民生活に不可欠の機能である健康づくり、市民交流、防災などの地域コミュニティと連携する機能を重視して整備及び運営を行います。

配置の方針 本市のスポーツ施設の配置は地域間のバランスを重視します

本市におけるスポーツ活動は、総量及び機能の方針を踏まえて、本計画の対象施設のみならず、学校の一般開放や集会所のスペースも含めて、地域密着型の施設を中心に展開していくことが望ましいと考えられます。

そこで、本市のスポーツ施設の配置の検討にあたっては、地域間での既存の施設配置のバランスや防災上の位置付けを重視します。

第3節 対象施設の環境に関する情報の収集・整理

(1) 収集・整理する項目

対象施設を取り巻く環境を明らかにするために、下表の情報を収集・整理しました。

表 18 スポーツ施設の環境に関する情報

| 項目 | 細目 | 主な調査資料 |
|--------------|---|---|
| 競技種別 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域におけるスポーツの実施状況 ◆ スポーツ施設の特異性や希少性 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 利用団体アンケート（※1） ◆ 行政資料 |
| 整備目的 基準適合 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 施設の整備目的 ◆ 施設で開催可能な大会等（地方大会、中高生の大会等） | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 整備時の検討資料 |
| 利用状況 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 利用人数、利用件数、稼働率 ◆ 利用頻度、利用時間帯 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設調査票（※2） （過去3カ年分） ◆ 利用団体アンケート |
| ニーズ | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民のニーズ ◆ 利用者・利用団体等のニーズ ◆ 障がい者のニーズ | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民アンケート（※3） ◆ 利用団体アンケート ◆ 障がい者施設ヒアリング |
| 利用圏域 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ スポーツ施設の利用圏域の状況 （近隣市町を含む） | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 利用団体アンケート ◆ 障がい者施設ヒアリング （※4） |
| 施設分布 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ スポーツ施設の競技種別の分布 （近隣市町を含む） | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地図資料 |
| 防災 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域防災計画上の位置付け（避難所、避難場所、防災拠点等の指定） | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 勝浦市地域防災計画 |

（※1）本計画の策定にあたり、本市の公共施設をスポーツ活動として利用する団体（利用団体）の協力を得て、対象施設を含むスポーツ施設に関するアンケート調査を実施した結果です（令和3年9月～10月にアンケート実施）。

（※2）本計画の策定にあたり、生涯学習課が実施した対象施設の現況調査の結果です。

（※3）本市による「市民まちづくりアンケート」の回答結果です（令和3年6月実施）。

（※4）本計画の策定にあたり、市内の障がい者向け施設の協力を得て、スポーツ活動等に関するヒアリング調査を実施した結果です（令和3年9月にヒアリング実施）。

(2) 収集・整理した情報の概要

① 競技種別

利用団体アンケート（回答数 37 団体）に基づいて、スポーツの実施状況に関する傾向を整理しました。

競技別にみると、硬式テニス、バスケットボール及びバレーボールについては、3 以上の団体がスポーツ関連施設を使用しています。

硬式テニスは荒川テニスコートに利用が集中していますが、バレーボールの場合には市内の5箇所の体育館に利用が分散しています。

表 19 競技別・施設一覧（利用団体アンケート）

| 団体ID | 競技(五十音順) | 主な活動場所① | 主な活動場所② |
|------|-------------|------------------------|------------------------|
| 1 | キンボール | 国際武道大学第5体育館4階体育場 | (旧)勝浦市北中学校体育館 |
| 2 | 健康体操 | 総野小学校体育館 | 総野集会所 |
| 3 | 剣道 | (旧)興津中学校体育館 | |
| 4 | 硬式テニス | 荒川テニスコート | |
| 5 | 硬式テニス | 荒川テニスコート | |
| 6 | 硬式テニス | 荒川テニスコート | |
| 7 | 硬式テニス | 荒川テニスコート | |
| 8 | 硬式テニス | 荒川テニスコート | |
| 9 | 硬式テニス | 荒川テニスコート | |
| 10 | サッカー及びフットサル | (旧)北中学校グラウンド | (旧)興津中学校体育館 |
| 11 | シッティングバレー | 千葉県障害者スポーツレクリエーションセンター | 千葉総合スポーツセンタースポーツ科学センター |
| 12 | 少年野球 | (旧)興津中学校グラウンド | (旧)北中学校グラウンド |
| 13 | 少林寺拳法 | 勝浦中学校柔剣道場 | |
| 14 | ソフトテニス | 荒川テニスコート | |
| 15 | ソフトボール | 豊浜小学校グラウンド | 勝浦小学校グラウンド |
| 16 | 太極拳 | (旧)興津中学校体育館 | (旧)北中学校体育館 |
| 17 | 太極拳 | 興津小学校体育館 | |
| 18 | タグラグビー | 上野小学校体育館 | (旧)興津中学校体育館 |
| 19 | 卓球 | (旧)北中学校体育館 | |
| 20 | 徒手武術 | 上野小学校体育館 | |
| 21 | なぎなた | 武道館研修センター | (旧)興津中学校剣道場 |
| 22 | バスケットボール | 勝浦中学校体育館 | |
| 23 | バスケットボール | 勝浦中学校体育館 | |
| 24 | バスケットボール | 国際武道大学第1体育館 | 勝浦中学校体育館 |
| 25 | バドミントン | (旧)興津中学校体育館 | |
| 26 | バドミントン | 勝浦中学校体育館 | |
| 27 | バレーボール | (旧)郁文小学校体育館 | |
| 28 | バレーボール | (旧)北中学校体育館 | |
| 29 | バレーボール | (旧)北中学校体育館 | (旧)郁文小学校体育館 |
| 30 | バレーボール | 勝浦小学校体育館 | |
| 31 | バレーボール | 勝浦小学校体育館 | 勝浦中学校体育館 |
| 32 | バレーボール | 総野小学校体育館 | |
| 33 | バレーボール | 豊浜小学校体育館 | |
| 34 | ミニバスケットボール | 総野小学校体育館 | 上野小学校体育館 |
| 35 | 野球 | 鴨川市総合運動施設文化体育館 | 総野小学校体育館 |
| 36 | よさこいソーラン踊り | (旧)北中学校体育館 | 勝浦市芸術文化交流センター大会議室 |
| 37 | リズム体操 | (旧)郁文小学校体育館 | 勝浦市社会福祉協議会 |

主な活動施設（主な活動場所）別にみると、(旧)興津中学校体育館は、剣道、太極拳、バドミントンといった具合に多様な競技に使用されています。

また、対象施設以外では、標準的には1箇所あたり1～2団体が利用していますが、勝浦中学校体育館や総野小学校体育館は3団体に利用されています。

さらに、活動場所として、勝浦社会福祉協議会、勝浦市芸術文化交流センター、総野集会所といった施設も見られるほか、鴨川市総合運動施設文化体育館、国際武道大学の体育館、武道館研修センターを主な活動場所として回答する例も見られます。

表 20 主な活動施設別・競技一覧（利用団体アンケート）

| 団体ID | 主な活動場所① | 主な活動場所② | 競技 |
|------|------------------------|------------------------|-------------|
| 37 | (旧)郁文小学校体育館 | 勝浦市社会福祉協議会 | リズム体操 |
| 28 | (旧)郁文小学校体育館 | | バレーボール |
| 12 | (旧)興津中学校グラウンド | (旧)北中学校グラウンド | 少年野球 |
| 3 | (旧)興津中学校体育館 | | 剣道 |
| 17 | (旧)興津中学校体育館 | (旧)北中学校体育館 | 太極拳 |
| 25 | (旧)興津中学校体育館 | | バドミントン |
| 10 | (旧)北中学校グラウンド | (旧)興津中学校体育館 | サッカー及びフットサル |
| 19 | (旧)北中学校体育館 | | 卓球 |
| 30 | (旧)北中学校体育館 | | バレーボール |
| 33 | (旧)北中学校体育館 | (旧)郁文小学校体育館 | バレーボール |
| 36 | (旧)北中学校体育館 | 勝浦市芸術文化交流センター大会議室 | よさこいソーラン踊り |
| 4 | 荒川テニスコート | | 硬式テニス |
| 5 | 荒川テニスコート | | 硬式テニス |
| 6 | 荒川テニスコート | | 硬式テニス |
| 7 | 荒川テニスコート | | 硬式テニス |
| 8 | 荒川テニスコート | | 硬式テニス |
| 9 | 荒川テニスコート | | 硬式テニス |
| 14 | 荒川テニスコート | | ソフトテニス |
| 18 | 上野小学校体育館 | (旧)興津中学校体育館 | ラグビー |
| 20 | 上野小学校体育館 | | 徒手武術 |
| 16 | 興津小学校体育館 | | 太極拳 |
| 27 | 勝浦小学校体育館 | | バレーボール |
| 31 | 勝浦小学校体育館 | 勝浦中学校体育館 | バレーボール |
| 13 | 勝浦中学校柔剣道場 | | 少林寺拳法 |
| 22 | 勝浦中学校体育館 | | バスケットボール |
| 26 | 勝浦中学校体育館 | | バドミントン |
| 23 | 勝浦中学校体育館 | | バスケットボール |
| 35 | 鴨川市総合運動施設文化体育館 | 総野小学校体育館 | 野球 |
| 24 | 国際武道大学第1体育館 | 勝浦中学校体育館 | バスケットボール |
| 1 | 国際武道大学第5体育館4階体育場 | (旧)勝浦市北中学校体育館 | キンボール |
| 2 | 総野小学校体育館 | 総野集会所 | 健康体操 |
| 32 | 総野小学校体育館 | | バレーボール |
| 34 | 総野小学校体育館 | 上野小学校体育館 | ミニバスケットボール |
| 11 | 千葉県障害者スポーツレクリエーションセンター | 千葉総合スポーツセンタースポーツ科学センター | シッティングバレー |
| 15 | 豊浜小学校グラウンド | 勝浦小学校グラウンド | ソフトボール |
| 29 | 豊浜小学校体育館 | | バレーボール |
| 21 | 武道館研修センター | (旧)興津中学校柔剣道場 | なぎなた |

② 整備目的・基準適合

対象施設の中では、荒川テニスコートが勝浦市営第二庭球場移設事業として整備された以外は、閉校した学校を転用してスポーツ活動の場所として利用しています。

荒川テニスコートについては4面のコートが整備されていることから、市内大会及び勝浦市スポーツ協会に所属している団体の競技等に使用されています。

③ 利用状況

本計画の策定にあたり、平成30年度・令和元年度・令和2年度の利用データを収集し、3カ年平均の年間利用人数・年間利用件数・稼働率を集計しました。

年間利用人数は、荒川テニスコートが最も多く、(旧)興津中学校柔剣道場が最も少なくなっています。体育館では、(旧)興津中学校体育館の年間利用人数及び年間利用件数は、(旧)北中学校体育館の約1.5倍となっています。一方、グラウンド系の施設では、(旧)興津中学校グラウンドの年間利用人数及び年間利用件数は、(旧)北中学校グラウンドの半分以下です。

稼働率は、荒川テニスコート研修室及び(旧)興津中学校柔剣道場が約0.6%で非常に低いですが、荒川テニスコート研修室は荒川テニスコートに付帯する利用もあるため、実質的には荒川テニスコートと同程度の稼働率と推定されます。体育館・グラウンドの稼働率は利用する曜日や時間帯に偏りがあるため低水準です。

表 21 対象施設の利用実績（H30～R2 までの3カ年平均・公共施設調査票）

| 施設名 | 市民以外の利用可否 | 市外利用者の使用料割増有無 | 開館時間 (利用可能時間) | 年間利用人数 | 年間利用件数 | 稼働率 (%) |
|---------------|-----------|---------------|------------------|--------|--------|------------|
| 荒川テニスコート研修室 | 可 | 有 | 8時30分～21時 | 225 | 28 | 0.6% |
| 荒川テニスコート | 可 | 有 | 8時30分～21時 | 7,407 | 1,119 | 26.0% |
| (旧)北中学校体育館 | 可 | 無 | 8時30分～22時 | 4,229 | 165 | 3.3% |
| (旧)北中学校グラウンド | 可 | 無 | 8時30分～日没迄 | 3,619 | 98 | 2.7% |
| (旧)興津中学校体育館 | 可 | 無 | 8時30分～21時 | 6,405 | 248 | 5.8% |
| (旧)興津中学校柔剣道場 | 可 | 無 | 8時30分～21時 | 110 | 27 | 0.6% |
| (旧)興津中学校グラウンド | 可 | 無 | 8時30分～日没迄 | 1,358 | 42 | 1.2% |

(注1) 各施設ともに、令和元年度及び令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策による施設休館や活動自粛等の影響により、例年よりも利用人数・件数が少ない傾向にあります。

(注2) 稼働率は年間利用件数（実績値）を年間利用可能総コマ数で除して計算しています。

利用団体アンケートによると、主な活動場所では、標準的な使用頻度は「月に数回」と「週に数回」が多い状況です。さらに、主な利用時間帯（複数選択可）では、平日の夜間が最も多く、荒川テニスコートでは平日の午前中の利用も多い状況です。土日祝日の利用は午前中・午後・夜間に利用が比較的分散している状況です。

表 22 対象施設等の主な利用状況（利用団体アンケート）

| 主な活動場所 | 競技種別 | 標準的な使用頻度 | | | | | 主な使用時間帯 | | | | | | |
|------------------------|-------------|----------|------|------|--------|-----|---------|-------|-------|---------|--------|--------|-----|
| | | 年に数回 | 月に数回 | 週に数回 | (ほぼ)毎日 | その他 | 平日の午前中 | 平日の午後 | 平日の夜間 | 土日祝の午前中 | 土日祝の午後 | 土日祝の夜間 | その他 |
| (旧)郁文小学校校体育館 | バレーボール | | ● | | | | | | ● | | | | |
| | リズム体操 | | ● | | | | | ● | | | | | |
| (旧)興津中学校グラウンド | 少年野球 | | ● | | | | | | ● | ● | | | |
| (旧)興津中学校校体育館 | バドミントン | | | ● | | | | | ● | | | ● | |
| | 太極拳 | | ● | | | | | | ● | | | | |
| (旧)北中学校グラウンド | 剣道 | | | ● | | | | | ● | | ● | | |
| | サッカー及びフットサル | | | ● | | | | | ● | | | | |
| (旧)北中学校校体育館 | 卓球 | | ● | | | | | | ● | | | | |
| | よさこいソーラン踊り | ● | | | | | | | ● | | | | |
| | バレーボール | | ● | | | | | | ● | | | | |
| 荒川テニスコート | バレーボール | | ● | | | | | | ● | | | | |
| | ソフトテニス | | ● | | | | | | ● | | | | |
| | 硬式テニス | | | ● | | | | ● | | | | | |
| | 硬式テニス | | | ● | | | | ● | | | | | |
| | 硬式テニス | | | ● | ● | | | ● | ● | | | | |
| | 硬式テニス | | | ● | | | | ● | | | | | |
| 上野小学校校体育館 | 徒手武術 | | ● | | | | | | ● | | | | |
| | タグラグビー | | | ● | | | | | ● | | | | |
| 興津小学校校体育館 | 太極拳 | | ● | | | | | | ● | | | | |
| 勝浦小学校校体育館 | バレーボール | | | ● | | | | | ● | | | ● | |
| | バレーボール | | ● | | | | | | ● | | | | |
| 勝浦中学校柔剣道場 | 少林寺拳法 | | | ● | | | | | ● | | | | |
| 勝浦中学校校体育館 | バスケットボール | | ● | | | | | | ● | | | | |
| | バドミントン | | | ● | | | | | | ● | ● | | |
| | バスケットボール | | | ● | | | | | ● | | | | |
| 鴨川市総合運動施設文化体育館 | 野球 | | ● | | | | | | ● | | | | |
| 国際武道大学第1体育館 | バスケットボール | | | ● | | | | | | | | | |
| 国際武道大学第5体育館4階体育場 | キンボール | | | | ● | | | | ● | | | ● | |
| 総野小学校校体育館 | 健康体操 | | | | | ● | | | ● | | | | |
| | バレーボール | | ● | | | | | | ● | | | | |
| | ミニバスケットボール | | | ● | | | | | ● | | | | |
| 千葉県障害者スポーツレクリエーションセンター | シッティングバレー | | ● | | | | | | | | ● | | |
| 豊浜小学校グラウンド | ソフトボール | | | ● | | | | | | ● | ● | | |
| 豊浜小学校校体育館 | バレーボール | | | ● | | | | | ● | | | ● | |
| 武道館研修センター | なぎなた | | | ● | | | | | ● | | | | |

(注) アンケートでは主な活動場所は最大2箇所を尋ねていますが、回答結果では2箇所の回答結果はおおむね同傾向であったため、上記表では1つ目の回答結果のみで整理・掲載しています。2つめの回答施設を含む詳細な回答結果については、P69(表26)も参照ください。

④ ニーズ

ア 市民全般のニーズ

本市が令和3年6月に市民を対象に実施した「市民まちづくりアンケート」によると、25種類の施策のうち、「生涯スポーツの推進」については、満足度は施策全体の平均値をやや上回るものの、施策の重要度は平均値を大きく下回りました。このことから、市民の意識の傾向としては、「生涯スポーツの推進」に関する施策の方向性としては「現状維持」程度であると推測されます。

イ 施設利用者・利用団体等のニーズ

(ア) 主な活動場所を選んだ理由

利用団体向けアンケートにおいて主な活動場所を選んだ理由を尋ねたところ（複数回答可・無回答含む全62件の回答）、「メンバーが集まりやすい」ことを理由とする回答が最も多くなり、スポーツ施設が地域密着型の施設として認識されている傾向がうかがえました。特に勝浦地区内の勝浦小学校・勝浦中学校・豊浜小学校において、「メンバーが集まりやすい」ことを理由とする傾向が目立ちました。また、「設備・広さ等の施設の充実度」、「希望日時に合う（予約が取りやすい）」の理由も多く見られました。

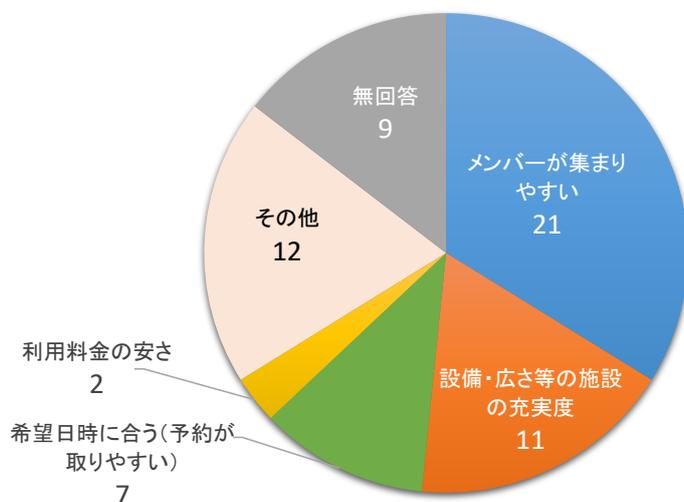


図 12 施設を利用している理由（利用団体アンケート）

(イ) 運営に関する改善点

利用団体向けアンケートにおいて主な活動場所の「運営に関する改善点」を尋ねたところ、改善点の傾向としては、「利用料金(料金が低い、不公平など)」が最も多く、次に「利用できる曜日・時間帯」の回答が多くなりました。

表 23 運営に関する改善点（利用団体アンケート・団体別回答）

| | 運営に関する改善点(サービス面) | | | | | | | その他 | その他の補足 |
|------------------------|------------------|-------------------|-------------|-------------------|--------------|----------|---|------------|--|
| | 利用可能な時間(時間が短い等) | 利用料金(料金が低い、不公平など) | 利用できる曜日・時間帯 | 利用ルール(わかりやすさ、適切さ) | 市や施設管理者の窓口対応 | コロナ感染症対策 | 具体的な補足 | | |
| 施設名\回答数 | 1 | 8 | 5 | 1 | 1 | 1 | — | 5 | — |
| 荒川テニスコート | | | ● | | | | ナイター施設を増やしてほしい | | |
| (旧)北中学校体育館 | | | | ● | | | 各団体で片付け方が違うので出しづらい | | |
| (旧)北中学校体育館 | | ● | | | | | 少人数団体としては利用料金の負担が大きい | | |
| (旧)北中学校グラウンド | | | | | | | | ● グラウンドが狭い | |
| (旧)興津中学校体育館 | | | | | | | | ● 施設整備 | |
| (旧)興津中学校体育館 | | | | | | | 夜間使用の際に、民家側の扉を開けることが出来ず、コロナ感染症対策及び熱中症防止対策が不十分 | | |
| 勝浦小学校体育館 | | ● | | | | | | | |
| 総野小学校体育館 | | ● | ● | | | | 使用料がもう少し安いほうが負担が少なくなる。学校で使用する場合は、使えないことがある。 | ● | 冷暖房設備が体育館にはない |
| 総野小学校体育館 | | | | | | ● | | ● | |
| 勝浦中学校体育館 | | ● | | | | | | | |
| 勝浦中学校体育館 | | ● | | | | | | | |
| 勝浦中学校体育館 | | ● | | | | | | | |
| 勝浦中学校体育館 | | ● | | | | | ランニングコストが発生するのは理解できるが、他の市より時間あたりのお金が高い。活動したくてもお金の面で利用できない団体も出てくると思う(人数が集まらないとか) | | |
| 総野集会所 | | | ● | | | | ビッグひな祭りが開催される時は、使用できない期間がある | | |
| (旧)郁文小学校体育館 | | | | | ● | | | | |
| (旧)郁文小学校体育館 | | ● | | | | | 少人数団体としては利用料金の負担が大きい | | |
| 武道館研修センター | | | | | | | | ● | 他の施設はわかりませんが、(旧)興津中学校剣道場は床以外の清掃が行き届いていない |
| 国際武道大学第1体育館 | ● | | | | | | | | |
| 千葉県障害者スポーツレクリエーションセンター | | | ● | | | | | | |
| 千葉総合スポーツセンタースポーツ科学センター | | | ● | | | | | | |

(ウ) 施設に関する改善点

利用団体向けアンケートにおいて主な活動場所の「施設に関する改善点」を尋ねたところ、改善点の傾向としては、「空調・換気(屋内施設)」が最も多く、次いで「施設の安全性(危険性)」の回答が多く、さらに「清掃の状態」、「用具・備品の充実度」、「駐車場の状態」の回答も比較的多く見られました。

表 24 施設に関する改善点 (利用団体アンケート・団体別回答)

| | 施設に関する改善点(土地、建物、工作物の面) | | | | | | | | | | | | | その他 | その他の補足 |
|-----------------------|------------------------|-------------|----------|-----------|-------------|-------------|-----------|----------|----------|-----------|-------------|----------|---|----------|-------------------|
| | 競技場としての規格 | 施設の安全性(危険性) | 清掃の状態 | 用具・備品の充実度 | 照明(明るさ・操作性) | 空調・換気(屋内施設) | バリアフリーの状態 | トイレの状態 | 更衣室の有無状態 | 休憩・飲食スペース | 荷物や貴重品の保管場所 | 駐車場の状態 | 具体的な補足 | | |
| 施設名\回答数 | 0 | 6 | 4 | 4 | 3 | 7 | 0 | 4 | 1 | 0 | 1 | 4 | - | 3 | - |
| 荒川テニスコート | | | | | ● | | | | | | | | | | |
| (旧)北中学校体育館 | | ● | ● | | | | ● | | | | | | | ● | |
| (旧)北中学校体育館 | | | | | | ● | | | | | | | 網戸に穴があいていたり、虫が入ってくるので困る | | |
| (旧)興津中学校体育館 | | ● | | | | ● | | | | | | | バレーボールの支柱がけっこう古く、安全面にも不安があるので新しいものにしてほしい | | |
| (旧)興津中学校柔剣道場 | | | ● | | | ● | ● | | | | | | 2団体で使用する場合、駐車場の停めづらい | | |
| 上野小学校体育館 | | | | | | | | | | | ● | | | | |
| 勝浦小学校体育館 | | | | ● | | | | | | | | | 雨天の場合、駐車場が校庭でぬかるみがひどいので、可能なら入口部分程度でも整備して頂きたい。清掃の際、いつも体育館の塗装が落ちているが安全性の点検はなされていますか？トイレの清掃にも気を遣って頂きたい。 | | |
| 総野小学校体育館 | | | | | | ● | | | | | | | 窓がグラウンド側しか開けられず、十分な換気が出ない(風が抜けない)。夏場は羽アリが大量に体育館内に入ってくる為、網戸をつけてほしい。もしくはエアコンが欲しい。床がすべりやすいことが多いので、ワックスを定期的にかけてほしい。 | | |
| 総野小学校体育館 | | ● | | | | | | | | | | | | | |
| 勝浦中学校体育館 | | | | | | | | | | | | ● | | | |
| 勝浦中学校体育館 | | ● | | ● | ● | | | | | | | | | | |
| 勝浦中学校体育館 | | | | ● | | | | | | | | | | | |
| 総野集会所 | | | | | | | | | | | | | | ● | もう少し部屋が広いと更によいと思う |
| (旧)郁文小学校体育館 | | ● | ● | | | ● | | | | | | ● | | | |
| (旧)郁文小学校体育館 | | | | | ● | | ● | | | | | ● | チームの用具を置いておけるスペースが欲しい | | |
| 武道館研修センター | | | ● | | | ● | ● | | | | | | | ● | |
| 国際武道大学第1体育館 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 千葉県障害者スポーツクリエイションセンター | | ● | | ● | | ● | | ● | | | | ● | | | |

(工) 利用団体の活動における課題

利用団体向けアンケートにおいて団体の活動における課題を尋ねたところ、「競技構成員の不足・減少」が最も多く、次いで「指導者の不足・減少」が多くなりました。さらに、「運営をサポートするスタッフの不足・減少」、「活動「場所」の確保」の回答も多くなっています。

このように、回答の傾向としては、「競技構成員の不足・減少」をはじめとして、人員の不足を課題として挙げる回答が目立ちました。

表 25 利用団体の活動における課題（利用団体アンケート・複数選択）

| 課題の選択肢 | 回答数 | 回答比率 |
|---------------------|-----|--------|
| 競技構成員の不足・減少 | 16 | 32.7% |
| 指導者の不足・減少 | 9 | 18.4% |
| 運営をサポートするスタッフの不足・減少 | 6 | 12.2% |
| 活動「場所」の確保 | 6 | 12.2% |
| 運営経費の不足 | 4 | 8.2% |
| 活動「時間」の確保 | 3 | 6.1% |
| その他 | 5 | 10.2% |
| 合 計 | 49 | 100.0% |

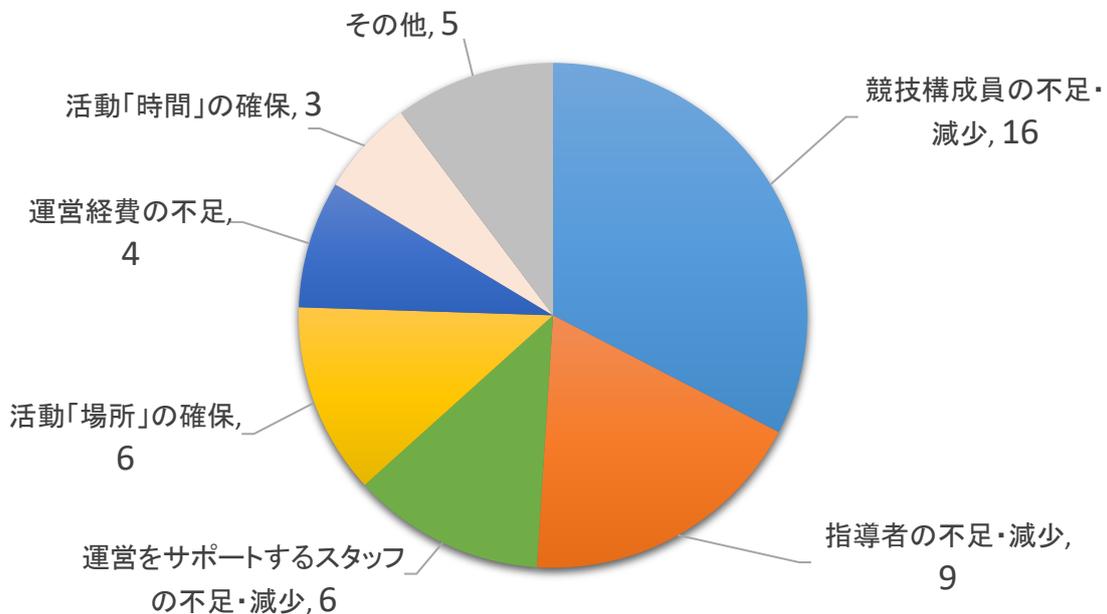


図 13 利用団体の活動における課題（利用団体アンケート・複数選択）

ウ 障がい者団体のニーズ

本計画の策定にあたり、市内の障がい者向け施設の協力を得て、スポーツ活動等に関するヒアリング調査を実施した結果、以下の状況等を確認しました。

（現状のヒアリング結果）

－運動やスポーツをどのような場所で実施しているか－

- ✓ 日常的な作業時間や施設の行事において体を動かしている（コロナ禍除く）。
- ✓ 館内・園内ウォーキングや外出時に勝浦ダムまで散歩する（コロナ禍）。
- ✓ 高齢者や重度の障がい者には一般的なスポーツ種目は適さない。

－運動やスポーツを実施する際に困っていること（問題点）－

- ✓ 外出時におけるトイレの確保には気を遣う
- ✓ 熱中症には特に気を付けている。

（今後の課題やニーズの傾向）

- ✓ 運動をより楽しむためには移動手段、職員の確保（ボランティアでも可）は必須である。
- ✓ 入所者において運動のニーズはあり、過去にはフィットネスバイクが喜ばれていたことや国際武道大学との交流（プール）も楽しみにしている入所者が多く、様々なニーズの掘り起こしが求められる。

⑤ 利用圏域及び施設分布

市民におけるスポーツ施設の充足状況を検証する観点から、利用団体アンケートにおいて、大会・試合・練習・イベント等で使用したことがある施設を質問し、得られた回答を図 14 のとおりに整理しました。

広域的な利用施設の分布状況を概観すると、勝浦市からおおむね 30km 圏内に利用施設が集中し、とくに隣接自治体や茂原市方面での利用が多く見られます。

利用団体におけるこうした市外での活動状況を踏まえると、他市町村内のスポーツ施設と本市のスポーツ活動は非常に密接な関係にある状況がうかがえます。

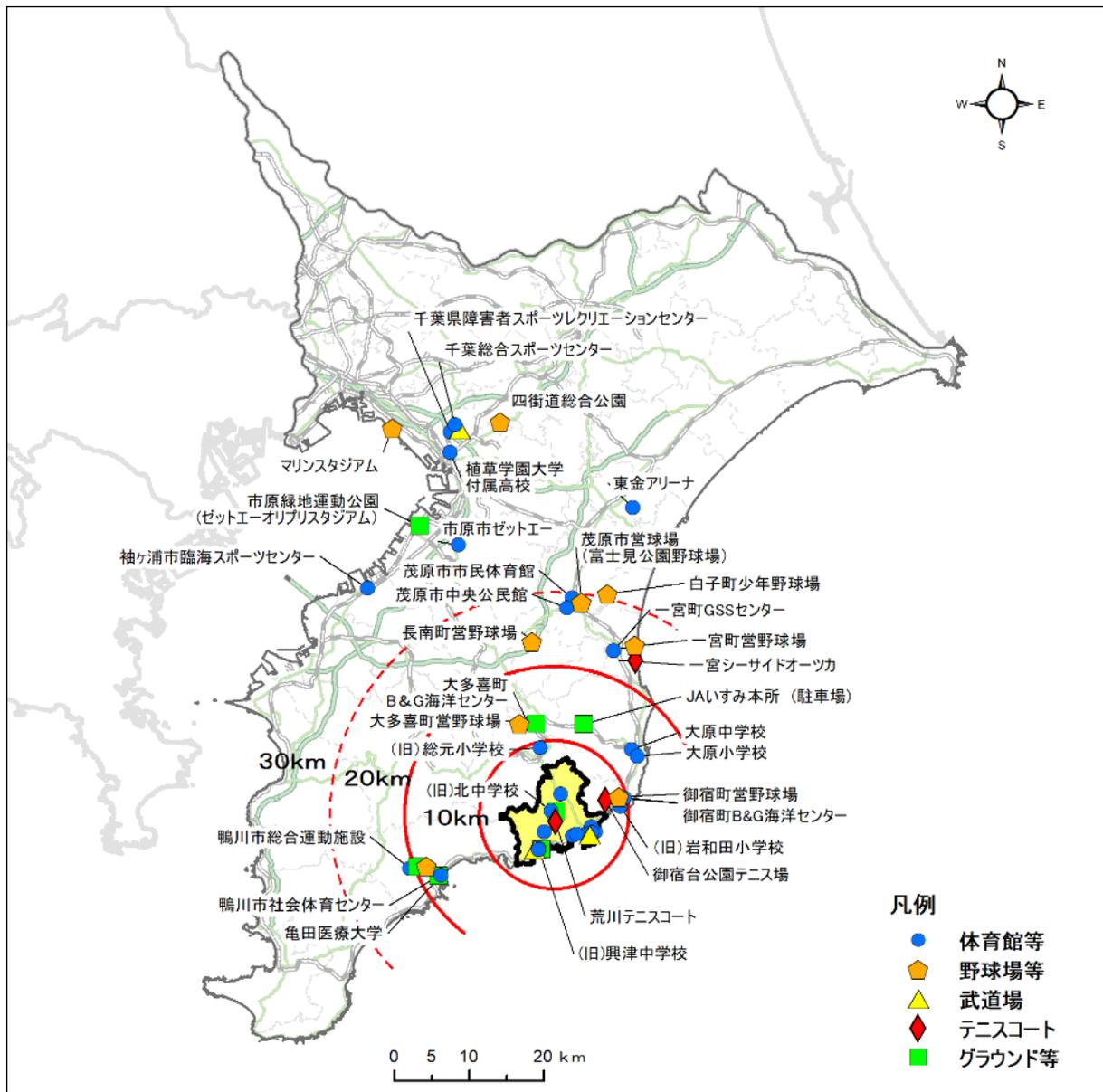


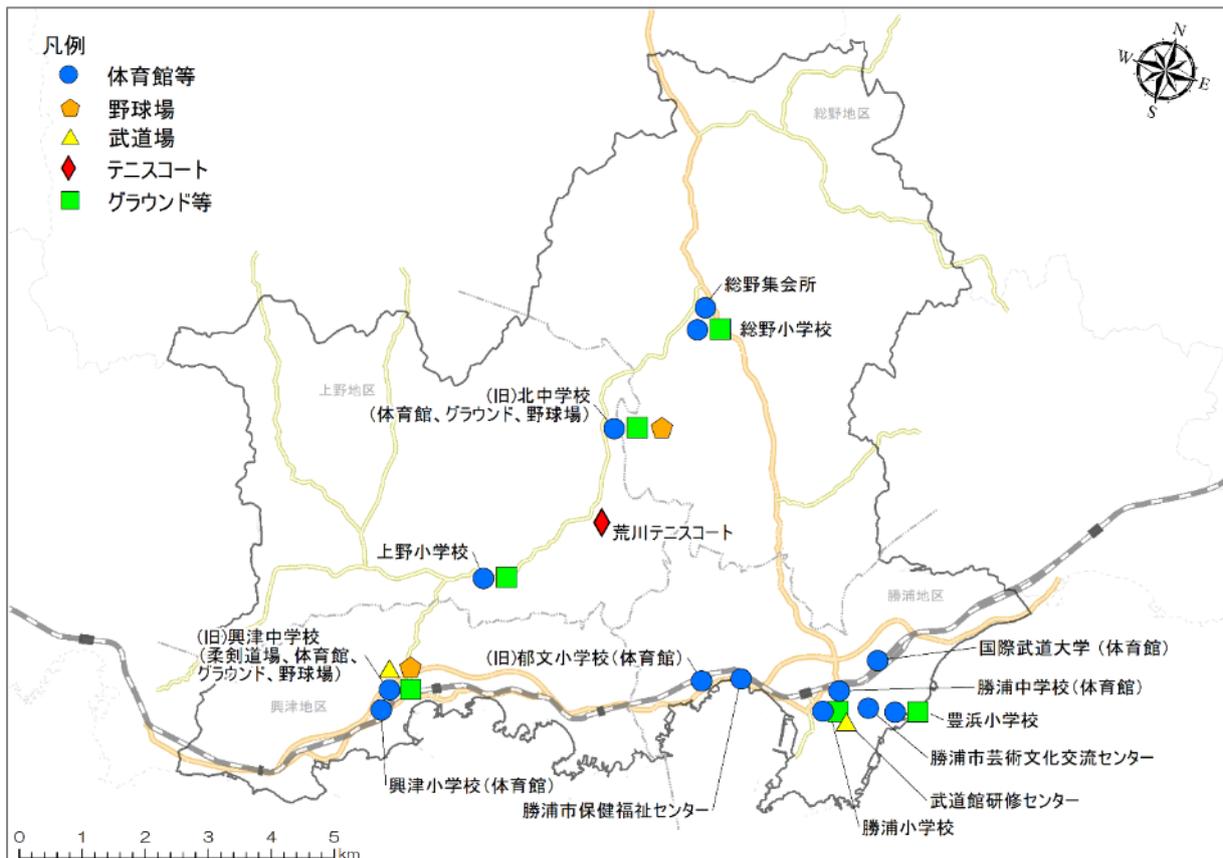
図 14 広域図

一方、同アンケートにおいて市内での利用施設の分布状況を概観すると、「学校施設」の利用が中心となっている状況がうかがえるとともに、市内の四地区においてある程度の施設配置の均衡が得られている状況がうかがえます。

このうち、勝浦地区では、市の公共施設である「勝浦市芸術文化交流センター」、国際武道大学（体育館）、武道館研修センターの利用も見られるなど、利用施設の選択肢が多くなっています。

また、施設の種別別にみると、市内では「体育館等」が多く、反対に「野球場」、「テニスコート」、「グラウンド等」（学校の校庭以外）は少なく、市内でのスポーツ施設のサービス提供にはやや偏りが見られます。

こうした市内での偏りが、前頁の図 14（広域図）のとおり、とくに屋外スポーツについて、市外での施設利用が積極的となっている原因であるとも考えられます。



以上の利用団体における施設の利用状況をまとめると、下表のとおりとなります。

市内での施設利用は専ら「練習」が大部分を占めていることもわかります。

表 26 利用団体における施設の利用状況（アンケート結果）

| 市町名 | 施設名称 | 市内利用団体における主な利用施設 | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|------------------|----|------------|----------------|------------|-----------|-----------|------------|----------------------|------------|----|----------------|
| | | テニス | 野球 | ソフト ボール | サッカー、 フットサル | タグラ グビー | キン ボール | バス ケット | バレー ボール | シッティン グバレー ボール | バトミ ントン | 卓球 | 剣道・なぎ なた・拳法 |
| 勝浦市 | 荒川テニスコート | ○ | | | | | | | | | | | |
| | (旧)北中学校 | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ |
| | (旧)興津中学校 | | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ |
| | 勝浦小学校 | | | ○ | | | | | ○ | | | | |
| | 豊浜小学校 | | | ○ | | | | | ○ | | | | |
| | 興津小学校 | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 上野小学校 | | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | |
| | 総野小学校 | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | ○ |
| | 勝浦中学校 | | | | | | | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| | (旧)郁文小学校 | | | | | | | | ○ | | | | ○ |
| | 国際武道大学 | | | | | | ○ | ○● | | | | | |
| | 武道館研修センター | | | | | | | | | | | ○ | |
| | 総野集会所 | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 芸術文化センター | | | | | | | | | | | | ○ |
| 勝浦市保健福祉センター | | | | | | | | | | | | ○ | |
| 鴨川市 | 鴨川市総合運動施設 | | ○● | ○● | | ● | | | | | | | |
| | 鴨川市社会体育センター | | | | | ● | | | | | | | |
| | 亀田医療大学体育館 | | | | | | | ● | | | | | |
| 大多喜町 | 大多喜町B&G海洋センター | | | | | ● | | ● | | | | | |
| | 大多喜町営野球場 | | ● | | | | | | | | | | |
| | (旧)総元小学校 | | | | | | ○ | | | | | | |
| 御宿町 | 御宿町B&G海洋センター | | | | | | ○ | ● | ● | | | | ○ |
| | 御宿町営野球場 | | ● | | | | | | | | | | |
| | 御宿町元岩田小学校 | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 御宿台公園テニスコート | ○ | | | | | | | | | | | |
| いすみ市 | 大原中学校 | | | | | | | | ● | | ● | | |
| | 大原小学校 | | | | | | | ● | | | | | |
| | JAいすみ本所駐車場 | | | | | | | | | | | | ● |
| 一宮町 | 一宮町GSSセンター | | | | | | | | ● | | | | |
| | 一宮町営球場 | | ● | | | | | | | | | | |
| | 一宮シーサイドオーツカ(民間) | ○ | | | | | | | | | | | |
| 白子町 | 白子町少年野球場 | | ● | | | | | | | | | | |
| 東金市 | 東金アリーナ | | | | | | | | | ● | | | |
| 茂原市 | 茂原市富士見公園野球場 | | ● | ● | | | | | | | | | |
| | 茂原市市民体育館 | | | | | | | | | ● | | | |
| | 茂原市中央公民館 | | | | | | | | | | | | ● |
| 長南町 | 長南町営野球場 | | ● | | | | | | | | | | |
| 四街道市 | 四街道総合公園 | | | ● | | | | | | | | | |
| 千葉市 | 植草学園大学付属高校 | | | | | | | | | | | ● | |
| | 千葉県障害者スポーツレクリ エーションセンター | | | | | | | | ○ | | | | |
| | 千葉県総合スポーツセンター | | | | | | | | ○ | | | ● | |
| 市原市 | マリスタジアム | | □ | | | | | | | | | | |
| | 市原緑地運動公園 (臨海競技場：ゼットエーオリ プリスタジアム) | | | | | ● | | | | | | | |
| 袖ヶ浦市 | 市原市ゼットエー武道場 | | | | | | | | | ● | | | |
| | 袖ヶ浦臨海スポーツセンター | | | | | | | | | ● | | ● | |

【凡例】 ○練習 ●大会・試合・練習試合等 □観戦 で利用

⑥ 防災

災害対策基本法に基づく、対象施設の各種指定状況の概要は以下のとおりです。

【指定一般避難所】

指定一般避難所は、被災者を滞在させるために必要となる適切な規模を有し、速やかに被災者を受入れることが可能な構造又は設備を有し、災害による影響が比較的少なく、災害救助物資等の輸送が比較的容易な場所にある施設を指定したものです。

表 27 指定一般避難所（対象施設及び関連施設のみ抜粋）

| 避難所 | 面積 | 収容人数 |
|------------------|----------------------|-------|
| 旧興津中学校（体育館、柔剣道場） | 1,407 m ² | 225 人 |
| 旧北中学校（体育館） | 1,401 m ² | 185 人 |

【指定緊急避難場所】

指定緊急避難場所は、災害発生時に迅速に避難場所の開設を行うことが可能な管理体制等を有するものとし、地震に伴う津波や火災に対応するため、災害に対して安全な構造を有する施設又は周囲等に災害が発生した場合に人の生命及び身体に危険を及ぼすおそれのない場所として災害の種類ごとに指定したものです。

表 28 指定緊急避難場所（対象施設及び関連施設のみ抜粋）

| 避難場所 | 面積 (m ²) | 想定 人数 | 災害種別 | | | | | |
|----------------|--------------------------|-------------|------|---------|---------|----------|----|-----------|
| | | | 地震 | 津波 | 土砂 | 洪水 氾濫 | 高潮 | 大規模 火災 |
| 旧興津中学校 | 5,764 m ² | 2,850 人 | ○ | △ 注1 | △ 注2 | ○ | ○ | ○ |
| 旧北中学校 | 23,057 m ² | 11,500 人 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 市営荒川 テニスコート | 2,436 m ² | 1,200 人 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

凡例：○：避難場所として使用に適します。△：避難場所の特性を考慮して使用します。

×：避難場所として使用しません。

注1：浸水のおそれがあるため、校舎の3F以上を津波避難ビルとして使用します。

注2：一部が土砂災害警戒区域に指定されているため、注意を要します。

【ヘリコプター臨時離発着場適地】

災害発生時の被災者の救援・救護活動及び緊急物資の輸送に対処するため、道路（緊急輸送道路）、漁港、臨時ヘリポート等の輸送施設や輸送拠点を指定し、これら陸海空を連携する緊急輸送ネットワークとして定められたものです。

表 29 ヘリコプター臨時離発着場適地（対象施設及び関連施設のみ抜粋）

| 離発着場名称 | 広さ | | 最寄 消防署 距離 | 備考 |
|----------------|-------------|----|-----------------|-----------|
| | 幅×長さ (m) | 区分 | | |
| 旧北中学校 グラウンド | 150×78 | 中 | 10,000m | 避難所隣接同一敷地 |

出典（©全般）：勝浦市地域防災計画（令和3年3月改訂）

第4節 対象施設に関する政策優先度の評価（環境評価）

（1）政策優先度の評価基準

第2節において検討した本計画における「スポーツ施設の総量・機能・配置に関する政策方針（P56）」を踏まえ、政策優先度の評価基準を以下のとおりとします。

なお、本計画においては1次評価で全ての施設が「維持」と示されているため、政策優先度が影響することはありませんが、対象施設の特性を明らかにし、次章（適用可能な手法及び行動計画表）の参考とするために、政策優先度の評価を実施します。

表 30 政策優先度の評価基準

| 評価項目 | 評価の考え方 | 政策優先度の評価(判定)結果 |
|-----------|-------------------------------|----------------|
| 競技種別 | 競技の実施に適している | 高 |
| | 競技の実施に適さない | 低 |
| 整備目的・基準適合 | 整備目的が明確である | 高 |
| | 暫定利用の施設である | 低 |
| 利用状況・ニーズ | 利用人数・件数が多い ニーズが高い | 高 |
| | 利用人数・件数が少ない ニーズが低い | 低 |
| 利用圏域・施設分布 | 市外及び市内で機能の重複の程度が 低く、稀少性がある | 高 |
| | 市外及び市内で機能の重複の程度が 高く、稀少性が低い | 低 |
| 防災機能 | 避難所等の指定がある | 高 |
| | 避難所等の指定がない | 低 |

(2) 政策優先度の評価結果

政策優先度を評価し、総合的な判定結果（評価結果）を以下のとおりとしました。

表 31 政策優先度の評価結果

| 施設名 | 競技種別 | 整備目的・基準適合 | 利用状況・ニーズ | 利用圏域・施設分布 | 防災機能 | 総合判定 | 補足 (政策優先度「低」 の補足等) |
|---------------|------|-----------|----------|-----------|------|------|---|
| 荒川テニスコート研修室 | 高 | 高 | 高 | 高 | 高 | 高 | 荒川小学校の跡地を有効活用し、テニスコート等として再整備した施設である。相対的に利用数が多く、上野地区及び市内全域でもみても稀少性がある。防災上の機能も有する。 |
| 荒川テニスコート | 高 | 高 | 高 | 高 | 高 | 高 | |
| (旧)北中学校体育館 | 高 | 高 | 低※1 | 低※3 | 高 | 高 | 北中学校の閉校に伴い体育施設を有効活用し、各種競技に使用されている。 (※1及び2)稼働率は低い(P60・表21参照)。 (※3)総野地区、上野地区では学校で一定の代替性があるが、グラウンドは広さを含めて稀少性がある。防災上の機能も有する。 |
| (旧)北中学校グラウンド | 高 | 高 | 低※2 | 高 | 高 | 高 | |
| (旧)興津中学校体育館 | 高 | 高 | 低※4 | 高 | 高 | 高 | 興津中学校の閉校に伴い体育施設を有効活用し、各種競技に使用されている。 (※4、5及び6)稼働率は低い(P60・表21参照)。 興津地区でみると代替施設が少なく、稀少性がある。 (※7)ただし柔剣道場は体育館での代替性がある。各施設は興津集会所を構成しており、地域コミュニティ機能を有する。各施設は防災上の機能も有する。 |
| (旧)興津中学校柔剣道場 | 高 | 高 | 低※5 | 低※7 | 高 | 高 | |
| (旧)興津中学校グラウンド | 高 | 高 | 低※6 | 高 | 高 | 高 | |

第5節 対象施設に関する基本方針

1次評価の結果及び2次評価における政策優先度を踏まえて、以下のとおりに対象施設の基本方針を整理しました。

表 32 対象施設の基本方針

| 施設名 | 1次評価 | 2次評価 | | 課題等（補足） |
|-------------------|---------------------------------|-------|------|---|
| | | 政策優先度 | 基本方針 | |
| 荒川テニスコート 研修室 | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 研修室としての利用も促進することが望ましい。 |
| 荒川テニスコート | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 利用時間帯が平日の午前中に集中しているため、利用状況に見合った施設運営の工夫を図るか、利用時間帯の平準化・向上策を講じ、維持管理を効率化することが望ましい。 |
| (旧)北中学校 体育館 | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 経済性評価では、老朽化対策に多額の費用を要することが懸念されているため、機能保持に伴う老朽化対策の費用対効果を高めるため、利用数の増加を図るなど、さらなる有効活用を促進することが望ましい。 |
| (旧)北中学校 グラウンド | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 現況では野球場を主とした利用がされているが、施設設置の経緯を踏まえて、将来的なあり方の検討を要する。 |
| (旧)興津中学校 体育館 | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 大規模施設であり、維持管理費用や更新費用の費用対効果を踏まえ、利用数の増加を図るなど、現状以上の有効活用を促進することが望ましい。 |
| (旧)興津中学校 柔剣道場 | 維持 (耐震診断の上、長寿命化 (耐震改修含む)) | 高 | 機能保持 | 耐震診断を実施し、耐震補強工事が必要と診断された場合には、利用数が少ないこと及び隣接する体育館で武道関連の競技が代替可能であることを踏まえ、費用対効果の観点から耐震補強工事の実施と施設の「廃止・解体」を比較検討することが望ましい。 |
| (旧)興津中学校 グラウンド | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 一層の多目的な利用を促進するように、維持管理・運営のルールを定めることが望ましい。 |

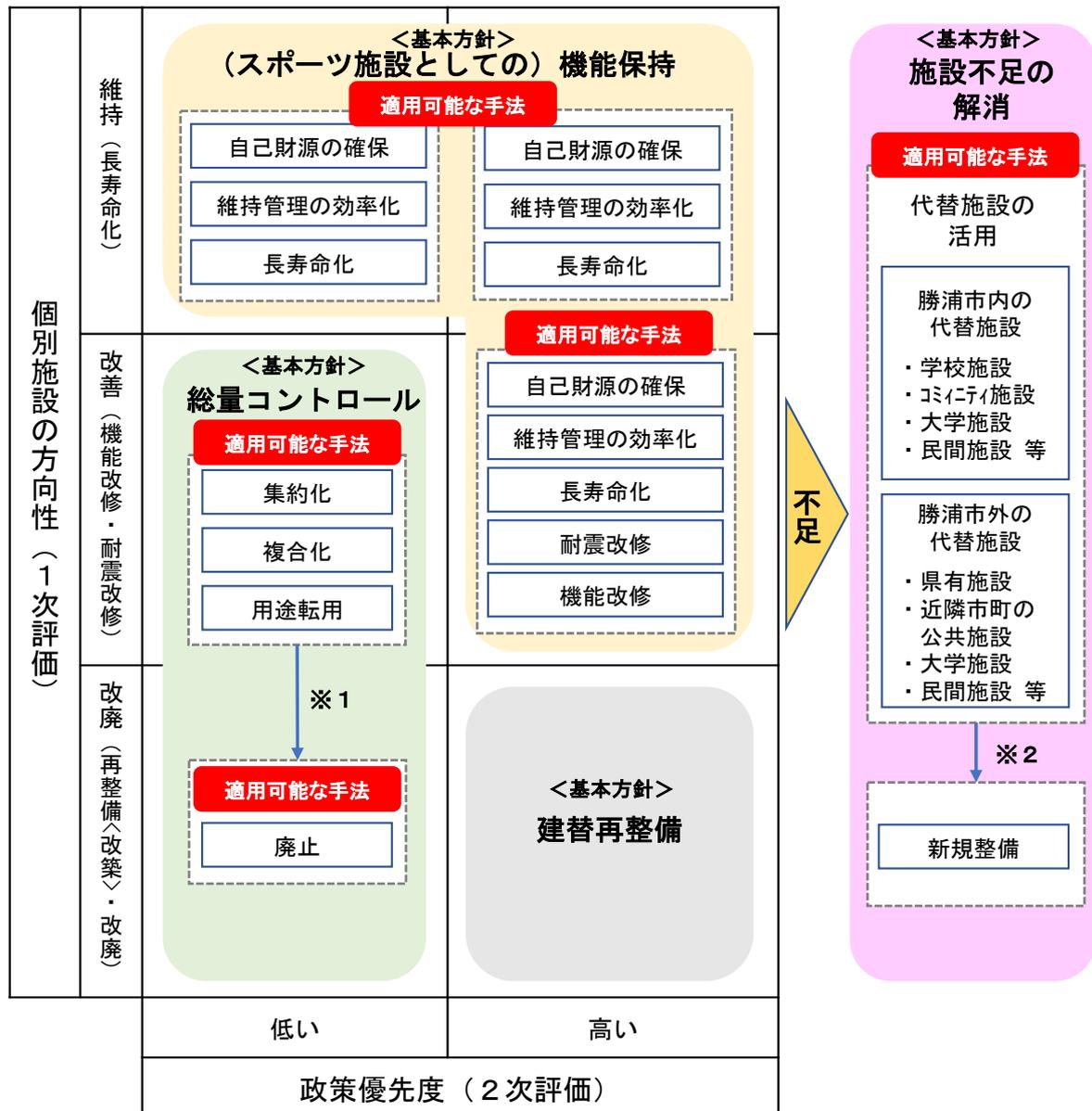
第6章 個別施設計画としての取りまとめ（適用可能な手法及び行動計画表）

第1節 適用可能な手法の検討

（1）施設評価の結果と適用可能な手法の位置付け（全体像）

前章までの1次評価及び2次評価により、対象施設の基本方針及び適用可能な手法を表のマトリックス図に整理しました。

本章では、基本方針を達成するための具体的な適用手法を検討します。



※1 「利用圏域」や「施設分布」等に基づく地域性（必要性やニーズ等）を勘案し、集約化・複合化・用途転用の可能性がない場合

※2 「利用圏域」や「施設分布」等に基づく地域性を勘案し、代替施設となり得る施設が周辺に存在しない場合や代替施設を活用しても不足する場合

図 16 施設評価におけるマトリックス図（適用可能な手法の選択）

(2) 適用可能な手法の意義

① 機能保持の基本方針における適用可能な手法

対象施設について機能保持を図る場合には、中長期的な視点から各種コストの削減や建物の計画的な保全等による健全性の確保が求められます。

表 33 機能保持の適用可能な手法

| 手法 | 内容 | 説明 |
|-----------------|--|--|
| 財源の確保 | 本市の財源以外での財源を確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 施設の使用料の見直し、施設の維持管理に充当する寄附や基金の設置等を行う。 |
| 維持管理の効率化 | 効率的な運営方法や管理方法を採用する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 指定管理や包括管理委託等により、効率的な管理運営を図る。 ◆ 予約受付、窓口業務、施設管理の費用削減を図る。 |
| 長寿命化 (計画的保全) | 建物の耐用年数を定め、その期間適切な施設の保全が行われるよう計画的な対応を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 保全計画の策定等により保全に関する業務の効率化を図る。 ◆ 事故等の施設に起因するリスクを回避する(予防保全)。 ◆ 計画的・効率的な保全を実施し、ライフサイクルコスト(LCC)を削減する。 |
| 機能改修 | 経年劣化や社会的劣化に対応した改修を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 施設の構造体、仕上げ、設備等の経年劣化に対応した改修を行う。 ◆ 設備システムや附帯設備(トイレ等)等の陳腐化、利用者ニーズや社会的劣化へ対応するための改修を行う。 ◆ 改修に当たっては施設の運営者のニーズを十分に把握し、利用者数や使用料等による収入の増加を想定した適切な投資を行う。 |
| 耐震改修 | 建物の耐震性を確保するために改修を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 現行の耐震性能を満たしていない施設の耐震改修を行う。 |
| 建替再整備 | 現在と同等の機能を有する施設を整備する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 老朽化が進んでいるが政策優先度の高い施設については、建替再整備を行う。 ◆ 将来の人口や財政見通しを踏まえランニングコストを想定した持続的な施設設計、運営者の収益性の確保が期待できる使いやすい施設内容の検討等を通じ、将来にわたって適切なストックとなるよう検討を行う。 |

●補足：長寿命化について

長寿命化とは、建物の使用年数に関して、一般的に建物の物理的な使用年限を残したまま機能性や快適性の低下等を要因として建替えが選択されてきたことに対し、適切な時期に適切なメンテナンスを実施することによって、物理的な使用年限近くまで建物を安全・快適・機能的に活用し続けることを言います。

<長寿命化において検討する事項等>

- 目標使用年数の設定
 - ✓ 長寿命化の目標使用年数を設定する。
- 詳細調査の実施
 - ✓ 実際に長寿命化が可能かどうかについては、改修前の調査において判定する。
- 費用対効果の検証（工事内容の検討）
 - ✓ 一律に長寿命化を行うことでかえって改修工事の時期や費用が集中する場合などは、長寿命化の可能性に関わらず、積極的な建替えも視野に検討する。
 - ✓ 長寿命化改修においては、物理的寿命の延命だけでなく、社会的ニーズへの適合や、リニューアルによる需要の喚起など、施設としての再生を視野にいれ、費用対効果を検証しながら改修内容を検討する。

<長寿命化の目標使用年数>

長寿命化における目標使用年数等は、既存文献等²を参考として、建物の構造別に以下のとおり設定します。

表 34 長寿命化の目標使用年数

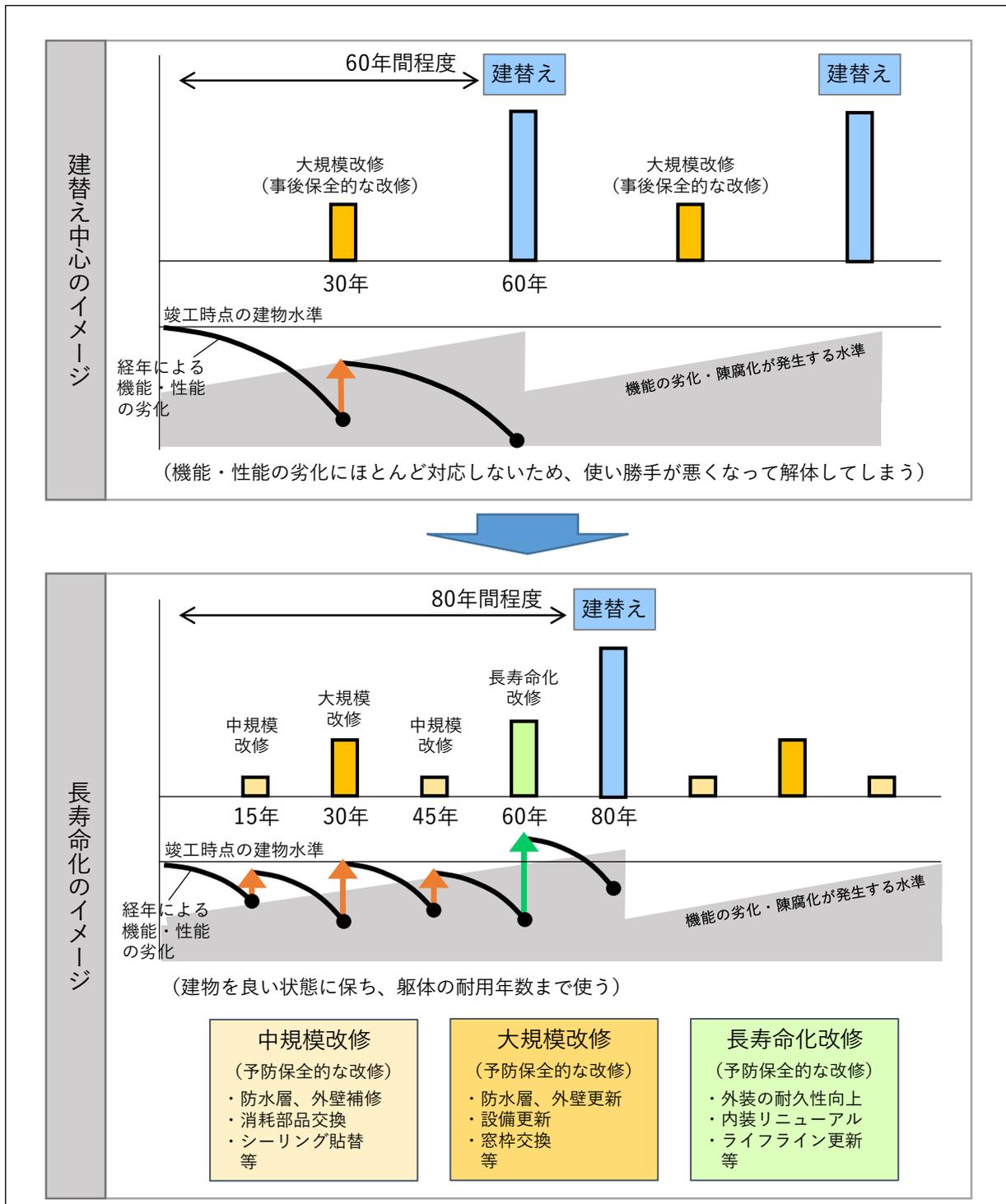
| 構造 | 標準使用年数（※） | 目標使用年数 |
|-----------|-----------|--------|
| SRC・RC・S造 | 60年 | 80年 |
| LGS・CB・W造 | 45年 | 60年 |

（※）標準使用年数は、長寿命化の目標使用年数に対して、長寿命化改修を実施しない場合に想定する建替え時期（物理的な寿命とは限らない）として設定しています。

補足）鉄筋コンクリート（造）：RC（造）、鉄骨（造）：S（造）、木（造）：W（造）、
鉄骨鉄筋コンクリート（造）：SRC（造）、軽量鉄骨（造）：LGS（造）、コンクリートブロック（造）：CB（造）

² 「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）等を参考として設定しています。同文献において構造種別や用途に応じて設定している目標耐用年数の範囲、建物使用の実態等を考慮して設定しました。

<長寿命化のイメージ（SRC・RC・S造の例）>



<長寿命化を含む改修等について>

改修等とは、本計画において、下表に示す施設保全に係る内容（用語の定義）のうち、改修、建替え、解体・除却、新設を指すものとします。また、「更新」は部位や設備の改修（取替含む）又は建物の建替えを意味し、改修・建替えと同義です。

表 35 改修等の内容（用語の定義）

| 用語 | 内容 |
|---------|---|
| 改修 | 改修…施設の機能・性能を初期の水準以上まで戻す。 改良…施設の機能向上を図る。 注 本計画では改良も改修に含めて扱います。 |
| 中規模改修 | おおむね 10 年から 20 年で耐用年数が到来する部位・設備の更新及び部分的な更新や補修を中心とした改修 |
| 大規模改修 | おおむね 25 年から 30 年で耐用年数が到来する部位・設備の更新を中心とした改修 |
| 長寿命化改修 | 大規模改修又は中規模改修の内容に加え、施設の機能向上や機能更新（リニューアル）に対応し、建物使用年数を延伸する改修 |
| 修繕 | 建物・設備の機能を支障のない状態にまで戻す。 |
| 更新 | 建物の建替え（改築）、外装材・内装材の全面的な張替えや塗替え、建具等の取替え、設備機器の取替えなどを行う。 |
| 建替え（改築） | 既存の建物を取り壊し、新しい建物を建築する。 |
| 解体・除却 | 既存の建物を取り壊す。 |
| 新設 | 建物を新しく建築する。 |
| 維持管理 | 整理整頓、清掃、点検、補修を行う。 |
| 点検・保守 | 点検に基づき、設備機器の状態に応じて調整、清掃、洗浄、給油、部品交換等を行う。 |

<改修等において検討する事項等>

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>改修等の実施時期</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 部位や設備の耐用年数を基にした周期的な実施を目安として設定し、計画的・予防的な改修等を実施することで、維持管理・更新等に係る費用の軽減・平準化を図る。 ○ <u>長寿命化の視点</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 老朽化に伴う改修及び建替えのほか、時代ニーズに適応した機能更新について積極的に検討し、施設利用の安全性の維持・確保とともに、機能性・快適性の向上を図るよう努める。 ○ <u>施設の方向性との整合性</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 改修を含む保全対策の実施に当たっては、施設の方向性を踏まえることにより、費用対効果を高める。 |
|---|

<改修等の基本サイクル>

建物の各部位や設備の耐用年数を基に、以下の周期的な実施を目安として改修等の基本的なサイクルを設定します。なお、実際の工事時期は、各建物の状態や使用見込み等を踏まえて、時期が前後することがあります。

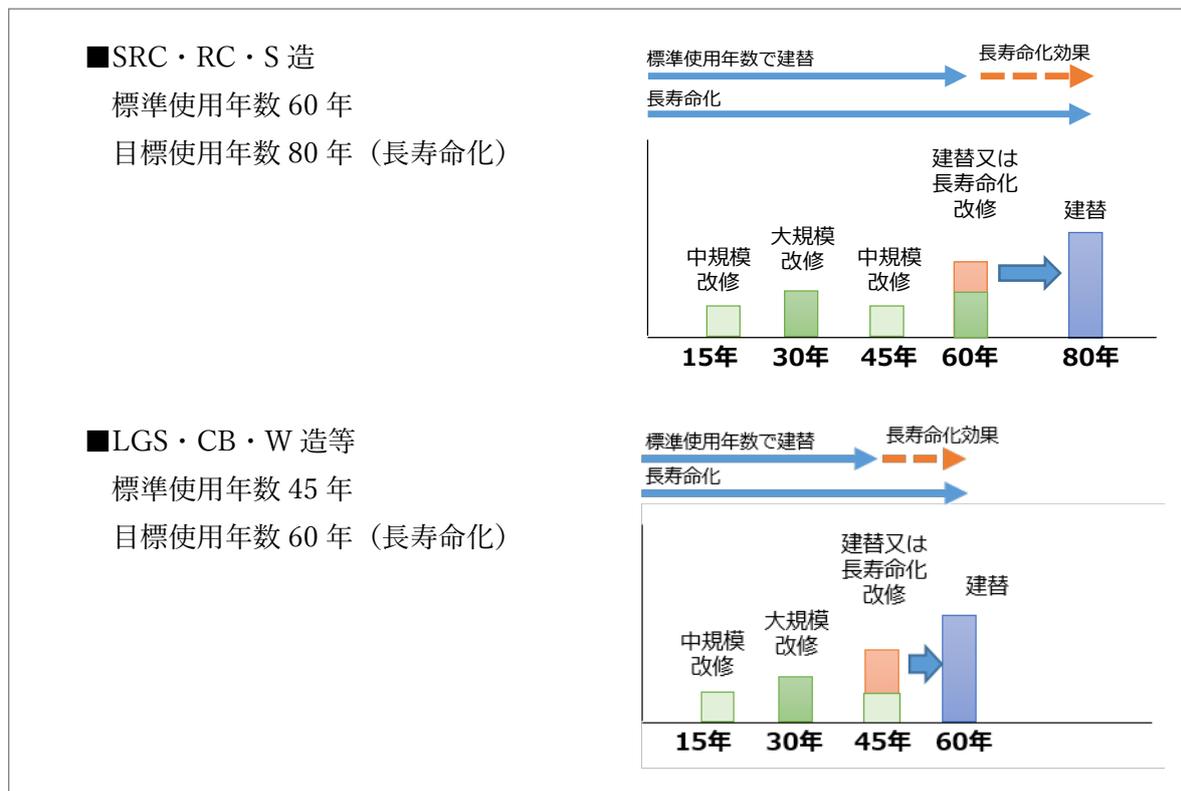


図 17 改修等の基本サイクル

<改修等の工事内容>

改修等の工事内容は、以下の内容を基準として、適宜、実態に合わせたものとします。

表 36 改修等の主な工事内容例

| 改修の種類 | 主な工事内容例 |
|--------|---|
| 中規模改修 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 屋上防水・屋根・外壁・外部開口部の部分修繕 ◆ 内部壁の部分修繕、設備消耗部品の交換 ◆ ルームエアコン更新等 |
| 大規模改修 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 屋上防水・屋根・外壁の全面塗直しや張替 ◆ 外部開口部の取替、空調換気設備更新 ◆ 給水ポンプ・タンク類更新、内部壁の全塗装・張替 ◆ 受変電設備更新等 |
| 長寿命化改修 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 大規模改修の内容に加えて、給排水配管の取替 ◆ 内装リニューアル（床、壁、天井の取替含む）等 |

② 総量コントロールの基本方針における適用可能な手法

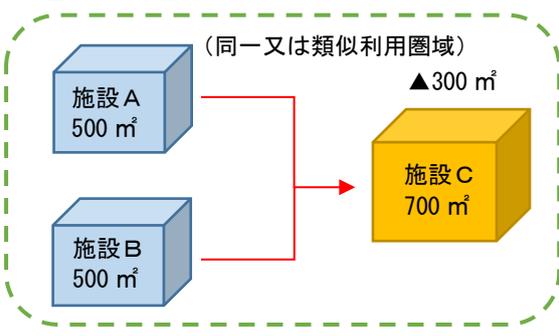
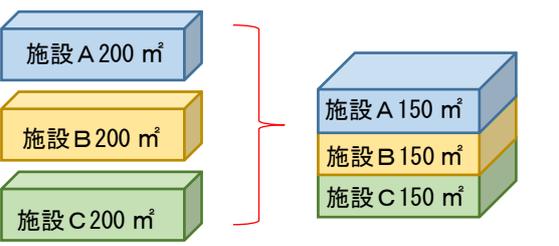
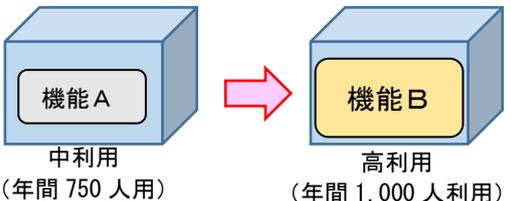
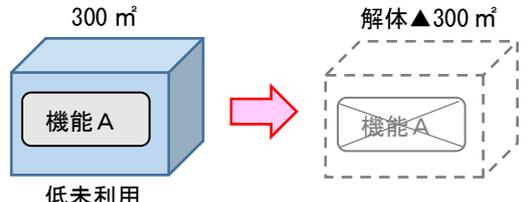
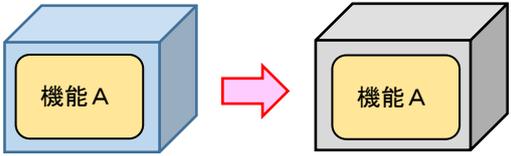
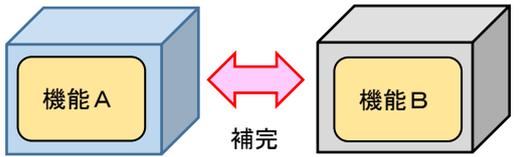
総量コントロールを図る場合には、施設の分布状況や利用状況を踏まえて、機能を維持しつつ、建物延床面積を縮減する手法を模索することが求められます。

表 37 総量コントロールの適用可能な手法

| 手法 | 内容 | 説明 |
|-----|--|---|
| 集約化 | 既存の同種の施設を統合する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 同種の施設があり、利用状況や立地を踏まえて、一つに集約した場合でも、利用者ニーズを満たすことができる場合等には、集約化を図る。 ◆ 将来の維持管理の財源確保が難しい場合、同種の施設の集約化を図りつつ、集約化した施設の運営改善や機能更新により、スポーツ環境の質の低下を最小限にするよう配慮する。 |
| 複合化 | スポーツ施設以外の施設の機能を有した施設と複合化する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校等、周辺の公共施設の改築・改廃等とあわせて、複合化を図る。 ◆ スポーツ施設とは異なる機能を含んだ施設になるため、関係各課と調整する。 ◆ 複合化に際しても、集約化や建替再整備と同様に、スポーツ環境の質の確保や将来にわたって適切なストックとなるよう計画する視点が重要である。 |
| 転用 | 施設を改修し、他の施設として利用する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ スポーツ施設として維持していく優先度が著しく低く、改修しても利用の見込みが低い場合等で、周辺でスポーツ以外の機能が強く要請されている場合には、用途転用を検討する。 ◆ 転用用途の関係各課と調整する。 |
| 廃止 | 施設を解体・撤去する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 財政面も含めてスポーツ施設として維持していく優先度が著しく低く、改修しても利用の見込みが低い場合等で、用途転用の必要性もない場合には、廃止を検討する。 |
| 他 | <ul style="list-style-type: none"> ①民間移譲(貸付)する。 ②広域連携する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 施設の用途に稀少性がある場合や安定的な使用料収入が期待できる場合等には、民間団体へ売却や長期貸付することや、近隣市町からの利用促進(見返りとして本市市民が近隣市町の施設を利用)をして活用を図る可能性を検討する。 |

●補足：総量コントロールに係る各手法のイメージ

総量コントロールは、単に建物床面積等の縮減を図ることだけを目的とするのではなく、運営コストを縮減することや、利用度を向上させることも目的として実施することが重要な視点となります。

| 集約化 | 複合化 |
|--|--|
| <p>◆近隣の同種施設を1か所に効率的に集約</p> <p>(同一又は類似利用圏域) ▲300㎡</p>  <p>施設A 500㎡ 施設B 500㎡ 施設C 700㎡</p> | <p>◆他用途の小規模単独施設を1か所に移転</p>  <p>施設A 200㎡ 施設B 200㎡ 施設C 200㎡ 3施設・計600㎡</p> <p>施設A 150㎡ 施設B 150㎡ 施設C 150㎡ 計450㎡ (計▲150㎡ ※共用部等)</p> |
| 転用 | 廃止 |
| <p>◆既存建物を継続使用しつつ、より高い利用ニーズの機能へ転換 (※必要に応じて建物を一部改修)</p>  <p>機能A 中利用 (年間750人用)</p> <p>機能B 高利用 (年間1,000人利用)</p> | <p>◆建物の利活用も機能の改善も見込めない場合には、施設を廃止し、建物を解体</p>  <p>300㎡ 機能A 低未利用 (年間10人利用)</p> <p>解体▲300㎡</p> |
| 他①：民間移譲（又は長期貸付） | 他②：広域連携（広域的な相互利用） |
| <p>◆施設(土地・建物)所有権を民間に売却し、運営も移譲しつつ、機能は継続</p> <p>市：所有・運営 民間：所有・運営</p>  <p>機能A 機能A</p> <p>(売却以外に、施設の維持管理費用の大部分を仮受人が負担する長期貸付により、市が施設を保有するコストを低減)</p> | <p>◆近隣自治体との間で相互に不足する機能を補い合って、相互利用を図ることで、施設整備の重複を避けて投資費用を抑制</p> <p>本市：所有・運営 近隣市町：所有・運営</p>  <p>機能A 機能B</p> <p>補完/相互利用</p> |

注 モデル内の数値はすべて例であり基準を示すものではありません。

図 18 集約化等のイメージ

③ 施設不足の解消の基本方針における適用可能な手法

施設不足の解消は、代替施設の活用を最優先に検討した上で、必要不可欠かつ施策上の重要な意義がある場合に、新規整備を検討することになります。

表 38 施設不足の解消の適用可能な手法

| 手法 | 内容 | 説明 |
|--------------|--|--|
| 本市の代替施設の活用 | 学校体育施設や集会所等のスポーツに活用できる施設、大学や民間のスポーツ施設等を、スポーツ環境として活用する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 不足するスポーツ施設の代替となり得る施設の所在を確認する。 ◆ 学校体育施設は、授業や部活動の利用を優先したうえで、学校開放を最大限活用する。 ◆ 集会所などをスポーツ環境として活用するには、施設の所管課と調整の上、情報の一元化や予約方法の一体化等により利用を促進する。 ◆ 民間のスポーツ施設を代替施設として活用する場合は、民間施設の管理者と調整する。 |
| 本市以外の代替施設の活用 | 隣接する地方公共団体の施設や民間施設を、市民のスポーツ施設の環境として活用する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 不足するスポーツ施設の代替となり得る施設がどこにあるかを確認する。 ◆ 代替施設となる施設管理者と調整する。 ◆ 近隣の地方公共団体が所有・運営するスポーツ施設の基本情報を共有し、広域的に連携してスポーツ施設を活用する方策を検討する。協定の締結や市民使用料の相互適用等が考えられる。 |
| 新規整備 | 新たに施設を整備する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 既存施設や代替施設の活用を図っても適切なスポーツ環境を提供できないことが明らかである場合には、新規整備を検討する。 ◆ この際、PPP/PFI などの民間資金を活用した事業スキームの検討、ランニングコストを想定し将来の人口や財政見通しを踏まえた持続的な施設設計、運営者の収益性の確保が期待できる使いやすい施設内容検討等を通じ、将来にわたって適切なストックとなるよう十分に検討を行う。 |

(3) 対象施設について適用する手法の検討

1次評価及び2次評価の結果を踏まえ、基本方針に至った主な理由や現状の課題等を総合的に検証し、計画期間内（令和4年度～令和13年度までの10年間）において対象施設に適用する手法（適用手法）を以下のとおりに整理しました。

| 施設名 | 1次評価 | 2次評価 | | 適用手法 |
|--|--------------|-------|------|-------------------|
| | | 政策優先度 | 基本方針 | |
| 荒川テニスコート研修室 | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 維持管理の効率化 ・長寿命化 |
| <p><具体的な実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な団体や個人の利用を促進します。 当施設は躯体が木造であるため、特に火災や雨漏りの防止を徹底する必要があるため、日常の維持管理に係るマニュアルを整備し、長期的な事故等の防止体制を確立します。 | | | | |

| 施設名 | 1次評価 | 2次評価 | | 適用手法 |
|---|--------------|-------|------|-------------------|
| | | 政策優先度 | 基本方針 | |
| 荒川テニスコート | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 維持管理の効率化 ・長寿命化 |
| <p><具体的な実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用時間帯の平準化や使用料の見直し等、運営方法の見直しを検討し、維持管理コストに見合う使用料収入の確保を目指し、より一層の維持管理の効率化を図ります。 コート面やナイター設備の日常点検・定期点検を促進し、計画的な保全に努め、長寿命化を図ります。 | | | | |

| 施設名 | 1次評価 | 2次評価 | | 適用手法 |
|---|--------------|-------|------|-------------------|
| | | 政策優先度 | 基本方針 | |
| (旧)北中学校体育館 | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 維持管理の効率化 ・長寿命化 |
| <p><具体的な実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> グラウンドを含めた施設の有効活用策を検討し、維持管理を効率化します。 建物の不具合箇所について詳細な建物調査を実施し、費用対効果を踏まえた長期修繕計画を策定し、財政負担にも十分配慮した計画的保全により長寿命化を図ります。 | | | | |

(注) 表中の「1次評価」の結果はP54、「2次評価」の結果はP74 参照。

| 施設名 | 1次評価 | 2次評価 | | 適用手法 |
|---|--------------|-------|------|----------|
| | | 政策優先度 | 基本方針 | |
| (旧)北中学校グラウンド | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 維持管理の効率化 |
| <p><具体的な実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 体育館を含めた施設の有効活用策を検討し、維持管理を効率化します。 ◆ 上記の有効活用策の検討にあたっては、多目的な活用にも十分に留意します。 | | | | |

| 施設名 | 1次評価 | 2次評価 | | 適用手法 |
|--|--------------|-------|------|-------------------|
| | | 政策優先度 | 基本方針 | |
| (旧)興津中学校体育館 | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 維持管理の効率化 ・長寿命化 |
| <p><具体的な実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 床等への負荷の程度や清掃等のメンテナンスの労力の程度を踏まえて、他の代替施設との間で競技種目の棲み分けを図るなど、運営方法の適正化に向けた検討を行います。 ◆ (旧)興津中学校校舎や同グラウンドとの機能連携を図り、地域活動の拠点施設に相應しい活用を促進します。 ◆ 床・壁・天井や諸設備の日常点検・定期点検を促進し、計画的な保全に努め、長寿命化を図ります。 | | | | |

| 施設名 | 1次評価 | 2次評価 | | 適用手法 |
|--|---------------------------------|-------|------|----------------------------------|
| | | 政策優先度 | 基本方針 | |
| (旧)興津中学校 柔剣道場 | 維持 (耐震診断の上、 長寿命化(耐震改修含む)) | 高 | 機能保持 | 耐震診断の上、長寿命化 (耐震改修含む) 又は集約化 |
| <p><具体的な実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 現状の耐震性に係るリスク(耐震補強工事を要する可能性等)への処置を検討します。 ◆ 耐震診断又は耐震補強工事の費用対効果を踏まえて、施設の維持(長寿命化)を相当としない場合には、隣接する体育館等への機能移転(集約化)を検討します。 | | | | |

(注) 表中の「1次評価」の結果はP54、「2次評価」の結果はP74 参照。

| 施設名 | 1次評価 | 2次評価 | | 適用手法 |
|--|--------------|-------|------|----------|
| | | 政策優先度 | 基本方針 | |
| (旧)興津中学校グラウンド | 維持 (長寿命化) | 高 | 機能保持 | 維持管理の効率化 |
| <p><具体的な実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ より多目的な競技種目に活用できるように施設の運営ルールを見直すなどして、維持管理を効率化します。 ◆ (旧)興津中学校校舎や同体育館との機能連携を図り、地域活動の拠点施設に相応しい活用を促進します。 | | | | |

(注) 表中の「1次評価」の結果はP54、「2次評価」の結果はP74 参照。

(4) 本市全体としてのストック適正化に向けた留意点

① 地区間の配置バランス

利用団体アンケートの傾向を踏まえると、本市では、スポーツ施設を特定の地区に極端に集約することなく、学校施設も含め、体育館の数等は地区間である程度均衡するように配置していくことが求められます。その一方で、特に体育館については、学校施設であるか否か、床や壁等の劣化状況、実施可能な種目など、施設によって特徴に差異があるため、例えば、スポーツ種目ごとに使用可能な体育館を分けるなどして、地区横断的に施設の活用を図ることも求められます。

② 障がい者向けのスポーツ施設の活用

健康づくりやスポーツを通じた生きがいの創出は、障がい者においても重要な施策の位置付けを占めています。一方で、障がいの種類や程度によってスポーツ等のニーズは様々であるため、市の公共施設で全てのニーズを充足するのは容易ではありません。

そこで、市内のボランティア団体や民間のスポーツ施設管理者と緊密な連携を図り、市が中心となって障がい者がスポーツ等の機会を適切に確保できるような環境整備に留意する必要があります。

第2節 施設の改修等に関する行動計画表の検討

(1) 行動計画表の意義

行動計画表は、対象施設ごとに整理した各基本方針を達成するための適用手法を踏まえ、今後、財源を確保して計画的に実施していくことが求められる対策内容と概算費用を計画期間内のスケジュールに反映させ、実施時期の目安とするものです。

なお、行動計画表は目安であり、今後、施設の課題や検討事項を踏まえながら、各対策の具体的なスケジュールを策定していく必要があります。

また、各対策の実施にあたっては財源や人員の状況に応じて優先順位を付けて取り組む必要が想定されるため、「対策の優先順位の考え方（目安となる考え方）」を以下のとおりに整理しました。「対策の優先順位」は、本計画では次表のとおりに示しますが、各対策内容と同様に、今後改めて優先順位も精査することを予定しています。

【対策の優先順位の考え方（目安となる考え方）】

本計画の第3章第5節における「対象施設の維持管理及び更新に関する基本的な考え方」を踏まえ、①安全管理>②計画的・効率的維持管理（長寿命化対策含む）>③用途・機能の見直しの順に優先度が高いものとします。さらに、劣化・損傷の危険性が現に発生・拡大している場合や対策予定時期が到来している場合など、対策時期の切迫度を比較して、a（高）>b（中）>c（低）の順に優先度が高いものとします。そして、これら二つの要素（基本的な考え方及び切迫度）を組合せて対策の優先順位の目安とします。

表 39 対策の優先順位の考え方（目安となる考え方）

| | a. 切迫度（高） | b. 切迫度（中） | c. 切迫度（低） |
|--------------------------|-----------|-----------|-----------|
| ①安全管理 | 1. 最優先 | 2. 優先 | 3. やや優先 |
| ②計画的・効率的維持管理 （長寿命化含む） | 2. 優先 | 3. やや優先 | 4. 劣後 |
| ③用途・機能の見直し | 3. やや優先 | 4. 劣後 | 5. 最劣後 |

(2) 行動計画表

計画期間内における施設の改修等に関する行動計画表を次のとおりに整理しました。

表 40 施設の改修等に関する行動計画表

【数字-記号】は優先順位(目安) (表 39 参照)

| 施設名 | 基本方針 | 適用手法 | 対策スケジュール(計画期間 10 年間) | | | |
|-------------------|------|-------------------|---|-------------|--|-------------|
| | | | 前期 (R4~R8) | | 後期 (R9~R13) | |
| | | | 主な対策内容 | 概算費用 | 主な対策内容 | 概算費用 |
| 荒川テニスコート 研修室 | 機能保持 | 維持管理の効率化 /長寿命化 | 中規模改修 (劣化・損傷箇所の部分修繕) 【4-②c】 | 0~300万円 | — | — |
| 荒川テニスコート | 機能保持 | 維持管理の効率化 /長寿命化 | 定期診断・修繕 (部分修繕：砂補充、ブラッシング、部分張替え補修) 【3-②b】 | 100万円 | 砂入り人工芝コート張替、ナイター照明改修 【3-②b】 | 3800万円 |
| (旧)北中学校 体育館 | 機能保持 | 維持管理の効率化 /長寿命化 | 部位修繕(天井骨組みの塗装改修) 【2-①b】悪化すれば 【1-①a】 | 900万円 | 長寿命化改修に向けた実施計画策定 (※有効活用策前提) 【3-②b】 | 800万円 |
| (旧)北中学校 グラウンド | 機能保持 | 維持管理の効率化 | 定期メンテナンス (※有効活用策前提) 【3-②b】 | 年間200万円 | 定期メンテナンス (※有効活用策前提) 【3-②b】 | 年間200万円 |
| (旧)興津中学校 体育館 | 機能保持 | 維持管理の効率化 /長寿命化 | 大規模改修 その1 (室内の改修：照明LED化、トイレ改修、床改修、吊下式バスケットゴール撤去) 【3-②b】 | 2700~4300万円 | 大規模改修 その2 (屋根・外壁の全面改修) 【4-②b】 | 700~4200万円 |
| (旧)興津中学校 柔剣道場 | 機能保持 | 耐震改修等 又は集約化 | (方向性検討) 【3-③a】 | — | (方向性検討) 【3-③a】 | — |
| (旧)興津中学校 グラウンド | 機能保持 | 維持管理の効率化 | 定期メンテナンス (※通常の維持管理) 【3-②b】 | — | 定期メンテナンス (※通常の維持管理) 【3-②b】 | — |
| 合計(概算費用の合計) | | | | 4700~6600万円 | | 6300~9800万円 |

注：表中の金額は設計・監理費を含む概算費用です。

(3) 施設の改修等に関する財源について

対象施設の改修等にあたっては、以下の補助金等を活用するなどして、財源確保に努めます。

表 41 スポーツ施設の整備に活用可能な補助金・助成金・地方債等

| 名称 | 発行元 | 内容 |
|--------------------------|-----------------------------|---|
| スポーツ振興くじ助成 | 独立行政法人 日本スポーツ振興 センター | 施設整備、バリアフリー化、屋内・屋外照明整備、防球フェンス、グラウンドの芝生化、空調整備、体育館床やテニスコートの全面改修など、地域スポーツ施設の新改築、改修等に対する助成 (助成割合 2/3~3/4) 大型スポーツ用品の設置 |
| 学校施設環境改善交付金 | 文部科学省 スポーツ庁 | 地域スポーツ施設(屋内・屋外プール、スポーツセンター、屋外運動場、武道場等)の新改築に対する補助 社会体育施設の構造体・非構造部材の耐震補強事業、空調設置事業 ラグビー場の新改築・改修 (補助割合 1/3) |
| 過疎対策事業債 | 地方債 | 体育館、運動場、プールなど公共スポーツ施設の新改築、改修等に対する充当 (充当率 100% ; 交付税措置 70%) |
| 公共施設等適正管理推進事業債 | 地方債 R8 年度まで(脱炭素化は R7 まで) | 施設の集約化・複合化、長寿命化、転用、脱炭素化、除却等に対する充当 (充当率 90% ; 交付税措置 30~50%※) ※除却事業は交付税措置なし |
| 社会資本整備総合交付金 | 国土交通省 | スポーツ施設(野球場、陸上競技場、サッカー場、テニスコート、バスケットボール場、水泳プールなど)の新改築に対する補助 (補助割合は内容により異なる) |
| 地方創生推進交付金 地方創生拠点整備交付金 | 内閣府 | 地方版総合戦略に位置付けられた施設整備等の事業に対する補助 (補助割合 1/2) |
| 地域防災拠点建築物整備 緊急促進事業補助金 | 国土交通省 | 避難場所等となる建築物の耐震診断、耐震化のための計画策定などに対する補助 (補助割合 1/3~1/2) |

(調査時点 : 令和 3 年度末)

(4) 長寿命化の効果の試算（建物系施設の維持更新費用の試算）

テニスコート及びグラウンドを除く建物系の施設に関する保全対策の概算費用を試算した結果、建替え中心の概算費用に比べ、長寿命化中心の概算費用では 40 年間の総額で約 2 億 1 200 万円、約 20%の維持更新費用の縮減につながる見通しです。

●建替え型の維持更新費用（長寿命化せずに全て建替えを想定）

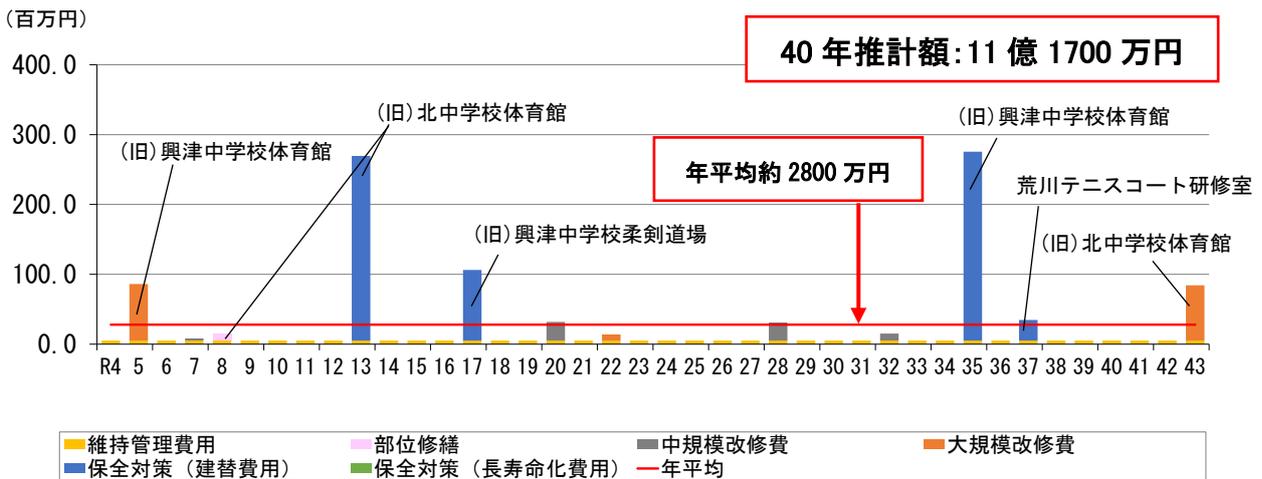


図 19 維持更新費用の推計（建替え型）

●長寿命化型の維持更新費用（長寿命化中心の維持更新を想定）

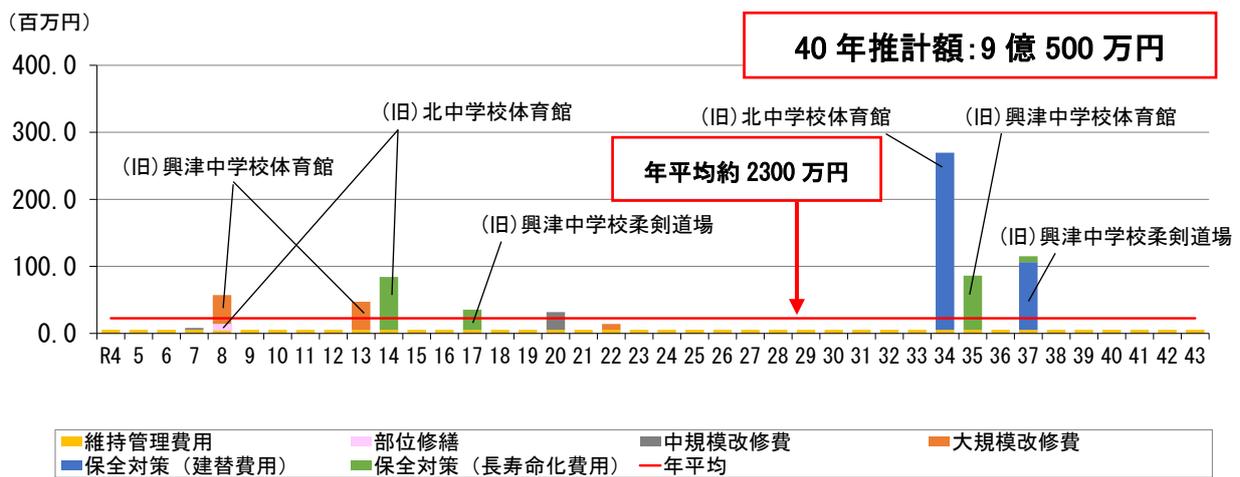


図 20 維持更新費用の推計（長寿命化型）

(補足) 各グラフ内の施設名は主な対策を注記

本計画に基づいて長寿命化による計画的保全を推進した場合、40年間で約2億 1200 万円(約 20%)の維持更新費用が縮減可能な見通しです。

●補足：維持更新費用の試算条件

本章における維持更新費用の試算条件は以下のとおりです。

<推計期間>

- 令和4年度から令和43年度までの40年間

<更新サイクル>※RC造、S造

- 中規模改修・・・・・・・・・・新築から15年目と45年目（木造は15年目のみ）
- 大規模改修・・・・・・・・・・新築から30年目（木造も同じ）
- 建替え・・・・・・・・・・新築から60年目（木造は45年目）
- 長寿命化改修・・・・・・・・・・新築から60年目（木造は45年目）
- 長寿命化改修後の建替え・・・・長寿命改修後から20年目（木造は15年目）

（長寿命化による目標使用年数80年・木造は60年）

（補足）・建替え後の中規模改修、大規模改修は上記の「新築」を「改築」に読み替える。

・推計期間より前の改修費用及び建替え期間は考慮外とする。

<維持更新費用>

- 維持管理費用・・・・・・・・・・過去3年分の維持管理費用平均額（光熱水費等）
- 中規模改修・・・・・・・・・・建替え費用の10%相当額
- 大規模改修・・・・・・・・・・建替え費用の30%相当額
- 長寿命化改修・・・・・・・・・・建替え費用の30%相当額
- 建替え・・・・・・・・・・以下のとおり（※設計監理費及び解体費用含む）

荒川テニスコート研修室：198,000円/㎡

体育館及び柔剣道場：264,000円/㎡

※上記単価は類似建物の建築事例を参考に査定

表 42 改修等の主な工事内容例（再掲）

| 改修の種類 | 主な工事内容例 |
|--------|---|
| 中規模改修 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 屋上防水・屋根・外壁・外部開口部の部分修繕 ◆ 内部壁の部分修繕、設備消耗部品の交換 ◆ ルームエアコン更新等 |
| 大規模改修 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 屋上防水・屋根・外壁の全面塗直しや張替 ◆ 外部開口部の取替、空調換気設備更新 ◆ 給水ポンプ・タンク類更新、内部壁の全塗装・張替 ◆ 受変電設備更新等 |
| 長寿命化改修 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 大規模改修の内容に加えて、給排水配管の取替 ◆ 内装リニューアル（床、壁、天井の取替含む）等 |

第3節 本市のスポーツ施設全体のストック適正化の方向性

本計画は個別施設計画として、7つの対象施設について現況の把握及び評価を行い、基本方針や具体的な行動計画表の取りまとめを行いました。

対象施設は本計画において「機能保持」の基本方針を示しましたが、前提として、対象施設を含むスポーツ施設全体のストックが適正な状態にあることが不可欠となっています。

仮にスポーツ施設全体の総量が過剰になったり、施設不足が慢性化したりすると、結局は対象施設の「機能保持」も阻害される可能性が高まります。

そこで、対象施設の行動計画を適切に推進する観点から、スポーツ施設全体を捉えたストック適正化の方向性を整理しておきます。なお、ストック適正化の方向性には、本市の人口・財政の状況、総合管理計画の各種方針、本計画の政策方針が背景にあります。

●機能保持の方向性

本市では、財政上の観点から既存施設を可能な限り有効活用すべき状況にあるため、スポーツ施設について機能保持を図る際には「安全性の確保」は最優先の対策事項としながらも、機能性の向上や立地条件の改善など、利便性に関わる対策事項については、費用対効果を慎重に検討して改善を図るにとどめることを原則的な考えとします。

●総量コントロールの方向性

本市では、体育館をスポーツ利用しているケースが多くなっています。体育館は比較的大規模で天井・壁面・屋根も高所に及ぶため、点検や修繕が容易ではなく、保全費用が高額になりがちです。また、人口推計を考慮すると、現状の体育館の総量が将来的には過剰になる可能性も十分に考えられます。

そのため、体育館については、早い段階から長寿命化を図って長期的に活用する施設と（予防保全中心）、最低限のメンテナンスレベル（事後保全中心）で使用しつつ、将来的には他の用途へ転用する施設に方向性を整理し、スポーツ種目等の使用方法の調整も図りながら、維持更新費用を抑制して総量コントロールに向けた取り組みを推進していく必要があります。

●施設不足の解消の方向性

本市のスポーツ施設の社会的環境（利用圏域・施設分布等）を考察すると、本市の近接市町には本市では十分に整備できていない施設が複数配置されています。また、市内であっても、対象施設以外に学校の一般開放や集会所の多機能な使い方が市民の間で浸透し、結果的に地域間でのスポーツ施設の配置バランスはおおむね均衡しているものと言えます。

このような状況からすると、本市では財政状況や政策方針にも鑑みて、施設不足の解消を図る施策の優先度は決して高いものとは言えません。

したがって、本市において新規にスポーツ施設を整備する際には、こうした広域的な圏域におけるスポーツ施設の配置状況を十分に踏まえ、本市独自の高い政策価値を有する事業を中心に施設整備を図ります。

第7章 計画の実施方法

第1節 情報基盤の整備と活用

今後、固定資産台帳及び施設管理台帳を活用し、スポーツ施設に関する施設の基本情報、光熱水費などの維持管理費用、工事履歴や点検情報を一元管理していくものとします。

施設管理台帳のデータは、施設性能評価や保全整備コスト算定、また継続的な施設管理に活用できるよう、記載項目や内容を設定します。

第2節 推進体制等の整備

本計画を継続的に運用していくために、施設所管課を中心に、庁内の技術職員、財政課と連携し、全庁的な体制で取り組んでいくものとします。

また、対象施設の維持管理については、施設管理者による日常点検や保守点検業者による各種点検報告書を活用して、不具合箇所の早期把握と改修等の対応を図っていくものとします。

第3節 計画のフォローアップ

本計画は、対象施設の改修や改築（建替え）の優先順位を設定するものであり、勝浦市総合計画の実施計画において、実施年度及び事業費を精査するものとします。

本計画の行動計画表（P88・表40）を中心とする進捗状況等については、おおむね5年毎に検証を行うとともに、上位計画の改定や施設の状況の変化等に応じてフォローアップを実施し、PDCAサイクルに沿った進捗管理を行うものとします。

資料編

●安全性・機能性調査に係るヒアリングシート（様式）

| 勝浦市スポーツ施設等個別施設計画策定業務委託（建物状況確認シート） | | | |
|--|--|---|------|
| 施設名 | | | |
| ご回答者 | | 課 | お名前: |
| 質問欄 | | | |
| <p>現在、管理されている建物について、以下問1から問12までの有無等についてお知らせください。 受託業者による現地調査において、調査の事前または事後の参考情報として活用させていただくものですので、不確かな記憶でも結構です。お心当たりがあれば積極的に「有」としてご回答に協力願います。</p> | | | |
| <p>回答例 屋根や壁からの雨漏り</p> <p><input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: 昨年度から体育館の南東部付近において、大雨の際にわずかに雨漏りすることがある。現在は、雨漏りの状態はひどくないので、様子を見ている。</p> | | | |
| 問1 | 外壁の破損（欠け、崩れ等） | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 問2 | 内部の天井壁床の破損 | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 問3 | 屋根や壁からの雨漏り | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 問4 | ドアや窓の開閉の不具合 | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 問5 | 配管からの水漏れ、水栓の不具合（閉めても水が垂れる、水が出ない、空気が混じる等） | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 問6 | 排水口等の不具合 | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 問7 | 空調の不具合（エアコンが効かない、動かない） | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 問8 | 壊れたまま放置されている照明器具、使われず放置されている設備機器等 | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 問9 | 安全性及び安全対策上の問題点（例：床面の荒れ、天井の耐震性、高所からの落下防止等） | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 問10 | 機能性及び運用上の問題点（例：室空間（広さ・高さ等）の不足、バリアフリー対応の状況等） | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 問11 | 屋外運動施設（グラウンド、テニスコート及びその附帯施設・設備）の不具合 | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 問12 | その他の不具合 | | |
| | <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒箇所・内容等: | | |
| 記述欄が足りない場合には、別紙にて回答いただいても結構です。 | | | |

●利用団体向けアンケート（様式）

アンケート回答用紙

ご回答される方において、団体内に様々なご意見があることがおわかりになっている場合には、可能な限り団体内の各ご意見をご回答いただきますようお願いいたします。

●貴団体名： _____

●ご回答日： 令和3年 ____ 月 ____ 日

問1 あなたの団体の活動期間とスポーツ種目について教えてください。

活動期間：昭和・平成・令和 ____ 年頃から活動開始

スポーツ種目： _____

問2 あなたの団体における構成員の概要を教えてください。

ご回答日以外の時点の場合⇒ ____ 年 ____ 月 ____ 日 時点

| | 市内在住または市内在勤 | 市外在住及び市外在勤 |
|----------|-------------|------------|
| 成人（学生含む） | 人 | 人 |
| 小・中・高校生 | 人 | 人 |
| 未就学児 | 人 | 人 |
| 合計 | 人 | 人 |

問3 コロナ禍以前（令和元年度以前）において、あなたの団体における主な活動場所のうち、使用頻度の多い順に最大2施設の施設名、使用頻度及び使用時間帯を教えてください。（市内・市外を問いません。）

活動場所（施設名）参考：荒川テニスコート/（元）北中学校体育館/（元）北中学校グラウンド/
（元）興津中学校体育館/（元）興津中学校グラウンド/（元）興津中学校柔剣道場
上記以外の市内又は市外における公共施設（学校等）や民間施設等の具体名

| 主な活動場所 （施設名） | 標準的な使用頻度 ※当てはまるもの1つに「✓」 | 主な使用時間帯 ※主なものであれば複数選択可「✓」 |
|-----------------|--|---|
| ①（名称を記入） | <input type="checkbox"/> 年に数回 <input type="checkbox"/> 月に数回 <input type="checkbox"/> 週に数回 <input type="checkbox"/> （ほぼ）毎日 <input type="checkbox"/> その他（ ） | <input type="checkbox"/> 平日の午前中 <input type="checkbox"/> // 午後 <input type="checkbox"/> // 夜間 <input type="checkbox"/> 土日祝の午前中 <input type="checkbox"/> // 午後 <input type="checkbox"/> // 夜間 <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| ②（名称を記入） | <input type="checkbox"/> 年に数回 <input type="checkbox"/> 月に数回 <input type="checkbox"/> 週に数回 <input type="checkbox"/> （ほぼ）毎日 <input type="checkbox"/> その他（ ） | <input type="checkbox"/> 平日の午前中 <input type="checkbox"/> // 午後 <input type="checkbox"/> // 夜間 <input type="checkbox"/> 土日祝の午前中 <input type="checkbox"/> // 午後 <input type="checkbox"/> // 夜間 <input type="checkbox"/> その他（ ） |

アンケート回答用紙

問4 前記（問3）にて回答された施設以外に勝浦市外で、大会・試合・練習・イベント等で使用したことのある施設があれば、その施設名称と使用した理由を教えてください。

※最大5つ程度

| 施設名称 | 使用した理由 |
|------|--------|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

問5 前記（問3）にて回答された施設を活動場所として選んだ具体的な理由について教えてください。

| 活動場所の施設名 | 活動場所として選んだ理由<自由記述> |
|----------|--------------------|
| 問3の回答施設① | |
| 問3の回答施設② | |

問6 前記（問3）にて回答された「活動場所の施設」以外で、以下の施設について本来は活動場所の候補でありながら、活動場所に選ばなかった（選べなかった）理由があれば教えてください。※下記施設が活動内容（スポーツ種目）に該当しない場合は回答不要です。

施設名：※当てはまるものに「✓」

- 荒川テニスコート
 (元)北中学校体育館
 (元)北中学校グラウンド
 (元)興津中学校体育館
 (元)興津中学校グラウンド
 (元)興津中学校柔剣道場

活動場所に選ばなかった（選べなかった）理由<自由記述>：

アンケート回答用紙

問7 前記(問3)にて回答された活動場所である施設について、運営面や施設面の視点から、改善して欲しい点があれば教えてください。

問3の回答施設①：※当てはまる全てに「✓」 さらに具体的な補足があればお願いします

| 運営に関する改善点(サービス面) | | |
|--|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 利用可能な時間(時間が短い等) | <input type="checkbox"/> 利用料金(料金が低い、不公平など) | |
| <input type="checkbox"/> 利用できる曜日・時間帯 | <input type="checkbox"/> 利用ルール(わかりやすさ、適切さ) | |
| <input type="checkbox"/> 市や施設管理者の窓口対応 | <input type="checkbox"/> コロナ感染症対策 | |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |
| (回答の具体的な補足) | | |
| 施設に関する改善点(土地、建物、工作物の面) | | |
| <input type="checkbox"/> 競技場としての規格 | <input type="checkbox"/> 施設の安全性(危険性) | <input type="checkbox"/> 清掃の状態 |
| <input type="checkbox"/> 用具・備品の充実度 | <input type="checkbox"/> 照明(明るさ・操作性) | <input type="checkbox"/> 空調・換気(屋内施設) |
| <input type="checkbox"/> バリアフリーの状態 | <input type="checkbox"/> トイレの状態 | <input type="checkbox"/> 更衣室の有無、状態 |
| <input type="checkbox"/> 休憩・飲食スペース | <input type="checkbox"/> 荷物や貴重品の保管場所 | <input type="checkbox"/> 駐車場の状態 |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |
| (回答の具体的な補足) | | |

問3の回答施設②：※当てはまる全てに「✓」 さらに具体的な補足があればお願いします

| 運営に関する改善点(サービス面) | | |
|--|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 利用可能な時間(時間が短い等) | <input type="checkbox"/> 利用料金(料金が低い、安すぎるなど) | |
| <input type="checkbox"/> 利用できる曜日・時間帯 | <input type="checkbox"/> 利用ルール(わかりやすさ、適切さ) | |
| <input type="checkbox"/> 市や施設管理者の窓口対応 | <input type="checkbox"/> コロナ感染症対策 | |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |
| (回答の具体的な補足) | | |
| 施設に関する改善点(土地、建物、工作物の面) | | |
| <input type="checkbox"/> 競技場としての規格 | <input type="checkbox"/> 施設の安全性(危険性) | <input type="checkbox"/> 清掃の状態 |
| <input type="checkbox"/> 用具・備品の充実度 | <input type="checkbox"/> 照明(明るさ・操作性) | <input type="checkbox"/> 空調・換気(屋内施設) |
| <input type="checkbox"/> バリアフリーの状態 | <input type="checkbox"/> トイレの状態 | <input type="checkbox"/> 更衣室の有無、状態 |
| <input type="checkbox"/> 休憩・飲食スペース | <input type="checkbox"/> 荷物や貴重品の保管場所 | <input type="checkbox"/> 駐車場の状態 |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |
| (回答の具体的な補足) | | |

アンケート回答用紙

問8 前記(問3)にて回答された「活動場所の施設」以外で、以下の施設を使用又は使用を検討したことがある場合に、改善すべき点としてお気づきのことがあれば教えてください。
※下記施設について使用した実績や使用を検討したことがない場合は回答不要です。

施設名：※当てはまるものに「✓」

- 荒川テニスコート (元)北中学校体育館 (元)北中学校グラウンド
 (元)興津中学校体育館 (元)興津中学校グラウンド (元)興津中学校柔剣道場

改善すべきこととしてお気づきの点<自由記述>：

問9 あなたの団体の活動に関して、課題として認識されていることを教えてください。

※当てはまるものに全て「✓」をしてください。

- 競技構成員の不足・減少
 指導者の不足・減少
 運営をサポートするスタッフの不足・減少
 活動「時間」の確保
 活動「場所」の確保
 運営経費の不足

その他 (_____)

問10 勝浦市として活動が盛り上がりると良いスポーツ種目や、重点的に整備したほうが良いスポーツ施設など、今後のスポーツ活動や施設のあり方についてご意見があれば教えてください。 ※ご回答者の個人的なご意見やアイデアでも結構です。

<自由記述> ※この回答は、ご回答者の個人的なご意見やアイデアでも結構です。

アンケートは以上です。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

勝浦市個別施設計画
(スポーツ施設)

発行年月／令和4年3月

発行／勝浦市

編集／勝浦市役所 財政課

〒299-5292

勝浦市新官1343番地の1

電話 0470-73-6651 (直通)

FAX 0470-73-3937